



未来へひろがる  
数学

内容解説資料B  
ダイジェスト版

# 未来へひろがる 数学

## 教科書のご紹介 WEBページ

新しい教科書の特徴を紹介する  
WEBページをご用意しています。  
[https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/chu\\_r7/math/](https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/chu_r7/math/)



61 啓林館 数学

教科書番号 1年 061-72 2年 061-82 3年 061-92

2025(令和7)年度用中学校教科書 内容解説資料

この資料は、令和7年度用中学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。

令和7年度用  
内容解説資料 B ダイジェスト版



※QRコードを読み取って見ることのできる情報は無料ですが、インターネット通信に必要な費用や通信料などは、  
使用される方のご負担になります。通信環境をご確認の上、ご利用ください。

※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

 啓林館

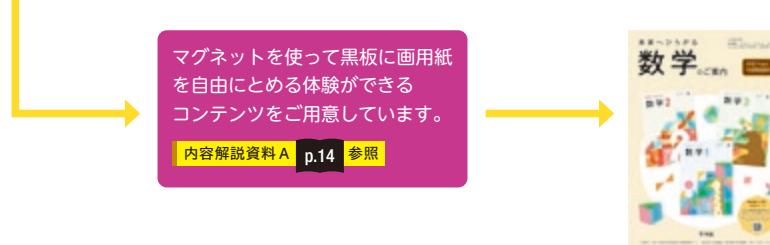
ホームページ  
<https://www.shinko-keirin.co.jp/>

本社 〒543-0052 大阪市天王寺区大道4丁目3番25号  
東京支社 〒113-0023 東京都文京区向丘2丁目3番10号  
北海道支社 〒060-0062 札幌市中央区南二条西9丁目1番2号サンケン札幌ビル1階  
東海支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目15番20号ie丸の内ビルディング1階  
広島支社 〒732-0052 広島市東区光町1丁目10番19号日本生命広島光町ビル6階  
九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目5番6号ハイヒルズビル5階  
電話(06)6779-1531  
電話(03)3814-2151  
電話(011)271-2022  
電話(052)231-0125  
電話(082)261-7246  
電話(092)725-6677

啓林館

## 本冊子「内容解説資料B ダイジェスト版」について

- 本冊子では、令和7年度用教科書「未来へひろがる数学」のページを一部抜粋して掲載しています。教科書紙面を原寸大でご覧いただけます。
- このマークがあるところは、内容解説資料Aで詳しく説明しています。



### 目次

ICTの活用でひろがる数学の学習	——	1年 2
この教科書で学ぶみなさんへ	——	1年 4
教科書の構成と使い方	——	1年 5
本編		
1年 2章 文字の式	14	
1年 7章 データの活用	28	
2年 3章 一次関数	44	
2年 4章 図形の調べ方	56	
3年 3章 二次方程式	68	
3年 6章 円の性質	80	
数学広場		
学びをふりかえろう	1年 92	
	3年 94	
力をつけよう	3年 98	
学びをいかそう	2年 102	
	3年 108	

※本冊子のページ番号は、このように示しています。



## 「未来へひろがる数学」のご紹介

### 教科書の構成

主に授業中に取り組む必修部分「本編」と、必要に応じて取り組むオプション部分「数学広場」の2部構成にしています。

学校での学習でも、家庭など授業外での学習でも、様々な場面でご活用いただけます。

### 主な改訂のポイント

- ICTを活用してより良い学びを実現できるように、QRコンテンツを充実させました。  
—— 本冊子p.3, 14, 19, 25など
- 問題を発見し、解決する力を育成するために、「ステップ方式」を改訂しました。  
—— 本冊子p.22, 53, 64, 75, 88など

### 単元一覧

1年		2年		3年	
前期	1学期	前期	1学期	前期	1学期
前 期	1 学 期	1 章 正の数・負の数	1 章 式の計算	1 章 式の展開と因数分解	1 章 式の展開と因数分解
	1 節 正の数・負の数	1 節 式の計算	1 節 式の展開と因数分解	1 節 式の展開と因数分解	1 節 式の展開と因数分解
	2 節 正の数・負の数の計算	2 節 文字式の利用	2 節 式の計算の利用	2 節 式の計算の利用	2 節 式の計算の利用
	3 節 正の数・負の数の利用	3 節 章末問題	3 節 章末問題	3 節 章末問題	3 節 章末問題
	章末問題	2 章 文字の式	2 章 連立方程式	2 章 平方根	2 章 平方根
	2 章 文字の式	1 節 文字を使った式	1 節 連立方程式	1 節 平方根	1 節 平方根
	2 節 文字式の計算	2 節 文字式の計算	2 節 連立方程式の利用	2 節 根号をふくむ式の計算	2 節 根号をふくむ式の計算
	3 節 文字式の利用	3 節 文字式の利用	3 節 章末問題	3 節 平方根の利用	3 節 平方根の利用
	章末問題	章末問題	章末問題	章末問題	章末問題
後 期	2 学 期	3 章 方程式	3 章 連立方程式	3 章 二次方程式	3 章 二次方程式
	1 節 方程式	1 節 連立方程式	1 節 二次方程式	1 節 二次方程式	1 節 二次方程式
	2 節 方程式の利用	2 節 連立方程式の利用	2 節 二次方程式の利用	2 節 二次方程式の利用	2 節 二次方程式の利用
	章末問題	章末問題	章末問題	章末問題	章末問題
	4 章 変化と対応	4 章 变化と対応	4 章 図形の調べ方	4 章 関数 $y=ax^2$	4 章 関数 $y=ax^2$
	1 節 関数	1 節 平行と合同	1 節 平行と合同	1 節 関数 $y=ax^2$ とグラフ	1 節 関数 $y=ax^2$ とグラフ
	2 節 比例	2 節 比例	2 節 図形の性質の利用	2 節 関数 $y=ax^2$ の値の変化	2 節 関数 $y=ax^2$ の値の変化
	3 節 反比例	3 節 反比例	3 節 証明	3 節 いろいろな事象と関数の利用	3 節 いろいろな事象と関数の利用
	4 節 比例、反比例の利用	4 節 比例、反比例の利用	章末問題	章末問題	章末問題
後 期	3 学 期	章末問題	5 章 図形の性質と証明	5 章 図形と相似	5 章 図形と相似
	5 章 平面図形	1 節 三角形	1 節 図形と相似	1 節 図形と相似	1 節 図形と相似
	1 節 直線と図形	2 節 四角形	2 節 平行線と線分の比	2 節 平行線と線分の比	2 節 平行線と線分の比
	2 節 移動と作図	3 節 相似な図形の計量	3 節 相似な図形の計量	3 節 相似な図形の計量	3 節 相似な図形の計量
	3 節 移動と作図の利用	4 節 相似の利用	4 節 相似の利用	4 節 相似の利用	4 節 相似の利用
	4 節 円とおうぎ形	章末問題	章末問題	章末問題	章末問題
	章末問題	5 章 図形の性質と証明	6 章 円の性質	6 章 円の性質	6 章 円の性質
	6 章 空間図形	1 節 三角形	1 節 円周角と中心角	1 節 円周角と中心角	1 節 円周角と中心角
	1 節 立体と空間図形	2 節 四角形	2 節 円の性質の利用	2 節 円の性質の利用	2 節 円の性質の利用
後 期	2 学 期	2 節 立体の体積と表面積	3 節 空間図形の利用	3 節 三平方の定理	3 節 三平方の定理
	3 学 期	3 節 空間図形の利用	4 節 直角三角形の3辺の関係	4 節 直角三角形の3辺の関係	4 節 直角三角形の3辺の関係
	4 学 期	章末問題	5 章 箱ひげ図	5 章 標本調査	5 章 標本調査
	5 学 期	7 章 箱ひげ図とデータの活用	6 节 標本調査	6 节 標本調査	6 节 標本調査
	6 学 期	1 節 ヒストグラムと相対度数	7 节 三平方の定理の利用	7 节 三平方の定理の利用	7 节 三平方の定理の利用
	7 学 期	2 節 データにもとづく確率	8 节 標本調査とデータの活用	8 节 標本調査とデータの活用	8 节 標本調査とデータの活用
	8 学 期	章末問題	1 節 標本調査	1 節 標本調査	1 節 標本調査
	9 学 期	章末問題	章末問題	章末問題	章末問題

※ ■ は本冊子に収録しています。

学びは新しい時代へ！

QRコードを読み取ると、QRコンテンツの一覧を見ることができます。

コンテンツ  
メニュー



# ICTの活用でひろがる数学の学習



立体ができあがるようすが  
イメージできるね！

図形を **動かす**  
いろいろな関数の  
グラフを **くらべる**  
ことができます。

学校の授業でも家庭学習でもお使いいただけるQRコンテンツを、  
3学年あわせて1384本ご用意しています。

内容解説資料A p.6 参照

問題が充実しているね！

たくさんの中  
**補充問題**に  
取り組むことが  
できます。  
(78問)



くわしい解説で  
わかりやすいよ！

例、例題、章末問題の  
**解説動画**を  
見ることができます。  
例、例題の解説動画はこちら



教科書のすべての例・例題を  
解説する動画をご用意して  
います。

内容解説資料A p.12 参照

CBTの体験をしながら、  
既習事項を確認できるコンテンツを  
ご用意しています。

内容解説資料A p.13 参照

ICTを活用して  
**問題を解く**練習が  
できます。



## この教科書で学ぶみなさんへ

新しい生活がはじまって、ときときわくわくしながら、紙面に  
これからの中学校生活を思いえがいていることでしょう。います  
いろいろな経験が、みなさんをどんどん成長させてくれます。  
勉強に限らず、いろいろなことに積極的に取り組んで、  
じゅうじつ  
充実した毎日を送ってください。

この本は、みんなが楽しく数学を学ぶことができるようなくふうされています。考えることや学ぶことの楽しさ、数学のおもしろさを感じながらいっしょに学んでいきましょう。さあ、楽しい数学のはじまりです。

けいた  
活発で、何事にも  
興味をもって取り組みます。  
疑問に思ったことを  
そのままにしないで、  
解決しようとする姿は、  
みんなをいつも  
感心させます。

## 先生、保護者の方へ

入学したばかりの子どもたちは、これまで小学校で学んできた算数から数学という教科にかわり、戸惑いや不安を抱いているかもしれません。しかし、勉強のしかたは、算数のときと変わりません。この教科書は、数学的な知識をしっかりと定着させるだけでなく、数学を活用して身のまわりの問題を解決していく内容も充実させています。ぜひ、この教科書を通じて、家庭・地域などでも子どもたちといっしょに数学の楽しさにふれ、考えることの楽しさを実感してみてください。

(この教科書では、QRコードを掲載しています。QRコードを読みとって見ることのできる情報は無料ですが、インターネット接続に必要な費用や通信費などは、使用される方のご負担になります。通信環境をご確認の上、ご利用ください。)

1年

人物イラストには  
外国籍の生徒も  
登場させ、多様性を  
紙面に表現して  
います。

# 教科書の構成と使い方

この教科書は、数学的な見方・考え方をはたらかせながら学習に取り組めるように、次のコーナーで構成されています。

この教科書を使って、自分から進んで知りたい、学びたいという気持ちをいたせつにしながら、しっかりと学んでいきましょう。

教科書の構成と使い方を  
わかりやすく説明して  
います。



## 節とびら

新しい節の学びがはじまる  
活動の場面です。  
QR コードから情報を見ることで、  
活動の場面の理解が深まります。



## 方法について学びましょう。

学習の目標を示しています。

ひろげよう .....>

新しい学びがはじまる  
きっかけとなる問題です。  
この問題から、数学の世界を  
ひろげていきましょう。

## 問1 例や例題などで学んだ

問1 例や例題などで学んだ  
ことがらを確認する問題です。  
同じような問題をもう少し  
解きたいときには、  
ページの下にある  
QRコードから  
補充問題 ◆もっと練習しよう ◆  
取り組むことができます。

例1 学んだことがらを理解するための具体的な例です。  
1つずつ、しっかりと理解していきましょう。

これまでに学んだことがらを  
使って解くことができる  
問題です。考え方には、  
その問題を解くときの  
考え方方が書かれているので、  
参考にしながら  
問題に取り組みましょう。  
ノートに示されている解答は、  
標準的な解答の書き方です。

## 例題 1

## 練習問題

学んだことがらを、  
より深めるための問題です。

## ふりかえり

これまでに学んだ、関連することがらが書かれています。身についていないことがらがあれば、復習しておきましょう。

学びをふりかえろう  
速さ・時間・道のり  
p.248

学びをいかそう  
最大公約数と最小公倍数  
p.270~p.271

本文の学習のポイントなどがまとめられています。



その章の学習を終えて、わかったこと、できるようになったこと、さらに学んでみたいことなどの例を示しています。ここを参考に、学習内容をふり返って、自分のことばでまとめましょう。



QRコードを読みとると、学習の役に立つ情報をることができます。  
先生の指示にしたがって使用してください。

QRコードを読み取ると、QRコンテンツの一覧を見ることができます。

※QRコード読みとり対応機器以外で使うときには、下のURLにアクセスしてください。

<https://k-qr.com/5m1>

※この情報は、すべての生徒が一律に学習する必要はありません。

## この教科書で使われているマーク

動画

動かす

P プログラミング

スライドショー

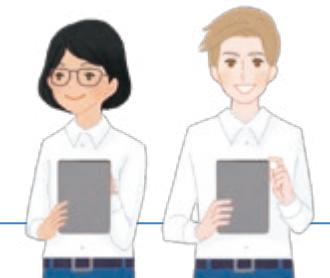
リンク

学びをたしかめよう

学びを身につけよう

学習したこと、解答

考え方、解答、解説動画



## 表現する力を身につけよう

□ 説明しよう・□ 話しあおう・□ まとめよう は、学んだことを表現することで、理解を深めたり、学びをひろげたりする活動です。

□ 説明しよう 考えたことやわかったことなどを、ほかの人に伝えることで、理解を深めます。



□ 話しあおう 話しあいによって、理解を深めたり、自分ひとりでは気がつかなかった考えに出会ったりすることで、学びをひろげます。



□ まとめよう これまでに学んできたいくつかの内容をふり返ったり、くらべたりすることで、学びを深めます。

## △ 話すとき

説明したり、意見を述べたりするときには、



- 自分の考えを整理して、具体的にわかりやすく伝えましょう。
- 自信をもって、大きな声で、はっきりと話しましょう。
- 伝えたい人の方を見て話しましょう。

話しあいをするときの注意点を示しています。

## △ 聞くとき

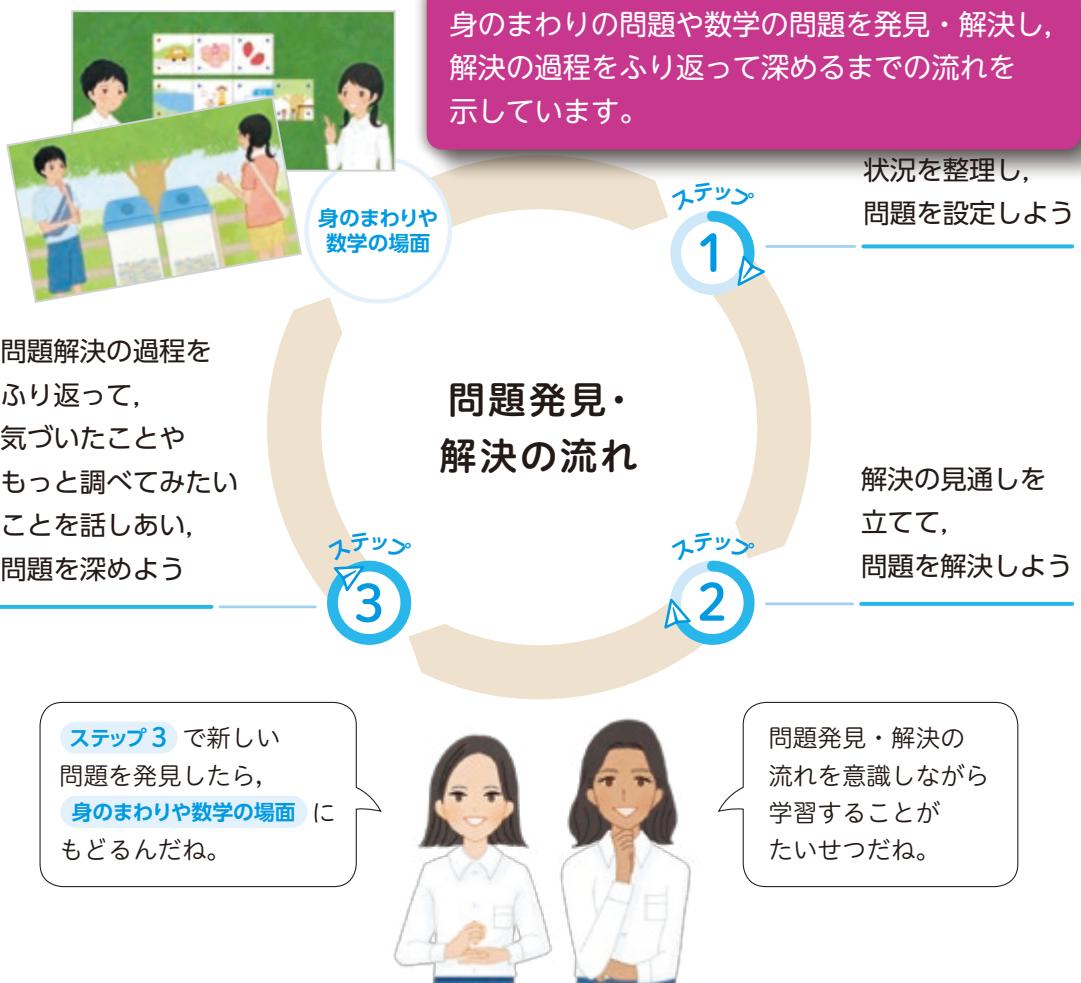
説明や意見を聞くときには、



- 自分の考えとくらべながら聞きましょう。
- 疑問に思ったがあれば、説明や意見を聞いたあとに質問しましょう。
- たいせつだと感じたことや気づいたことを書きとめましょう。
- 聞いたことや話しあったことをまとめ、ほかの人がまとめたものとくらべたり、意見や感想を聞いたりしましょう。
- 意見を聞いたり、話しあったりしたことで、自分の考えが変わったときには、書きとめておきましょう。

## 問題を発見し解決して、さらに深める力を身につけよう

身のまわりの問題や数学の問題を、これまでに学んだ数学を利用して解決するときの考え方が、次のように示されています。  
何かの疑問や解決したい問題に出会ったとき、この考え方を参考にしてみましょう。  
解決の手がかりが見つかったり、新しい発見ができたりするかもしれません。



**数学広場**に取り組もう 247ページ以降には、**数学広場**を用意しています。

### 学びをふりかえろう → p.248

算数で学んだ内容の復習ができます。  
積極的に取り組みましょう。

### 力をつけよう → p.254

学んだことの総仕上げができます。  
基本的な問題からやや発展的な問題、過去の高校入試問題をのせています。

## 学びをたしかなものにしよう

QRコードを読み取ると、それぞれの問題の詳しい解答などを見ることができます。

### 章末問題 学びをたしかめよう

その章で学んだ基本的なことがらが理解できているかどうかを確認する問題です。

### 3章 章末問題 学びをたしかめよう

- 1 次の(ア), (イ)のうち、2が解である方程式を選びなさい。  
(ア)  $5x-4=8$  (イ)  $10-3x=8x-12$

問題を解くことができたら、□に印をつけましょう。



学習したこと、解答

解けない問題があつたときには、右側に書かれたページにもどって復習しましょう。

### 章末問題 学びを身につけよう

基礎基本を確実にし、応用力をのばす問題です。

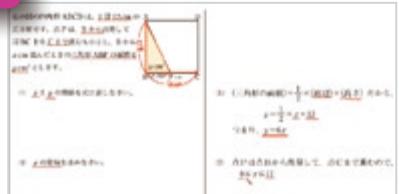
QRコードを読み取ると、それぞれの問題の詳しい解答や解説動画などを見ることができます。

学びをたしかめよう、学びを身につけようでは、問題を解くときの考え方や、くわしい解答などを見ることができます。

学びを身につけようには、解説動画も用意しています。



考え方、解答、解説動画



解説動画

### 例、例題の解説動画

授業の復習をしたいときなど、さまざまな場面で使うことができます。  
※授業での説明と異なる場合があります。



### ICTを活用した復習問題

章の学習の前の復習問題を、タブレットPCなどを使って解くことができます。



わたしたちといっしょに学んでいきましょう。

かんな



### 学びをいかそう → p.268

学んだ数学を、身のまわりなどで利用する問題をのせています。

## いろいろな場面で役に立つ **たいせつな考え方** を身につけよう

この教科書には、**同じように考える** や **範囲をひろげる** のような標識が置かれているところがあります。これは、数学の学習でみなさんに身につけてほしい **たいせつな考え方** を示しています。

どんなところに置かれているか、算数の学習をふり返って見てみましょう。

算数では、小学校4年生で、例えば、 $5.74 + 3.21$  のような、小数のたし算を筆算で計算することを考えています。このようなたし算をはじめて目にするときには、計算のしかたはまだわかりません。でも、小学校3年生で、 $574 + 321$  のような、整数のたし算を筆算で計算することなら学んでいます。

**1**  $574 + 321$  を筆算でしてみましょう。

5	7	4
+	3	2
		1

**めあて** 3けたの数をたすたし算の筆算のしかたを考えよう。

$574 + 321$  のような筆算は、どのようにしたかをふりかえると、位をそろえて、小さい位から順に計算したことが思い出されます。これをもとにすると、 $5.74 + 3.21$  はどうなるでしょうか。こちらも位をそろえて、小さい位から順に計算すれば、 $574 + 321$ と同じようにして答えを求められるのではないかと考えることができます。

### 筆算のしかた

- 位をたてにそろえてかく。
- 整数の筆算と同じように計算する。
- 上の小数点にそろえて答えの小数点をうつ。

5	7	4
+	3	2
		1

**同じように考える**

このように、過去に問題を解決したときにうまくいった方法や考え方と同じようにすれば、これから取り組む新しい問題も解決できるのではないかと考えられる場面に、この本では **同じように考える** の標識が置かれています。

次のページで、もう1つ例を見てみましょう。

小学校4年生では、整数について学んだいろいろな計算を、右のような計算のきまりとしてまとめています。そして、小学校5年生で、小数のかけ算を学ぶと、このきまりが小数でも成り立つかどうかを考えることができます。

- $\square + \bullet = \bullet + \square$
- $(\square + \bullet) + \triangle = \square + (\bullet + \triangle)$
- $\square \times \bullet = \bullet \times \square$
- $(\square \times \bullet) \times \triangle = \square \times (\bullet \times \triangle)$
- $(\square + \bullet) \times \triangle = \square \times \triangle + \bullet \times \triangle$
- $(\square - \bullet) \times \triangle = \square \times \triangle - \bullet \times \triangle$

学習の中で養われる数学的な見方・考え方を、いくつかの標識に分けてわかりやすく示しています。

## 2 計算のきまりが、小数でも成り立つかどうかを調べましょう。

- $\square$  に 2.4、 $\bullet$  に 0.5、 $\triangle$  に 0.4 をあてはめて調べてみましょう。
- $\square$ 、 $\bullet$ 、 $\triangle$  に、自分できめた小数をあてはめて調べましょう。

### まとめ

計算のきまりは、小数のときにも成り立ちます。

**範囲をひろげる**

過去に学んだことから、整数の場合だけでなく、小数の場合にはどうなるかと考えるように、数学の学習をひろげていくところに、この本では **範囲をひろげる** の標識が置かれています。

数学の学習でくり返し使う考え方だよ。



ほかにも、この教科書では次のような標識を置いて、新しい問題を見つけるなどして学びをひろげるときや問題を解決するときに役に立つ考え方を示しています。

### 新しい問題を見つけるなどして学びをひろげるときに役に立つ考え方

- 範囲をひろげる**
- きまりを見つける**
- 逆向きに考える**
- 条件をかえる**

### 問題を解決するときに役に立つ考え方

- 同じように考える**
- すでに学んだ形にする**
- 分類整理する**

また、標識がないところでも、新しい問題の解き方を考えるときや学んだことをさらに深めたいと思ったときには、これらの **たいせつな考え方** を思い出して学習に取り組んでみましょう。**たいせつな考え方** を意識して問題を見つけたり解決したりすることで、数学的な見方・考え方をしっかり身につけることができます。

## ノートをくふうして、学習に役立てよう



ノートは授業の記録であるとともに、これからの

学習の手がかりにもなります。

問題が解けずに困ったときなどには、もう一度ノートを見なおして

考え方のヒントをさがしてみましょう。きっと新たな発見があるはずです。

ノートには、黒板に書かれたことをただ写すだけではなく、

先生の説明やほかの人の発言でたいせつだと思ったこと、

自分で考えたことなども書き加えておきましょう。

これらのこととノートにまとめると、知識や考えが整理され、理解が深まります。

ここでは、いくつかのノートのとり方を紹介します。

★ノートへ書くときに気をつけること

◆たいせつだと思ったことや自分の意見など

★分数は2行を使って書こう。

例題3  $\frac{x+1}{2} = \frac{1}{5}x + 2$

両辺に2と5の公倍数10をかけると、

$$\frac{x+1}{2} \times 10 = \left(\frac{1}{5}x + 2\right) \times 10$$

$$(x+1) \times 5 = 2x + 20$$

$$5x + 5 = 2x + 20$$

$$3x = 15$$

$$x = 5$$



④分数をふくまない形にすると、計算します。

途中の式も書いておこう。

ノートにまとめるとの  
ポイントや注意点を  
示しています。

◆先生の説明やほかの人の発言で  
たいせつだと思ったことを書こう。

問5 (1)  $\frac{x+1}{3} = \frac{1}{4}x + 1$

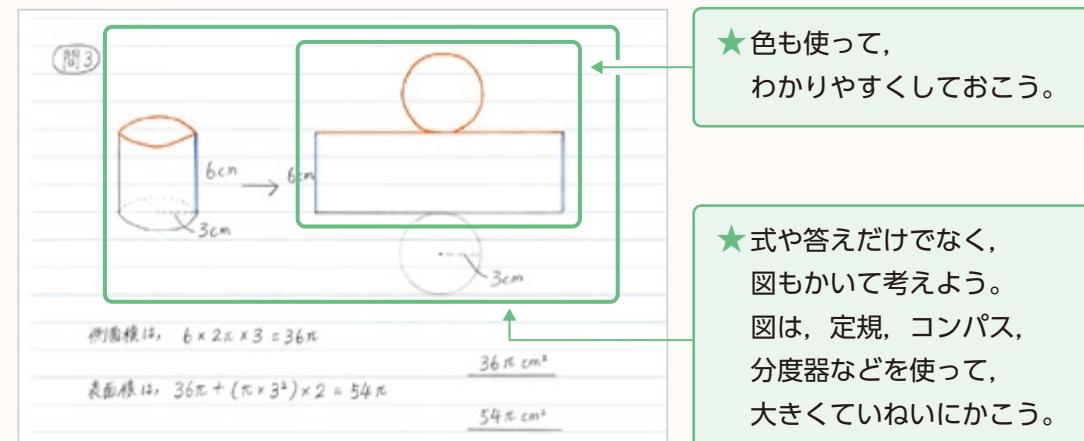
$$\frac{x+1}{3} \times 12 = \left(\frac{1}{4}x + 1\right) \times 12$$

$$4x + 12 = 3x + 12$$

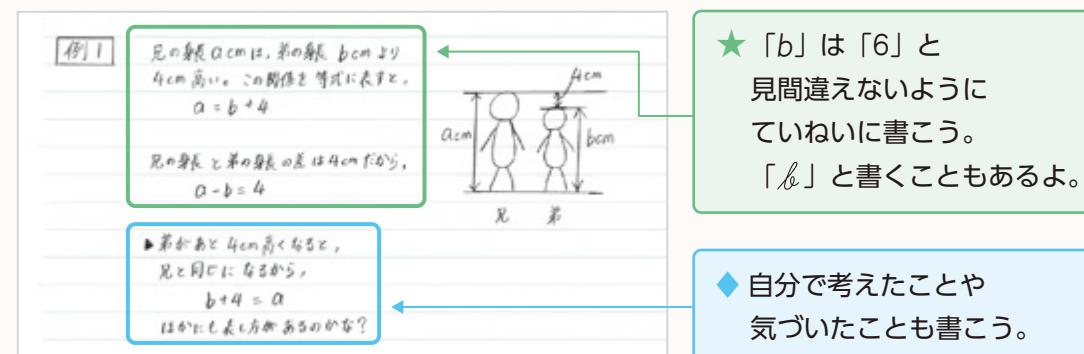
$$x = 8$$

$\frac{x+1}{3} \times 12 = \left(\frac{1}{4}x + 1\right) \times 12$   
両方にかけた  
 $(x+1) \times 4 = 3x + 12$   
 $4x + 4 = 3x + 12$   
 $x = 8$

◆○×をつけるだけでなく、  
なぜ間違えたのかを  
書こう。そして、その  
問題をもう一度解いて、  
同じ間違いを防ごう。



★色も使って、  
わかりやすくしておこう。



★式や答えだけでなく、  
図も書いて考えよう。  
図は、定規、コンパス、  
分度器などを使って、  
大きくていねいにかこう。

◆みんなで意見を  
出しあうところでは、  
自分の意見だけでなく、  
ほかの人の意見も  
書いて、自分の考えを  
見なおしたり、さらに  
深めたりしよう。

説明しよう  
どうやら反比例の関係?  
(7)  $x$  | 1 2 3 4  
 $y$  | -12 -6 -4 -3  
(8)  $x$  | 1 2 3 4  
 $y$  | 12 9 6 3

自分の考え方  
反比例のときには  
 $x$ の値が、2倍、3倍、  
4倍、……になる。  
 $y$ の値は、 $\frac{1}{2}$ 倍、 $\frac{1}{3}$ 倍、  
 $\frac{1}{4}$ 倍、……になる。  
(7)が反比例の関係  
になる。

ほかの考え方  
反比例のときには  
 $x$ と $y$ の積は  
いつも一定だから  
(7)が反比例の関係  
になる。

◆疑問に思ったことを  
書こう。あとで先生に  
たずねたり、自分で  
考えたり調べたりして  
解決しておこう。

◆反比例の関係でない方は  
どんな関係になりませんか?  
(7)が反比例の関係  
になる。

対話的な学びの記録の  
例も示しています。

ほかの人にも伝わるように、  
わかりやすくまとめることも  
たいせつだよ。



# 2章 文字の式

マグネットを使って黒板に画用紙を自由にとめる体験ができるコンテンツをご用意しています。

内容解説資料A p.14 参照

## 必要なマグネットの個数はいくつ？

地域の小学生が絵をかいた画用紙を、右のように、その一部を重ねて横に一列に並べ、マグネットでとめることにしました。



全部で30枚の画用紙をとめたいんだけど、マグネットを何個用意すればいいかな？

すぐにはわからないよ。

30枚の画用紙をとめるのに必要な個数を用意したよ。

## 1節 文字を使った式

1

### 文字を使った式



けいたさんは、画用紙が3枚と4枚の場合のマグネットの個数について考えてみることにしました。

マグネットのとめ方にはきまりはあるのかな？



節の導入である「学習のとびら」には、必ず言語活動のコーナーを配置しています。

5

#### 話しあおう

5枚の画用紙をとめるのに必要なマグネットの個数を求めましょう。また、30枚の画用紙をとめるのに必要なマグネットの個数を求めるには、どのように考えればよいでしょうか。

いろいろな数量を、文字を使って表すことを学びましょう。

# 1 数量を文字で表すこと

いろいろな数量を、文字を使って表しましょう。

前ページの場面で、とめる画用紙の枚数を、1枚、2枚、3枚と増やしていくと、必要なマグネットの個数は、

画用紙が1枚のとき、 $2 \times 1 + 2$  (個)

画用紙が2枚のとき、 $2 \times 2 + 2$  (個)

画用紙が3枚のとき、 $2 \times 3 + 2$  (個)

と表すことができます。

**問1** 前ページの場面で、画用紙が4枚、5枚、6枚のときに必要なマグネットの個数を表す式はどうなりますか。

右の表に書き入れなさい。

のことから、必要なマグネットの個数は、(画用紙の枚数)ということばを使って、

$2 \times (\text{画用紙の枚数}) + 2$  (個)

という式で表すことができます。

ここで、画用紙の枚数が  $a$  枚のときに必要なマグネットの個数は、上の式の(画用紙の枚数)の部分を  $a$  として、

$2 \times a + 2$  (個)

と表すことができます。

この式は、画用紙が  $a$  枚のときに必要なマグネットの個数を表していて、画用紙の枚数を表す  $a$  の値がわかれば、必要なマグネットの個数を求めることができます。

例えば、画用紙の枚数が30枚のときは、(画用紙の枚数)である  $a$  に30をあてはめて、

$2 \times 30 + 2$  (個)

が必要なマグネットの個数になります。

このような文字を使った式を文字式といいます。

いろいろな数量を、文字式で表しましょう。



学習のまとまりごとに小見出しを設け、常に目的意識を持って学習に取り組めるようにしています。

## ふりかえり 算数

1個  $ag$  のかんづめ8個を、200gの箱に入れたときの全体の重さは、  
(1個の重さ)  $\times 8 + 200$  (g)

だから、次のように表されます。

$$a \times 8 + 200 \text{ (g)}$$

これまでに学んだ関連することがらを、「ふりかえり」として扱っています。



画用紙の枚数(枚)	必要なマグネットの個数(個)
1	$2 \times 1 + 2$
2	$2 \times 2 + 2$
3	$2 \times 3 + 2$
4	
5	
6	

## 問2

次の数量を表す文字式を書きなさい。

(1) 1個  $135\text{g}$  のボール  $b$  個を、 $1500\text{g}$  のボールケースに入れたときの全体の重さ

(2) 1個  $x$  円のドーナツを6個買い、 $1000$  円出したときのおつり

(3) 縦が  $2\text{cm}$ 、横が  $a\text{cm}$  の長方形の面積

## 例1

2種類の文字で表される数量

1冊  $120$  円のノート  $a$  冊と1本  $100$  円のボールペン  $b$  本を買ったときの代金は、

1冊  $120$  円のノートが  $a$  冊で、

$$120 \times a \text{ (円)}$$

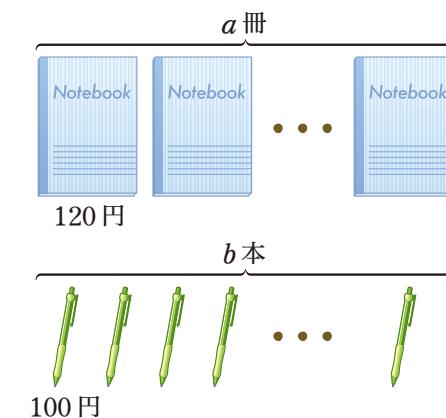
1本  $100$  円のボールペンが  $b$  本で、

$$100 \times b \text{ (円)}$$

だから、あわせて、

$$120 \times a + 100 \times b \text{ (円)}$$

と表される。



## 問3

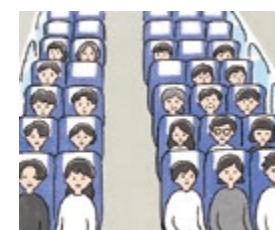
次の数量を表す文字式を書きなさい。

(1)  $100$  円硬貨  $x$  枚と  $10$  円硬貨  $y$  枚をあわせた金額

(2) 2人掛けの座席  $a$  列と3人掛けの座席  $b$  列をすべて使って、すわることができる人数

(3) 長さ  $a\text{cm}$  のひもから、長さ  $5\text{cm}$  のひもを  $x$  本切り取ったときの残りの長さ

(4) 底辺が  $a\text{cm}$ 、高さが  $h\text{cm}$  の三角形の面積

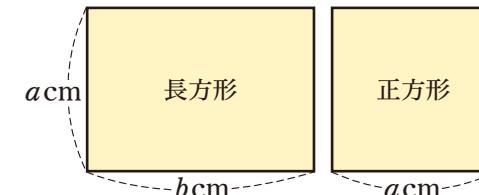


## 2 文字式の表し方

文字式の表し方について学びましょう。

### ひろげよう

右の図のような長方形と正方形があります。  
それぞれの面積と周の長さを、  
文字式で表しましょう。



文字式で積を表すときには、次のようにします。

### 文字式の表し方(積)

- かけ算の記号  $\times$  を省いて書く。
- 文字と数の積では、数を文字の前に書く。
- 同じ文字の積は、指数を使って書く。

### 例1 積の表し方

- (1)  $a \times b = ab$  (2)  $a \times 4 = 4a$   
 (3)  $a \times a = a^2$  (4)  $(a+b) \times 2 = 2(a+b)$

$b \times a$  は  $ba$  ですが、ふつうはアルファベットの順にして、  
 $ab$  と書きます。

$1 \times a$  は、記号  $\times$  を省くと  $1a$  ですが、単に  $a$  と書きます。  
 また、 $(-1) \times a$  は  $-a$  と書きます。

$a \times b = b \times a$

$1 \times a = a$   
 $(-1) \times a = -a$

### 問1 次の式を、文字式の表し方にしたがって書きなさい。

- (1)  $50 \times n$  (2)  $x \times 8$   
 (3)  $y \times (-1) \times x$  (4)  $c \times c \times c$   
 (5)  $3 \times a \times a \times b$  (6)  $(b+c) \times 7$

### 問2 次の式を、記号 $\times$ を使って表しなさい。

- (1)  $7ab$  (2)  $2xy^2$

文字式で商を表すときには、次のようにします。

### 文字式の表し方(商)

- ④わり算は、記号  $\div$  を使わないで、分数の形で書く。

### 例2 商の表し方

(1)  $a \div 5 = \frac{a}{5}$  (2)  $(a+b) \div 5 = \frac{a+b}{5}$

**注意**  $\div 5$  は、 $\times \frac{1}{5}$  と同じことだから、

$\frac{a}{5}$  は  $\frac{1}{5}a$ ,  $\frac{a+b}{5}$  は  $\frac{1}{5}(a+b)$

のように書くこともできます。

### 問3 次の式を、分数の形で表しなさい。

- (1)  $x \div 2$  (2)  $3 \div y$   
 (3)  $a \div b$  (4)  $(x+y) \div 4$

### 問4 次の式を、記号 $\div$ を使って表しなさい。

- (1)  $\frac{a}{3}$  (2)  $\frac{8}{t}$   
 (3)  $\frac{x+y}{2}$  (4)  $\frac{1}{3}(a-b)$

QRコンテンツ「補充問題」では、  
 「問」と同程度の難易度の問題に  
 取り組むことができます。  
 詳しい解答もご用意しています。

内容解説資料A p.12 参照

乗法、除法をふくむ式を、記号  $\times$ ,  $\div$  を使わないで  
 表しましょう。

### 例3 記号 $\times$ , $\div$ を使わない表し方

$$6 \times a + b \div 3 = 6a + \frac{b}{3}$$

### 問5 次の式を、記号 $\times$ , $\div$ を使わないで表しなさい。

- (1)  $50 \times n + 30$  (2)  $x \div 4 - y \times 4$

記号  $+$ ,  $-$  は  
 省略できないよ。

▶ 補充問題 1

▶ 補充問題 2

### 問6 次の式を、記号 $\times$ , $\div$ を使って表しなさい。

- (1)  $1000 - 5a$  (2)  $3(x+y) - \frac{z}{2}$

補充問題

1 2



文字式の表し方にしたがって、いろいろな数量を式に表しましょう。

#### 例4 代金とおつり

5000円を出して、1個 $x$ 円のケーキを6個買ったときのおつりを式に表す。

おつりは、

$$\text{出したお金} - \text{代金}$$

また、代金は、

$$x \times 6 = 6x \text{ (円)}$$

だから、おつりは次のような文字式で表される。

$$5000 - 6x \text{ (円)}$$

この式は、おつりの金額を表すとともに、おつりの求め方を表していると考えることができる。



#### 問7 次の数量を表す式を書きなさい。

- (1) 4人が $a$ 円ずつ出して、500円の品物を買ったときの残金
- (2) 1個 $x$ 円のりんご3個と1個 $y$ 円のみかん5個を買ったときの代金

#### 例5 速さ・時間・道のり

道のり $x$ kmのハイキングコースを、3時間かかって歩いたときの速さを式に表す。

速さは、

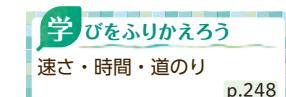
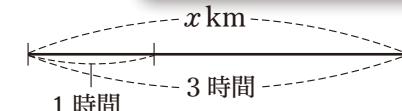
$$\text{道のり} \div \text{時間}$$

で求められるので、次のように表される。

$$x \div 3 = \frac{x}{3} \text{ (km/h)}$$



巻末の数学広場「学びをふりかえろう」で、速さ・時間・道のりについて丁寧に解説しています。  
(本冊子p.92)



#### 問8 次の数量を表す式を書きなさい。

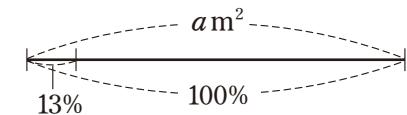
- (1) 時速4kmで、 $x$ 時間歩いたときの道のり
- (2)  $y$ km離れた町まで、時速2kmで歩いたときにかかった時間

km/hは、時速を表す単位で  
hはhour(時)の頭文字だよ。

#### 例6 割合

ある公園の面積は $a$ m<sup>2</sup>で、その13%は池である。

割合13%を分数で表すと、 $\frac{13}{100}$ だから、



公園の池の面積は、次のように表される。

$$a \times \frac{13}{100} = \frac{13}{100}a \text{ (m}^2\text{)}$$



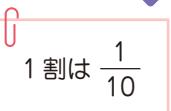
注意 割合13%を小数で表すと、0.13になるので、例6は

$$a \times 0.13 = 0.13a \text{ (m}^2\text{)}$$

と表すこともできます。

#### 問9 次の数量を表す式を書きなさい。

- (1)  $a$ gの小麦粉の47%の重さ
- (2)  $b$ 円の品物を、3割引きで買ったときの代金



#### 文字式がどんな数量を表しているのかを考えましょう。

これまで、数量を文字式で表すことを考えてきました。

ここからは、文字式がどんな数量を表しているのかについて考えましょう。



#### 例7 式の意味

ある博物館の入館料は、おとな1人が $a$ 円、子ども1人が $b$ 円である。

このとき、

$$2a+3b \text{ (円)}$$

は、おとな2人と子ども3人の入館料の合計を表している。

学習の中で働かせた数学的な見方・考え方を、本文への下線と標識でわかりやすく示しています。

内容解説資料A p.22 参照



京都鉄道博物館 (京都府京都市)

#### 問10 例7で、次の式は何を表していますか。

- (1)  $a+2b$  (円)
- (2)  $a-b$  (円)

#### 問11 家を出てから、分速60mで $x$ 分間歩き、さらに、

分速80mで $y$ 分間歩いて駅に着きました。

このとき、次の式は何を表していますか。

- (1)  $x+y$  (分)
- (2)  $60x+80y$  (m)



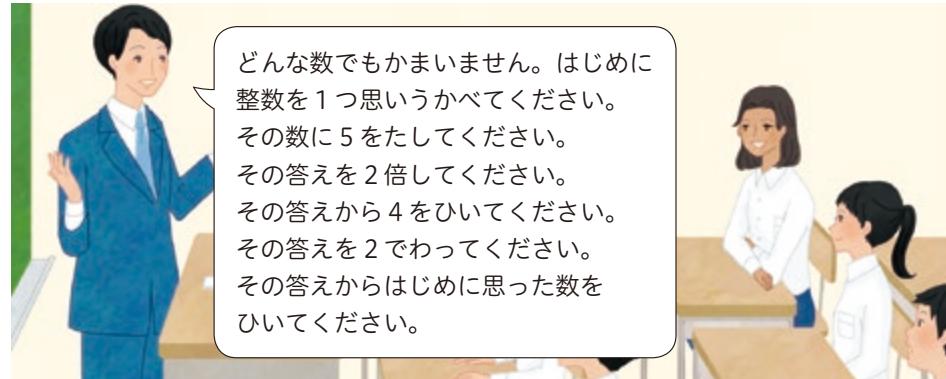
# 3 節 文字式の利用

単元全体を活用と位置づけているデータの活用領域を除くすべての章に「○○の利用」の節を配置しています。

## 数あてマジックのしくみを考えよう



先生が授業で数あてマジックをすることになりました。



先生は、全員が計算し終わったのを確かめてから、計算の結果は聞かずに次のようにいいました。



### 話しあおう

整数を1つ決めて、同じように計算してみましょう。

また、先生はなぜ全員の計算の結果がわかったのでしょうか。

文字式を利用して、問題を解決しましょう。

## 1 文字式の利用

ステップ

1

### 状況を整理し、問題を設定しよう

身のまわりの問題や数学の問題を発見・解決し、解決の過程をふり返って深めるまでの流れを「ステップ方式」として示しています。

内容解説資料A p.18 参照

けいたさんは、はじめにどんな整数を決めて、計算の結果はかならず3になると予想し、次の問題をつくりました。

きまりを見つける

Q

はじめにどんな整数を決めて、①～⑤の順で計算をすると、計算の結果はかならず3になることを説明しなさい。

- ① 決めた整数に5をたす。
- ② ①の答えを2倍する。
- ③ ②の答えから4をひく。
- ④ ③の答えを2でわる。
- ⑤ ④の答えからはじめに決めた整数をひく。

ステップ

2

### 解決の見通しを立て、問題を解決しよう

けいたさんの予想が正しいことを、次の手順で説明します。

- ① 決めた整数を文字で表す。
- ② Qの①～⑤の順で計算をする。
- ③ 計算の結果から、けいたさんの予想が正しいことを導く。

### 説明しよう

①～⑤の順で計算をすると、計算の結果はかならず3になることを説明しましょう。

ステップ

3

### 問題解決の過程をふり返って、気づいたことやもっと調べてみたいことを話しあい、問題を深めよう

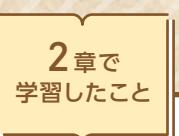
#### 深める例

新しい数あてマジックもつくれるかな？



### 説明しよう

新しい数あてマジックをつくり、そのしくみを説明してみましょう。



- 1 次の式を、文字式の表し方にしたがって書きなさい。
- (1)  $25 \times a$  (2)  $-x \times y \times x$   
 (3)  $x \div 3$  (4)  $(m+n) \div 2$   
 (5)  $10 \times a + 15$  (6)  $x \times 3 - y \div 2$

1 文字式の表し方を理解していますか。

「学びをたしかめよう」では、基礎・基本の定着を確かめられる問題を掲載しています。

内容解説資料A p.28 参照

- 2 次の式を、記号  $\times$ ,  $\div$  を使って表しなさい。
- (1)  $2mn$  (2)  $x^3y$   
 (3)  $8a+3b$  (4)  $4(x+y) - \frac{z}{5}$

使って表すことができます。  
 → p.62~p.63

3 数量を表す式を書きなさい。

3 数量を文字式に表すことができます。  
 → p.64~p.65

- (1) 1本  $x$  円のジュース 5本の代金  
 (2) 分速  $60\text{m}$  で  $a$  分間歩いたときの道のり  
 (3)  $b\text{kg}$  の品物の  $31\%$  の重さ

- 4  $x=5$ ,  $y=-3$  のとき、次の式の値を求めなさい。
- (1)  $5x+2$  (2)  $4-7x$   
 (3)  $\frac{15}{x}$  (4)  $x^2$   
 (5)  $3x+5y$  (6)  $2x - \frac{1}{3}$

4 式の値を求めることができます。  
 → p.66~p.68

その問題で何を確認しているかと、理解が不十分であった場合にはどこに戻ればよいかを示しています。

- 5 次の式の項をいいなさい。  
 また、文字をふくむ項について、係数をいいなさい。
- (1)  $3-4a$  (2)  $-x+5y+2$

5 文字式の項と係数について理解していますか。  
 → p.70

- 6 次の計算をしなさい。
- (1)  $9x-x$  (2)  $-8x+3x$   
 (3)  $7a+4+3a-5$  (4)  $9y-8-4y+7$   
 (5)  $5x+(7+3x)$  (6)  $-2a-(8a+3)$

6 文字式の加減の計算ができます。  
 → p.71~p.73

それぞれの問題の詳しい解答などを用意しています。

内容解説資料A p.10 参照



- 7 次の2つの式をたしなさい。  
 また、左の式から右の式をひきなさい。
- (1)  $8x+2$ ,  $6x-2$  (2)  $-3y+10$ ,  $9y-7$

- 8 次の計算をしなさい。
- (1)  $2x \times (-2)$  (2)  $-12y \times 4$   
 (3)  $4x \div (-4)$  (4)  $-9x \div \frac{3}{2}$   
 (5)  $3(x+5)$  (6)  $-2(4x-3)$   
 (7)  $(9x+12) \div 3$  (8)  $(-12x+8) \div (-2)$   
 (9)  $\frac{y-2}{3} \times 9$  (10)  $4(3a+1)-2(5a+4)$

- 9 次の数量の関係を、等式か不等式に表しなさい。
- (1)  $a$  本の鉛筆を、1人に5本ずつ  $b$  人に配ると3本余る。  
 (2) 4人で  $x$  円ずつ出しても、900円の品物は買えない。

- 10 1年生が  $x$  人、2年生が  $y$  人います。  
 このとき、次の不等式はどんなことを表しています。  

$$x > y + 10$$

その章の学習全体をふり返って、わかったことやさらに学んでみたいことなどをまとめの活動を、「●章のあしあと」として配置しています。

この章の学習を終えて、わかったこと、できるようになったこと、さらに学んでみたいことなどをまとめましょう。

例 文字式も、数の式と同じように計算できることにおどろきました。数あてマジックでは、計算の結果がかならず3になるのは不思議でしたが、文字式を使って計算することで理由が説明できたのはすごいと思いました。これからも、文字式を使っていろいろなことを説明してみたいですね。

「学びを身につけよう」では、基礎・基本を確実にし、応用力を養える問題を掲載しています。

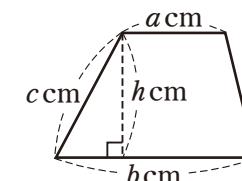
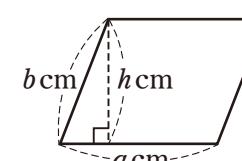
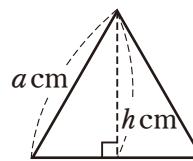
内容解説資料A p.28 参照

1 次の数量を表す式を書きなさい。

- (1) 時速  $x$  km で 2 時間歩いたときの道のり
- (2) 100 枚入りで  $a$  円の折り紙を買ったときの 1 枚あたりの値段
- (3)  $y$  kg の米があり、そこから  $x$  g 使ったときの残りの重さ

2 次の(1)～(3)の図形について、面積を表す式を、それぞれ書きなさい。

- (1) 正三角形
- (2) 平行四辺形
- (3) 台形

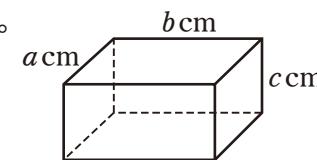


3 縦  $a$  cm、横  $b$  cm、高さ  $c$  cm の直方体があります。

このとき、次の式は何を表していますか。

また、その単位をいいなさい。

- (1)  $abc$
- (2)  $4(a+b+c)$



4  次の文字式の中で、 $a = -\frac{1}{3}$  のとき、その式の値が、もっとも大きくなるものはどれですか。  
また、もっとも小さくなるものはどれですか。

$$2a, \ a^2, \ \frac{1}{a}, \ -a, \ -\frac{1}{a^2}$$

5 次の計算をしなさい。

- (1)  $-3x+9-(2x-1)$
- (2)  $5y-2-(4-6y)$
- (3)  $100(0.3x-1.05)$
- (4)  $(450x-180) \div (-90)$
- (5)  $12 \times \frac{3x-2}{4}$
- (6)  $-6\left(\frac{3}{2}x - \frac{1}{3}\right)$
- (7)  $5(7y-2)-4(6y+3)$
- (8)  $6(y-4)+2(9y+6)$

6  $A=4x+3, B=-2x+1$  とするとき、次の式を計算しなさい。

- (1)  $A+B$
- (2)  $2A-3B$

7 次の数量の関係を、等式か不等式に表しなさい。

- (1)  $x$  個のいちごを、1 人に 6 個ずつ  $y$  人に配ると 2 個たりない。
- (2) ある数  $x$  に 7 をたした数は、もとの数  $x$  の 2 倍より小さい。
- (3) 画用紙を、1 人に 5 枚ずつ  $x$  人に配ると、100 枚ではたりない。

8  正の整数のわり算では、

$$(わられる数) = (わる数) \times (商) + (余り)$$

の関係があります。

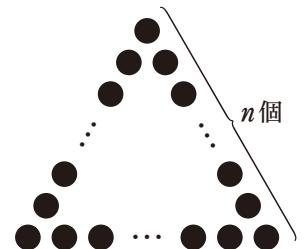
正の整数  $a$  を 3 でわったときの商を  $b$ 、余りを  $c$  とするとき、 $a, b, c$  の関係を等式に表しなさい。

それぞれの問題の詳しい解答や解説動画などを用意しています。

内容解説資料A p.10 参照

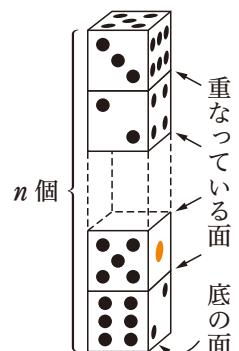
9  1 辺に  $n$  個の碁石を並べて、正三角形をつくります。

必要な碁石の数を  $n$  を使って表しなさい。  
ただし、 $n$  は 2 以上の自然数とします。



10  立方体のさいころは、1 と 6, 2 と 5,

3 と 4 の目が、それぞれ向かいあう面にあります。右の図のように、いちばん上にあるさいころの上の面の目の数が 5 で、 $n$  個のさいころが重なっています。さいころが重なっている面の目と、いちばん下のさいころの底の面の目の数をすべてたとすると、いくつになりますか。



# 章 データの活用

## 滞空時間の長いリボンをつくろう



かりんさんの学校ではもうすぐ3年生を送る会があり、かりんさんたちはその演出を考えています。

かりんさんは、このまえコンサートに行ったときに、ゆっくり落ちる紙ふぶきが降ってきたことを思い出し、3年生を送る会でも紙ふぶきを降らせたいと考えました。

データの活用領域では、データを活用して問題を解決する力を身につけることができるよう、展開を工夫しています。

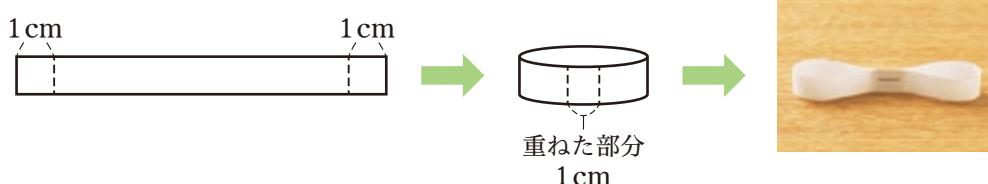
内容解説資料A p.34 参照



コンサートでは、紙ふぶきの1つ1つは、次のようなリボンでつくられていきました。

### リボンのつくり方

長方形の紙で輪をつくり、下の写真のようにステープラでとめます。



## 節 ヒストグラムと相対度数

かりんさんたちは、紙ふぶきをきれいに降らせるには、滞空時間が長いリボンをつくればよいのではないかと考えました。

グループで学習を進めていく協働学習の場面を、イラストで示しています。



### 話しあおう

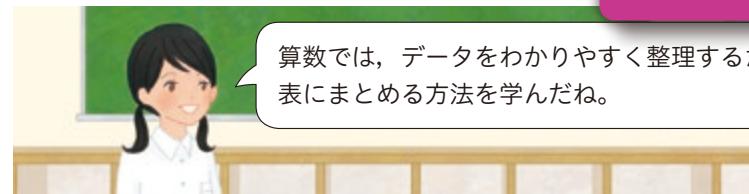
どんな形や大きさの紙でリボンをつくると、滞空時間がより長くなるでしょうか。また、それを調べるには、どうすればよいでしょうか。

データの傾向や特徴を調べて、いろいろな問題を解決しよう。



## 表やグラフを使ってくらべましょう。

滞空時間について調べるストーリー  
の中で、新規内容を学んでいく流れに  
しています。



算数では、データをわかりやすく整理するために、  
表にまとめる方法を学んだね。

右の表1は、222ページの(ア)の滞空時間を0.40秒ごとの区間に区切り、その区間にふくまれる回数を整理したものです。

分類整理する

このように整理した1つ1つの区間を、  
階級といい、各階級にはいるデータの個数を、  
その階級の度数といいます。

また、階級に応じて、度数を右のように整理した表を度数分布表といいます。

分布のようすを調べるときに、階級の度数の合計を考えることがあります。

最初の階級から、ある階級までの度数の合計を累積度数といいます。

## 例2

## 累積度数

222ページの(イ)の滞空時間について、  
2.20秒未満の累積度数は、  
右の表2から、  
 $1+7+25=33$ (回)  
になる。

滞空時間(秒)	度数(回)	累積度数(回)
1.00以上～1.40未満	1	1
1.40～1.80	7	8
1.80～2.20	25	33
2.20～2.60	13	
2.60～3.00	3	
3.00～3.40	1	
計	50	

度数分布表には、  
累積度数を  
書き加える  
ことがあるよ。



## 問2

上の表2について、累積度数の空欄をうめなさい。

▶補充問題 2

## 問3

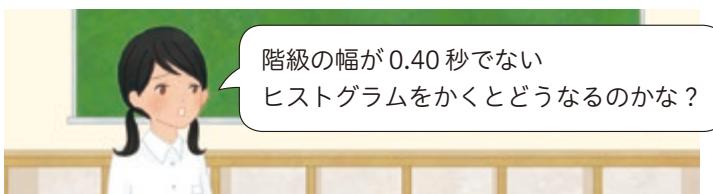
(ア)と(イ)の滞空時間について、滞空時間が2.60秒未満であるのは、それぞれ何回ですか。

## 疑問1 長方形の紙の長さはどちらがいいのか

右の図1は、前ページの表1の度数分布表を、  
横軸を滞空時間、縦軸を度数としてグラフに  
表したものです。

分類整理する

階級の幅を横、度数を縦とする長方形を  
並べたこのようなグラフを、ヒストグラム  
または、柱状グラフといいます。



階級の幅が0.40秒でない  
ヒストグラムをかくとどうなるのかな？

図1 (ア)の滞空時間  
(階級の幅 0.40秒)

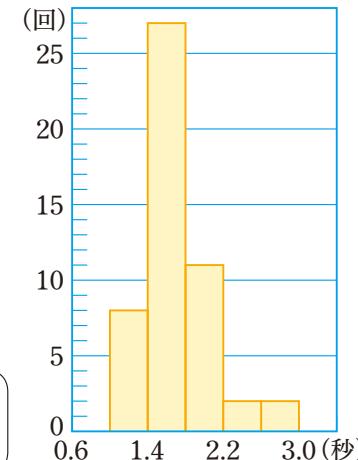
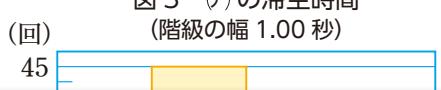


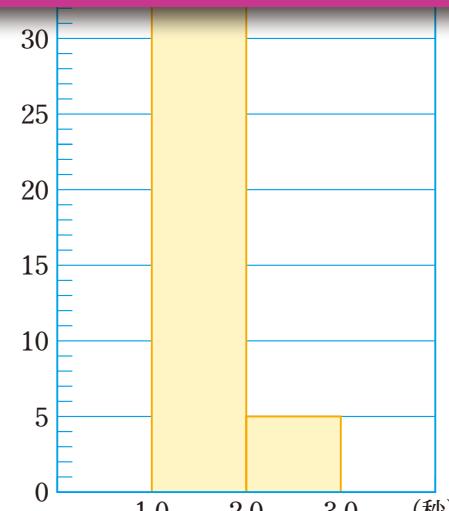
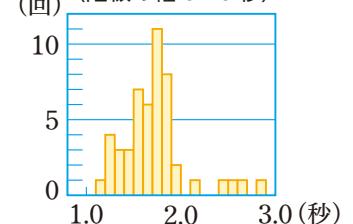
図3 (ア)の滞空時間  
(階級の幅 1.00秒)



どんな疑問を解決しようとしているかを  
見開きごとに必ず表示し、常に目的意識を  
持つて学習にのぞめるようにしています。

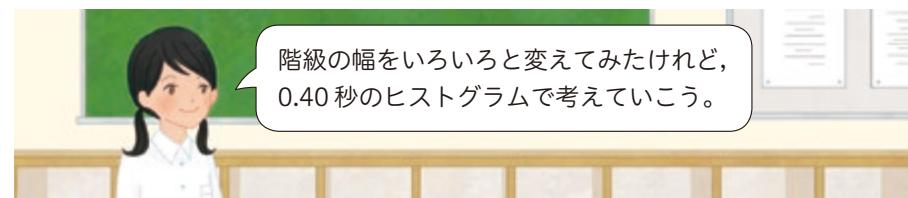


図2 (ア)の滞空時間  
(階級の幅 0.10秒)



同じデータからつくったヒストグラムでも、階級の幅を変えると、  
特徴の見え方や読みととができる傾向が変わることがあります。

ヒストグラムから分布のようすを調べるときには、階級の幅を  
いろいろと変えてみることがたいせつです。



階級の幅をいろいろと変えてみたけれど、0.40秒のヒストグラムで考えていく。

階級の幅を0.40秒にして、224ページの表1と表2をもとに、(ア)と(イ)の滞空時間をヒストグラムに表すと、下の図4と図5のようになります。

図4 (ア)の滞空時間

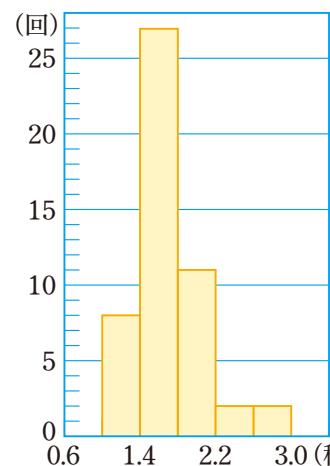
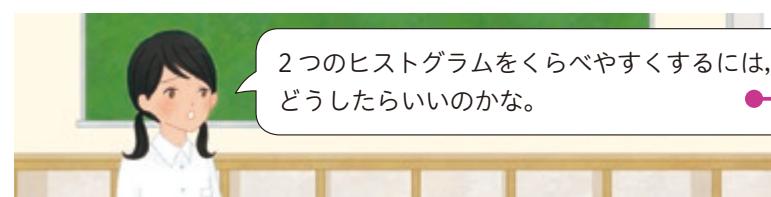
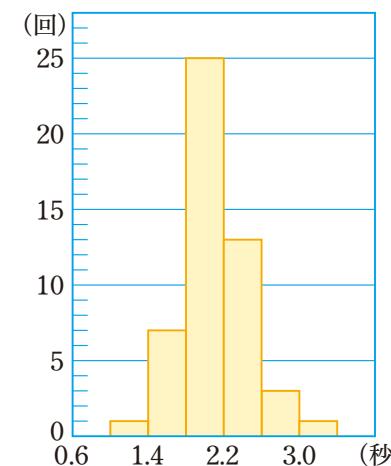


図5 (イ)の滞空時間



2つのヒストグラムをくらべやすくするには、どうしたらいいのかな。

新たな整理の方法を学ぶときには、その方法のよさに気づけるようにしています。

ヒストグラムの1つ1つの長方形の上の辺の中点を、順に線分で結びます。

ただし、両端では、度数0の階級があるものと考えて、線分を横軸までつなげます。

このようにしてできた折れ線グラフを、**度数分布多角形**といいます。

**注意** 度数分布多角形を、度数折れ線ともいいます。

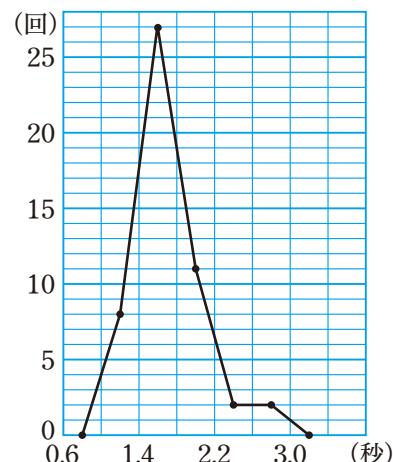
度数分布多角形を重ねると、複数のデータの分布のようすがくらべやすくなります。

## 疑問1 長方形の紙の長さはどちらがいいのか

### 問4

右の図は、(ア)の滞空時間の度数分布多角形です。この図に、前ページの図5をもとにして、(イ)の滞空時間の度数分布多角形をかき入れなさい。

▶ 補充問題 3



### 話しあおう

問4 でかいた度数分布多角形から、(ア)と(イ)のどちらが滞空時間が長いといえるでしょうか。

### 代表値を使ってくらべましょう。

#### ふりかえり 算数

ある7人のクイズの得点が、7, 6, 5, 5, 9, 5, 5のとき、

$$\begin{aligned} \text{・平均値} &= \frac{\text{データの個々の値の合計}}{\text{データの個数}} \\ &= \frac{7+6+5+5+9+5+5}{7} \\ &= 6 \text{ (点)} \end{aligned}$$

・中央値は、データの値を大きさの順に並べたときの中央の値である。

得点を大きさの順に並べると、

5, 5, 5, (5), 6, 7, 9

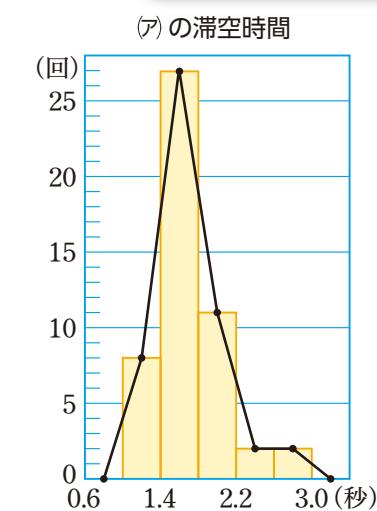
だから、中央値は4番目の値で、5点

・最頻値は、データの値の中でもっとも多く現れる値だから、5点

算数で学んでいる内容についても、具体例とともに丁寧に説明しています。

学びをふりかえろう  
データの整理

p.253



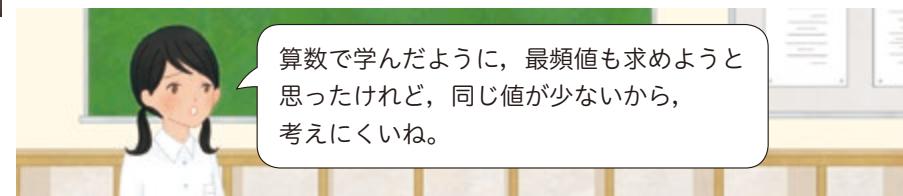
上のふりかえりの平均値、中央値、最頻値のように、データの値全体を代表する値を**代表値**といいます。

(ア)と(イ)の滞空時間について、223ページの表から、平均値、中央値を求めると、次のようになります。

- ・(ア)の滞空時間 …… 平均値 1.71秒、中央値 1.72秒
- ・(イ)の滞空時間 …… 平均値 2.07秒、中央値 2.01秒

分類整理する





算数で学んだように、最頻値も求めようと思つたけれど、同じ値が少ないから、考えにくいね。

222ページの滞空時間の記録のように、細かく計測すると、同じ値が少なくなることがあります。このようなデータでは、次のように、度数分布表をもとにして最頻値を考えます。

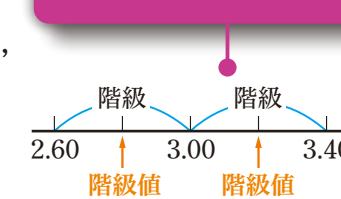
度数分布表で、それぞれの階級のまん中の値を **階級値** といいます。

例えば、滞空時間が 2.60 秒以上 3.00 秒未満の階級では、

$$\frac{2.60 + 3.00}{2} = 2.80 \text{ (秒)}$$

が階級値です。

言葉だけで伝わりにくいところには、図をそえて説明しています。



度数分布表では、度数のもっとも多い階級の階級値を最頻値として用います。

**問5** 右の表で、各階級の階級値の空欄をうめなさい。また、この表をもとにして、(ア)と(イ)の滞空時間の最頻値を、それぞれ答えなさい。

▶ 補充問題 4

滞空時間(秒)	階級値(秒)	(ア)と(イ)の滞空時間	
		(ア) 度数(回)	(イ) 度数(回)
1.00 以上～ 1.40 未満		8	1
1.40 ～ 1.80		27	7
1.80 ～ 2.20		11	25
2.20 ～ 2.60		2	13
2.60 ～ 3.00	2.80	2	3
3.00 ～ 3.40		0	1
計		50	50

### 話しあおう

平均値、中央値、最頻値から、(ア)と(イ)のどちらが滞空時間が長いといえるでしょうか。

### 4. 結論をまとめよう

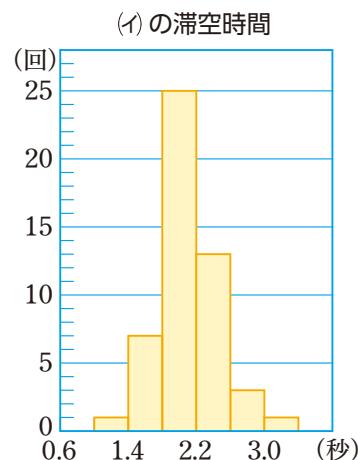
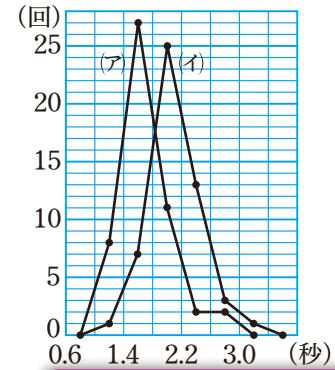
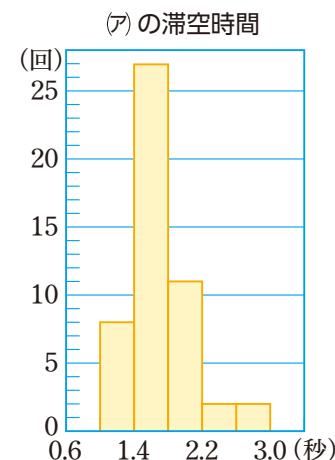
Conclusion (結論)

### 話しあおう

これまで、(ア)と(イ)の滞空時間について、次のように、いろいろな方法で整理しました。これらのことから、(ア)と(イ)のどちらが滞空時間が長いといえるでしょうか。理由についても話しあいましょう。

#### (ア)と(イ)の滞空時間

滞空時間(秒)	(ア)		(イ)	
	度数(回)	累積度数(回)	度数(回)	累積度数(回)
1.00 以上～ 1.40 未満	8	8	1	1
1.40 ～ 1.80	27	35	7	8
1.80 ～ 2.20	11	46	25	33
2.20 ～ 2.60	2	48	13	46
2.60 ～ 3.00	2	50	3	49
3.00 ～ 3.40	0	50	1	50
計	50		50	



	(ア)	(イ)
最小値	1.17 秒	1.32 秒
最大値	2.80 秒	3.39 秒
範囲	1.63 秒	2.07 秒
平均値	1.71 秒	2.07 秒
中央値	1.72 秒	2.01 秒
最頻値	1.60 秒	2.00 秒

これまでに整理したことを統合的に使って考えて、

疑問1「長方形の紙の大きさはどちらがいいのか」を解決します。



## 疑問2 長方形の紙の幅はどちらがいいのかな

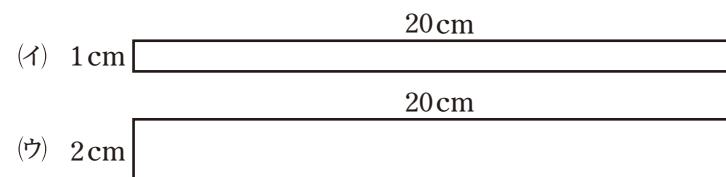
### 1. 調べたいことを決めて、どのように解決するか考えよう

かりんさんは、**疑問1**で、(イ)の方が滞空時間が長いと考えました。

Problem (問題)  
Plan (計画)



そこで、(イ)と長さは同じで、幅の違う(ウ)の滞空時間を調べ、(イ)の滞空時間とくらべてみることにしました。



PPDACサイクル1周目  
疑問1の結論を受けて、新たな問題を設定し、2周目のサイクル**疑問2**に入る流れにしています。

### 2. 必要なデータを集めよう Data (データ)

かりんさんが(ア)と(イ)の滞空時間を測定したときと同じ条件で、別のクラスが(ウ)の滞空時間を測定する実験をすでにおこなっていきので、データをもらい、度数分布表に整理しました。

◆ 分類整理する

表1 (ウ)の滞空時間

実験回数	滞空時間(秒)	実験回数	滞空時間(秒)	実験回数	滞空時間(秒)
1	2.59	11	2.44	21	2.27
2	2.44	12	2.46	22	2.54
3	2.60	13	2.39	23	2.35
4	2.88	14	2.80	24	2.15
5	2.40	15	2.56	25	2.98
6	3.01	16	2.80	26	2.61
7	2.56	17	2.81	27	1.79
8	2.06	18	2.45	28	2.68
9	2.48	19	2.78	29	2.82
10	2.43	20	2.96	30	2.54

表2 (ウ)の滞空時間

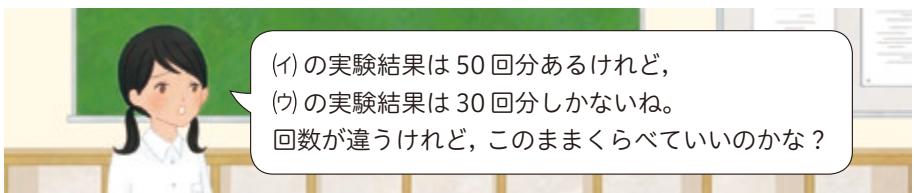
滞空時間(秒)	度数(回)
1.00 以上～ 1.40 未満	0
1.40 ～ 1.80	1
1.80 ～ 2.20	
2.20 ～ 2.60	
2.60 ～ 3.00	
3.00 ～ 3.40	
計	

ヒストグラムなどを簡単にかくことができる自動作成ツール(統計ツール statKeirin)をご用意しています。

内容解説資料A p.17 参照

### 3. データの傾向や特徴を調べよう Analysis (分析)

度数分布表やヒストグラムを使ってくらべましょう。



全体の度数が違うとき、それぞれの階級の度数の、全体に対する割合を求めて、その割合でくらべることができます。

それぞれの階級の度数の、全体に対する割合を、  
その階級の **相対度数** といいます。

$$\text{相対度数} = \frac{\text{階級の度数}}{\text{度数の合計}}$$

#### 例3 相対度数

前ページの表2で、2.60秒以上3.00秒未満の階級の相対度数は、小数第2位まで求めることにすると、次のようになる。

$$\frac{11}{30} = 0.366\cdots$$

小数第3位を四捨五入しよう。



#### 問6 相対度数

前ページの表2で、1.40秒以上1.80秒未満の階級の相対度数を求めなさい。

最初の階級から、ある階級までの相対度数の合計を**累積相対度数**といいます。

#### 例4 累積相対度数

224ページの(イ)の滞空時間について、相対度数、累積相対度数をまとめると、右の表3のようになる。

表3 (イ)の滞空時間

滞空時間(秒)	度数(回)	相対度数	累積相対度数
1.00 以上～ 1.40 未満	1	0.02	0.02
1.40 ～ 1.80	7	0.14	0.16
1.80 ～ 2.20	25	0.50	0.66
2.20 ～ 2.60	13	0.26	0.92
2.60 ～ 3.00	3	0.06	0.98
3.00 ～ 3.40	1	0.02	1.00
計	50	1.00	

## 問7

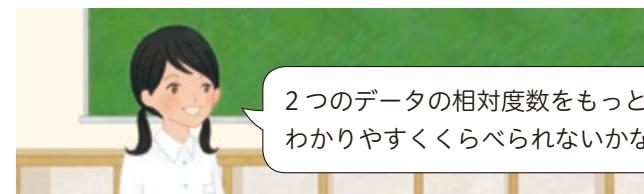
230ページの(ウ)の滞空時間について、相対度数と累積相対度数を求め、右の表の空欄をうめなさい。

滞空時間(秒)	度数(回)	相対度数	累積相対度数
1.00 以上～1.40 未満	0	0.00	0.00
1.40 ～1.80	1		
1.80 ～2.20	2		
2.20 ～2.60	15	0.50	
2.60 ～3.00	11	0.37	
3.00 ～3.40	1		
計	30		

## 問8 (イ)と(ウ)のそれぞれの滞空時間について、次の問いに答えなさい。

- (1) 滞空時間が2.20秒未満であるのは全体の何%ですか。  
(2) 滞空時間が2.60秒以上であるのは全体の何%ですか。

▶ 補充問題 5

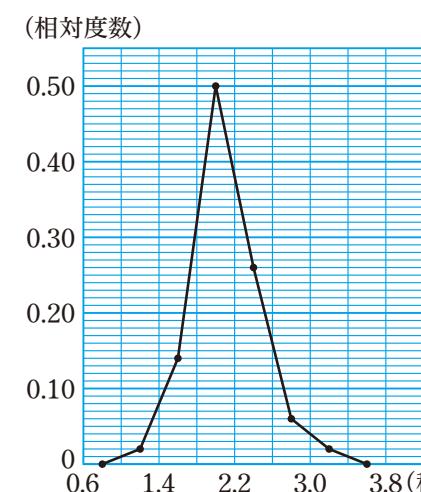


かりんさんの発言でストーリーが進み、生徒が目的意識を持ちやすいようにしています。

縦軸に相対度数をとっても、度数分布多角形をかくことができます。

## 問9 下の図は、前ページの表3から、(イ)の滞空時間の相対度数を、度数分布多角形に表したものです。この図に、(ウ)の滞空時間の度数分布多角形をかき入れなさい。

▶ 補充問題 6



補充問題 5 6

## 疑問2 長方形の紙の幅はどちらがいいのか

## 4. 結論をまとめよう

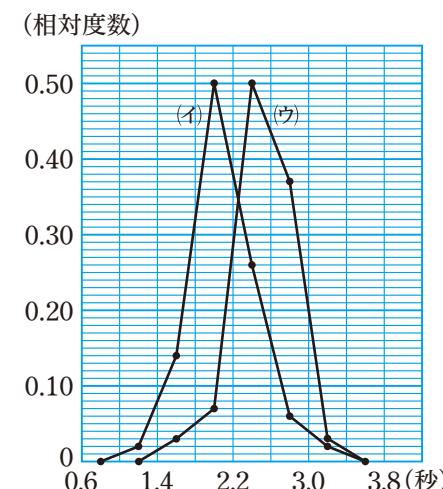
Conclusion (結論)

## 話しあおう

これまでに調べたことから、(イ)と(ウ)のどちらが滞空時間が長いといえるでしょうか。理由についても話しあいましょう。

## (イ)と(ウ)の滞空時間

滞空時間(秒)	(イ)			(ウ)		
	度数(回)	相対度数	累積相対度数	度数(回)	相対度数	累積相対度数
1.00 以上～1.40 未満	1	0.02	0.02	0	0.00	0.00
1.40 ～1.80	7	0.14	0.16	1	0.03	0.03
1.80 ～2.20	25	0.50	0.66	2	0.07	0.10
2.20 ～2.60	13	0.26	0.92	15	0.50	0.60
2.60 ～3.00	3	0.06	0.98	11	0.37	0.97
3.00 ～3.40	1	0.02	1.00	1	0.03	1.00
計	50	1.00		30	1.00	



	(イ)	(ウ)
最小値	1.32秒	1.79秒
最大値	3.39秒	3.01秒
範囲	2.07秒	1.22秒
平均値	2.07秒	2.55秒
中央値	2.01秒	2.55秒
最頻値	2.00秒	2.40秒

## 話しあおう

疑問1と疑問2では、長方形の紙の長さや幅を変えて実験しました。滞空時間をもっと長くするためには、どんなことを調べればよいでしょうか。



## まとめよう

これまでの学習を振り返って、下のようなレポートにまとめようとしています。  
あなたなら、このレポートの結論としてどのようなことを書きますか。

### 紙ふぶきの滞空時間

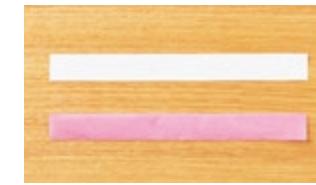
○年○月○日  
○年○組 ○○○○○

#### 1. 調べたこと

もっと滞空時間の長いリボンをつくるために、どんな素材を使えばよいか、調べました。

#### 2. 集めたデータ

次の2種類の紙を、長さ20cm、幅2cmの長方形に切ってリボンをつくり、滞空時間を調べました。



(A) コピー用紙

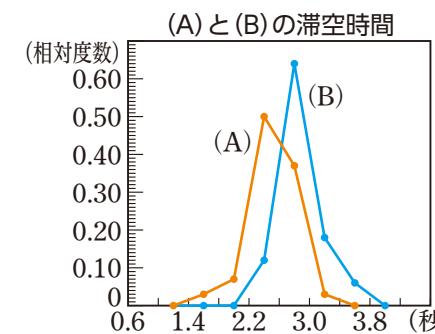
(B) 花かざりをつくるうすい紙

これらの紙を、2mの高さから落として滞空時間を測定する実験を、(B)について50回おこないました。

(A)については、以前に授業で30回実験したデータを使いました。

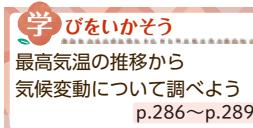
#### 3. データの整理

	(A)	(B)
最小値	1.79秒	2.53秒
最大値	3.01秒	3.45秒
範囲	1.22秒	0.92秒
平均値	2.55秒	2.87秒
中央値	2.55秒	2.83秒
最頻値	2.40秒	2.80秒



#### 4. 結論

レポートをかくときの注意点やこのレポートの結論などを説明したスライドをご用意しています。

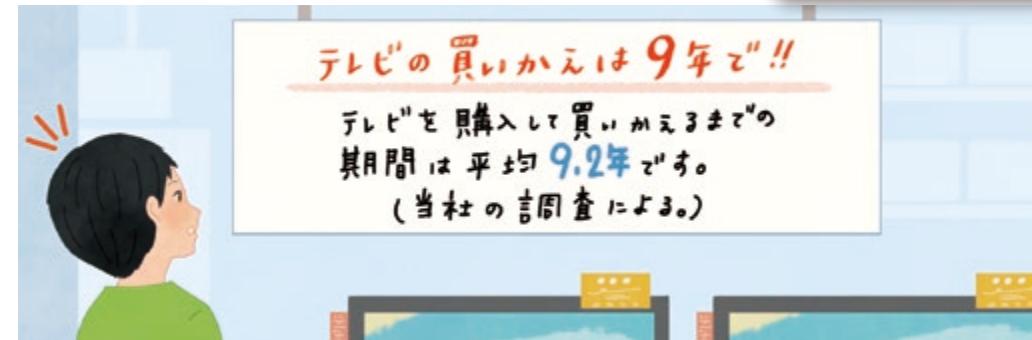


## 2 整理されたデータから読みとろう

### 度数分布表を読みとりましょう。

けいたさんは、ある家電量販店に行ったところ、テレビの買いかえについて、次のようなことが紹介されていました。

身のまわりにある情報を批判的に考察する課題を扱っています。



けいたさんは、このことから、次のように考えました。



平均が9.2年ということは、テレビを9年くらいで買いかえる人がいちばん多いんだね。

階級(年)	度数(人)	相対度数
0以上～2未満	3	0.01
2～4	16	0.05
4～6	35	0.11
6～8	49	0.16
8～10	58	0.18
10～12	86	0.27
12～14	30	0.10
14～16	21	0.07
16～18	5	0.02
18～20	4	0.01
20～	7	0.02
計	314	1.00

### 説明しよう

けいたさんの考えについて、あなたはどう思いますか。  
また、その理由を説明しましょう。

度数分布表を見てみると、平均値である9.2年よりも長い10年以上12年未満の人がいちばん多く、それ以上長く使っている人もいることがわかります。

平均値	9.2年
中央値	9年

# 3章 一次関数

1年で学んだ比例、反比例の関係と関連づけて、学習を進められるようにしています。

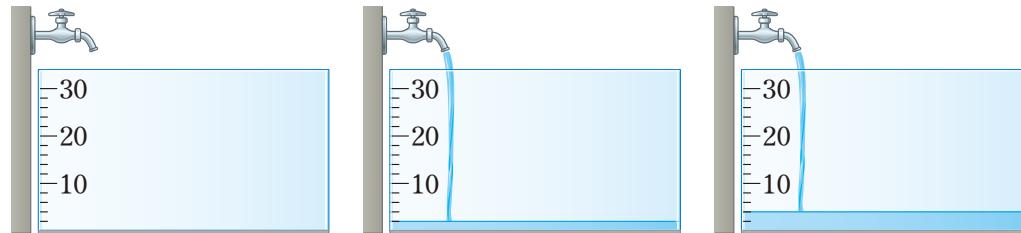
## 水面の高さはどう変わるかな？



けいたさんとかりんさんの町で、お祭りが2日間おこなわれます。2人はヨーヨーフリの水そうに、水を入れる係になりました。



1日目は、からの水そうに水を入れます。



からの水そうに、1分間に2cmの割合で水面が高くなるように水を入れるとき、底から水面までの高さは時間とともに変わります。

水を入れはじめてからの時間を  $x$  分、底から水面までの高さを  $y$  cm として、変化のようすを調べましょう。

$x$	0	1	2	3	4	5	6	7	8
$y$									

- (1)  $x$  の値が1増えると、 $y$  の値はどうなるでしょうか。
- (2)  $x$  の値が2倍、3倍、4倍になると、 $y$  の値はどうなるでしょうか。
- (3)  $x$  と  $y$  の関係を式に表しましょう。

### ふりかえり 1年

$y$  が  $x$  の関数で、その間の関係が、 $y=ax$   $a$  は定数で表されるとき、 $y$  は  $x$  に比例するという。

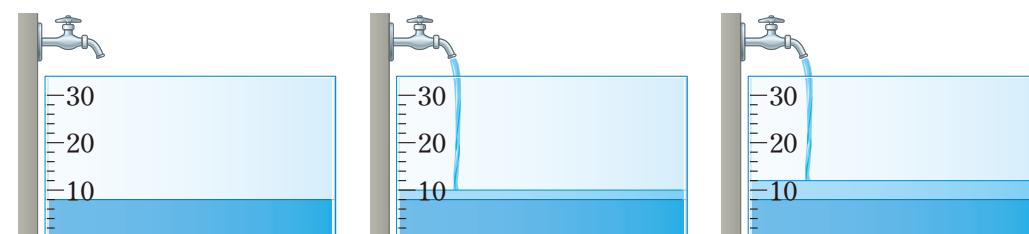
# 1節 一次関数とグラフ

左ページでは比例の関係を、右ページでは一次関数を扱うことで、比例との違いを比べやすくしています。

2日目の朝、水そうに水を入れようとしたら、1日目に入れた水が残っていました。



2日目は、すでに底から 8 cm の高さまで水がはいった水そうに水を入れます。



### 話しあおう

底から 8 cm の高さまで水がはいった水そうに、1分間に 2 cm の割合で水面が高くなるように水を入れます。水を入れはじめてからの時間を  $x$  分、底から水面までの高さを  $y$  cm とすると、この  $x$  と  $y$  の関係について、どんなことがいえるでしょうか。

$x$	0	1	2	3	4	5	6	7	8
$y$									

前ページの関係と何が違うかな？



1年では、比例や反比例の関係を学びました。ここでは、関数の関係についてさらに学びましょう。

# 1 一次関数

ともなって変わる2つの数量の間の関係について調べましょう。

60~61ページの場面では、底から水面までの高さは、水そうに水を入れはじめてからの時間の関数であるといえます。

水そうに水を入れはじめてからの時間  $x$  分と、底から水面までの高さ  $y$  cm の関係は、1日目と2日目で、それぞれ、下の表のようになります。

## 1日目

$x$	0	1	2	3	4	5	6	7	8
$y$	0	2	4	6	8	10	12	14	16

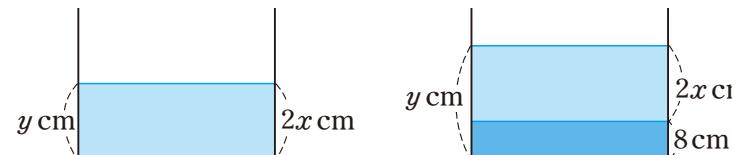
## 2日目

$x$	0	1	2	3	4	5	6	7	8
$y$	8	10	12	14	16	18	20	22	24

この表から、同じ  $x$  の値に対応する  $y$  の値は、1日目より2日目の方が、8大きくなっていることがわかります。このことから、 $x$  と  $y$  の関係は、次の式で表されます。

## 1日目

$$y = 2x$$



$y$  が  $x$  の関数で、

$$y = 2x + 8, \quad y = 2x$$

のように、 $y$  が  $x$  の一次式で表されるとき、

$y$  は  $x$  の **一次関数** である

といいます。

一次関数は、次の式で表すことができます。

$$y = ax + b \quad a, b \text{ は定数}$$

時間  $x$  を決めると、それに応じて高さ  $y$  がただ1つに決まるね。



1年で学んだ「関数」の意味を確認できるようにしています。



一次関数  $y = ax + b$  は、

$x$  に比例する部分  $ax$  と定数の部分  $b$

の和になっています。

$b = 0$  の場合、 $y = ax$  となり、比例の関係になります。つまり、比例は一次関数の特別な場合です。

$x$  に比例する部分  
 $y = ax + b$   
定数の部分

## 問1

$y$  が  $x$  の関数で、次の(ア)~(エ)の式で表されるとき、一次関数であるものをすべて選びなさい。

また、一次関数については、 $x$  に比例する部分をいいなさい。

(ア)  $y = 8x - 1$

(イ)  $y = \frac{4}{x}$

(ウ)  $y = \frac{1}{3}x$

(エ)  $y = 5 - 7x$

一次関数かどうかは式の形からわかるね。



身のまわりには、一次関数の関係にある2つの数量があります。

## 例1

高度と上空の気温の関係

身のまわりで一次関数の考え方を使う場面を取り上げています。

気温は、地上から  $10\text{ km}$  までは、高度が  $1\text{ km}$  増すごとに  $6^\circ\text{C}$  ずつ低くなる。

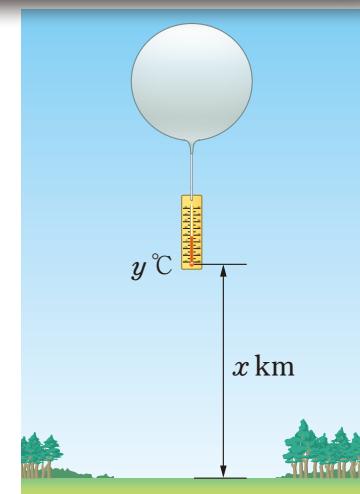
地上の気温が  $20^\circ\text{C}$  のとき、地上から  $x\text{ km}$  上空の気温を  $y^\circ\text{C}$  とすると、

$$y = 20 - 6x$$

となり、 $y$  は  $x$  の一次関数である。

また、 $x$  の変域が  $0$  以上  $10$  以下だから、 $x$  と  $y$  の関係は、変域をつけて、次のように表すこともある。

$$y = 20 - 6x \quad (0 \leq x \leq 10)$$



## 問2

例1 で、地上からの高度が次のときの気温を、

それぞれ求めなさい。

- (1)  $1\text{ km}$  (2)  $4\text{ km}$  (3)  $8.8\text{ km}$

補充問題 1





- 1  $y$  が  $x$  の関数で、次の(ア)～(ウ)の式で表されるとき、  
一次関数であるものをすべて選びなさい。

(ア)  $y = -8x + 3$  (イ)  $y = -\frac{12}{x}$  (ウ)  $y = \frac{3}{2}(x - 2)$

- 2 次の(ア)～(オ)のうち、 $y$  が  $x$  の一次関数であるものをすべて選びなさい。

- (ア) 300g ある小麦粉から、 $x$ g 使ったときの残り  $y$ g  
(イ) 10km の道のりを、時速  $x$ km で歩いたときにかかる時間  $y$  時間  
(ウ) 時速 4km で  $x$  時間歩いたときの道のり  $y$ km  
(エ) 縦の長さ  $x$ cm、横の長さ 4cm の長方形の周の長さ  $y$ cm  
(オ) 半径  $x$ cm の球の表面積  $y$ cm<sup>2</sup>

## 数学 ライブライバー

### 雷さまはどこ？

かみなり 雷や花火の音は、光を見てしばらくしてから聞こえます。これは空気中を音が伝わるのには、時間がかかるからです。

空气中を伝わる音の速さは、気温 0°C のとき秒速 331m で、気温が 1°C 上がるごとに秒速 0.6m ずつ速くなることが知られています。

つまり、気温  $x$ °C のときの音の速さを秒速  $y$  m とすると、 $x$  と  $y$  の関係は、

$$y = 0.6x + 331$$

となり、音の速さは気温の一次関数になります。

雷が鳴ったときの気温が 15°C なら、音の速さは秒速 340m で、雷光を見てから 10 秒後にゴロゴロと聞こえたら、雷からは 3.4km しか離れていないことになります。

「数学ライブラリー」では、他教科と関連する題材や身のまわりの題材を取り上げ、数学のよさが伝わるようにしています。



## 2 一次関数の値の変化

一次関数の  $x$  の値に対応する  $y$  の値の変化のようすを調べましょう。

### ひろげよう

一次関数  $y = 2x + 1$  で、対応する  $x$ 、 $y$  の値を求めるとき、下の表のようになります。

$x$	…	-3	-2	-1	0	1	2	3	4
$y$	…	-5	-3	-1	1	3	5	7	9

インデックスをつけて、  
学習したい章を  
探しやすくしています。

□ にあてはまる数を書き入れ、 $x$  の増加量と  $y$  の増加量をくらべましょう。

一次関数  $y = 2x + 1$  で、 $x$  の値が 1 から 4 まで変わるとき、

$$x \text{ の増加量は}, 4 - 1 = 3$$

$$y \text{ の増加量は}, 9 - 3 = 6$$

となり、 $y$  の増加量は、 $x$  の増加量の 2 倍になっています。

$x$	1	4	$\frac{6}{3} = 2$
$y$	3	9	6

- 問1 一次関数  $y = 2x + 1$  で、 $x$  の値が 5 から 9 まで変わるとき、 $y$  の増加量は、 $x$  の増加量の何倍になりますか。

$x$	5	9
$y$	□	□

$x$  の増加量に対する  $y$  の増加量の割合を、<sup>へんか</sup> <sup>わりあい</sup> 变化の割合といいます。

$$\text{変化の割合} = \frac{y \text{ の増加量}}{x \text{ の増加量}}$$

一次関数  $y = 2x + 1$  の変化の割合は、 $x$  の値が、1 から 4 や、5 から 9 まで変わるとき以外でも、つねに 2 です。

また、この値 2 は、 $x$  の増加量が 1 のときの  $y$  の増加量です。

# 3 節 一次関数の利用

けいたさんが進むようすと  
グラフを対応させてみる  
ことができる動画をご用意  
しています。

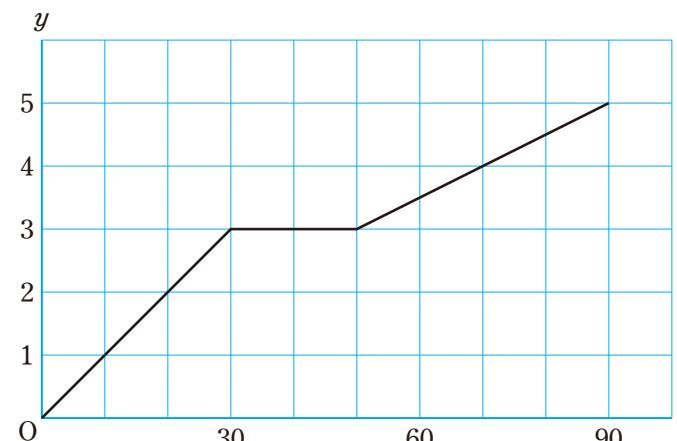


## 2人が出会う地点はどこかな？

けいたさんは、自分の家から5km離れたオリバーさんの家に、  
途中にある図書館で本を借りてから向かいました。



けいたさんが出発してから $x$ 分後に、自分の家から $y$ kmの  
地点にいるとして、 $x$ と $y$ の関係をグラフに表すと、下の図の  
ようになりました。



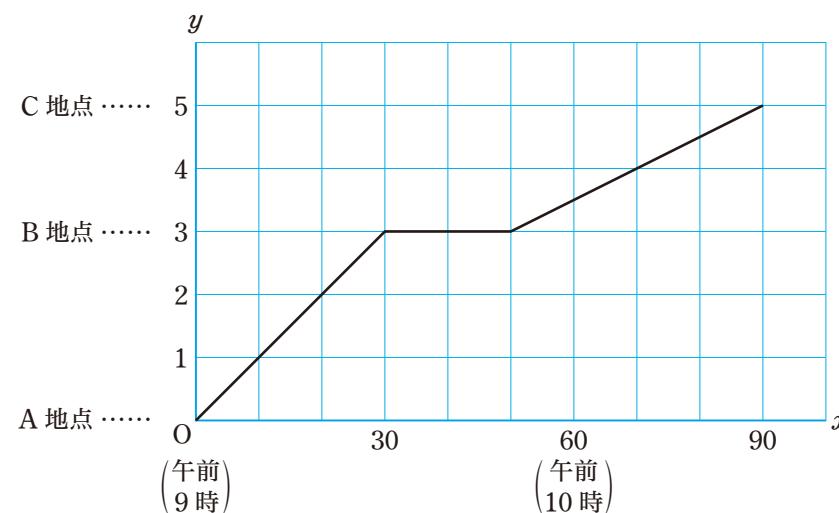
### 話しあおう

上のグラフから、どんなことがわかるでしょうか。

一次関数を利用して、身のまわりの問題を解決しましょう。

# 1 一次関数の利用

けいたさんは、午前9時に自分の家を出発しました。



### 問1

上のグラフを使って、次の問い合わせに答えなさい。

- (1) 上のグラフの、A地点、B地点、C地点は、  
けいたさんの家、オリバーさんの家、図書館の  
どれを表していますか。
- (2) 図書館に着く前とあとでは、けいたさんの  
進む速さはどちらが速いですか。
- (3) けいたさんが自分の家を出発してから15分後に  
いる地点から、オリバーさんの家までの道のりは  
何kmですか。
- (4) けいたさんがB地点を出発してから30分後に  
いる地点から、オリバーさんの家までの道のりは  
何kmですか。

グラフのよさを  
実感できる問  
を配置しています。

グラフから  
いろいろなことが  
読みとれるね。



オリバーさんは、午前10時に家を出発して、けいたさんを自転車でむかえに行きました。

オリバーさんは、家を出発してから5分後に、家から1km離れたバス停の前を通りました。



5 **問2** オリバーさんの自転車の速さは一定であると考えて、次の問いに答えなさい。

- (1) オリバーさんがけいたさんの家まで進んだとして、オリバーさんが進むようすを表すグラフを、前ページの図に書き入れなさい。
- (2) オリバーさんについて、 $x$ と $y$ の関係を式に表しなさい。
- (3) オリバーさんとけいたさんが出会ったのは午前何時何分ですか。また、けいたさんの家から何kmの地点ですか。

### 説明しよう

もし、午前9時30分にオリバーさんが家を出発したとすると、けいたさんとオリバーさんが出会うのはどの地点でしょうか。

次の(ア)～(ウ)から選び、理由も説明しましょう。

- (ア) けいたさんの家と図書館の間
- (イ) 図書館
- (ウ) 図書館とオリバーさんの家の間



ある問題を解決したあとに、問題の一部をかえるとどんなことがいえるのかを考えて、問題をひろげができる場面に「条件をかえる」という標識を置いています。

20 **問3** けいたさんとオリバーさんが、けいたさんの家と図書館の間で出会うためには、オリバーさんは家を何時何分より前に出発しなければいけないでしょうか。

### ▶ 変化のようすから予想する問題

## ダムの貯水量を予想しよう

5

かりんさんたちは、授業でダムについての学習をしました。学習の中で、ダムの貯水量が減ると水不足の対策がとられることを知りました。



内容解説資料A p.37 参照

### 1 ブループリント

#### 状況を整理し、問題を設定しよう

水不足について気になったかりんさんは、この町にあるダムの貯水量について、インターネットで調べたことを表にまとめて、次の問題を考えました。

Q 下の表は、ダムの貯水量の変化をまとめたものです。

ダムの貯水量が650万m<sup>3</sup>より少なくなると、水不足の対策がとられます。8月6日以降も同じように変化を続けるとすると、貯水量が650万m<sup>3</sup>になるのは、何月何日になると推測することができますか。

ダムの貯水量	
7月31日	975万m <sup>3</sup>
8月1日	948万m <sup>3</sup>
8月2日	926万m <sup>3</sup>
8月3日	900万m <sup>3</sup>
8月4日	873万m <sup>3</sup>
8月5日	854万m <sup>3</sup>

ステップ

2

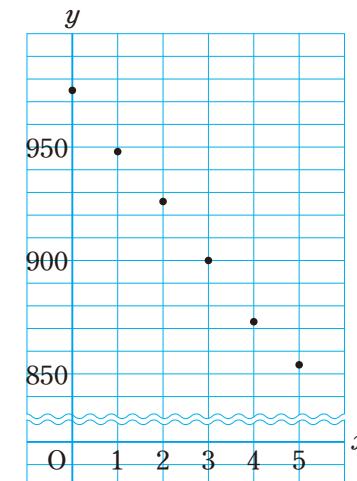
## 解決の見通しを立てて、問題を解決しよう

7月31日から $x$ 日後の水の量を $y$ 万m<sup>3</sup>とすると、 $x$ と $y$ の関係は右の表のようになります。

$x$	0	1	2	3	4	5
$y$	975	948	926	900	873	854

この表で、対応する $x$ と $y$ の値の組を座標とする点をとると、右の図のようになります。これらはほぼ一直線上に並んでいるので、 $y$ は $x$ の一次関数とみることができます。

- 右の図で並んだ点のなるべく近くを通る直線が、2点(0, 975), (3, 900)を通るとき。この直線の式を求めなさい。
- 貯水量が650万m<sup>3</sup>になるのは、何月何日になると推測できますか。



ステップ

3

## 問題解決の過程をふり返って、気づいたことやもっと調べてみたいことを話しあい、問題を深めよう

深める例

「ステップ2」までの問題解決の過程をふり返り、新たな問題を設定するきっかけとなる例を、「深める例」として示しています。



## ○ 説明しよう

ガスバーナーで水を熱する実験をしました。右の表は、熱した時間とそのときの水温です。熱した時間が5分をこえても水温が同じように変化を続けるとすると、水温が72°Cになるのは、熱しはじめてからおよそ何分後になると推測できますか。

熱した時間(分)	水温(°C)
0	20.0
1	25.8
2	32.8
3	39.2
4	46.0
5	52.2

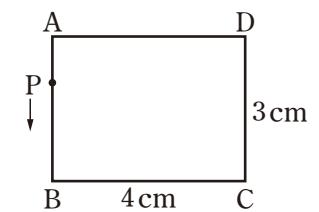
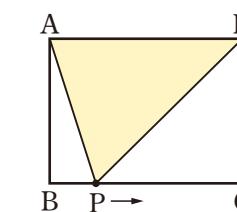
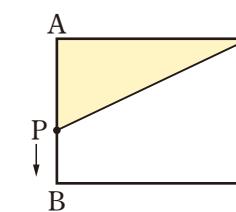
## ▶ 動く点と面積の変化

## ○ ひろげよう

右の図のような長方形ABCDの周上を、点Pは、毎秒1cmの速さで、AからB, Cを通ってDまで動きます。

点Pが、次のそれぞれの場合に、△APDの面積は、どのように変化するでしょうか。

- (ア) 点Pが辺AB上を動くとき (イ) 点Pが辺BC上を動くとき (ウ) 点Pが辺CD上を動くとき

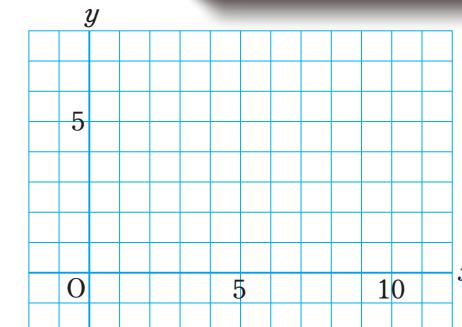


上の○ひろげようで、点PがAを出発してから $x$ 秒後の△APDの面積を $y$ cm<sup>2</sup>とするとき、(ア), (イ), (ウ)のそれぞれで、 $x$ の値にともなって変わる $y$ の値の変化のようすが異なります。

$x$ の変域に注意して、 $x$ と $y$ の関係を調べましょう。

- 問4 上の(ア)の場合の $x$ と $y$ の関係を表す式を求めなさい。また、このときの $x$ の変域はどうなりますか。

- 問5 上の(イ), (ウ)の場合についても、それぞれ式と変域を求めなさい。また、点PがAからDまで動くときの $x$ と $y$ の関係を表すグラフを、右の図に書き入れなさい。



- 問6 △APDの面積が4cm<sup>2</sup>となるのは、点PがAを出発してから何秒後ですか。

▶ 拡充問題 12

補充問題



点Pが動いたときの△APDのようすを確認できる動画をご用意しています。

内容解説資料A p.16 参照

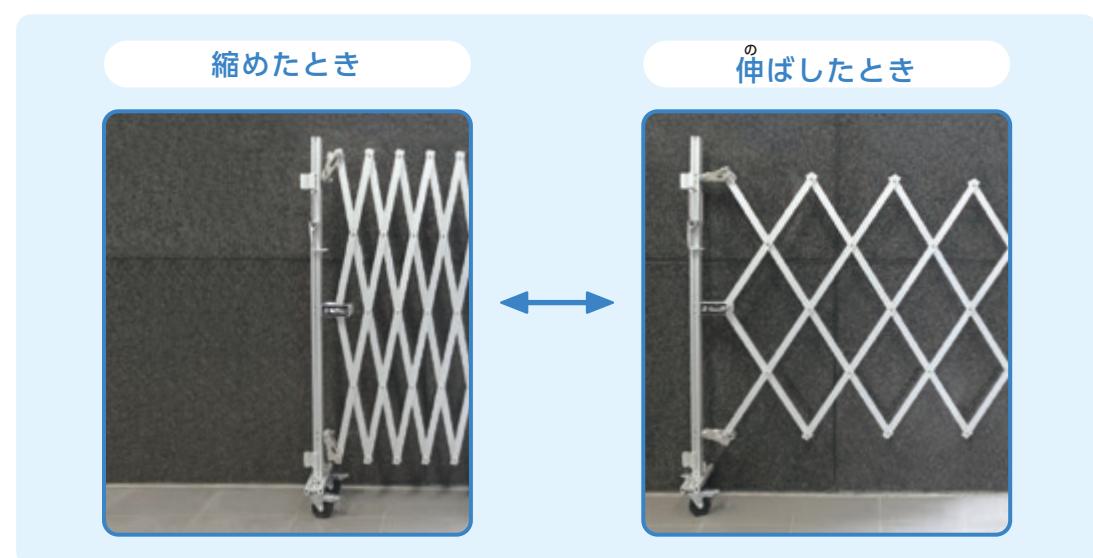
# 4章 図形の調べ方

門扉を自由に開閉することができるコンテンツをご用意しています。



## 平行な直線の性質を調べよう

けいたさんたちは、下のような伸縮式の門扉が開閉するようすを見て、いろいろなことに気がつきました。

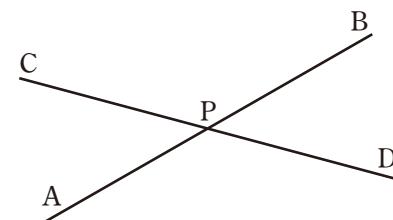


1

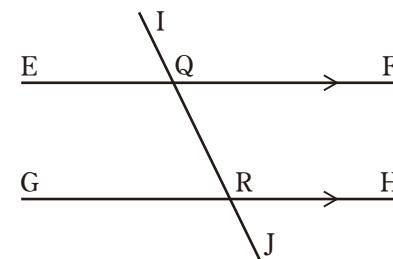
## 1節 平行と合同

けいたさんは、直線が交わってできる角の大きさについて考えることにしました。

(ア) 2つの直線AB, CDが交わってできる角



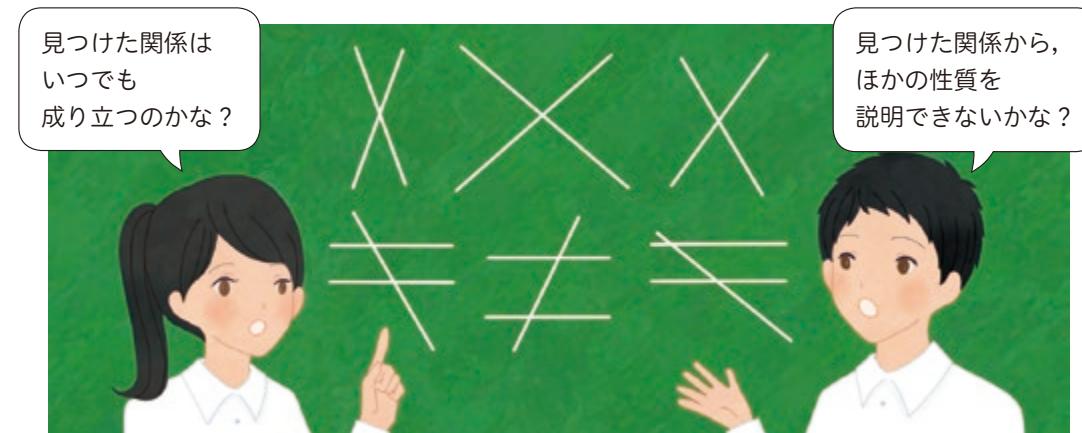
(イ) 平行な2直線EF, GHと、それらに交わる直線IJによってできる角



### 話しあおう

上の(ア)の図で、2つの直線が交わってできる角には、どんな関係があるでしょうか。  
また、上の(イ)の図で、平行な2直線と、それらに交わる直線によってできる角には、どんな関係があるでしょうか。

「話しあおう」では、多様な視点や考え方を取り入れながら対話的に学習できるようにしています。



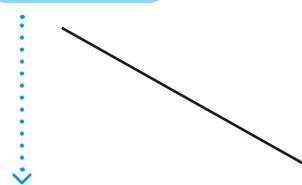
図形の性質の調べ方について学びましょう。

# 1 角と平行線

直線が交わってできる角の性質について調べましょう。

## 対頂角

### ひろげよう



左の直線に交わる直線をひき、交点のまわりにできる角の大きさを測ってみましょう。



2つの直線が交わってできる角の大きさ

2つの直線が交わってできる4つの角のうち、右の図の  $\angle a$  と  $\angle c$  のように向かいあっている2つの角を、**対頂角** といいます。

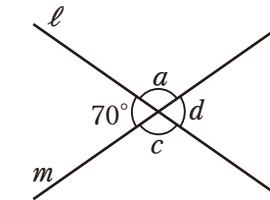
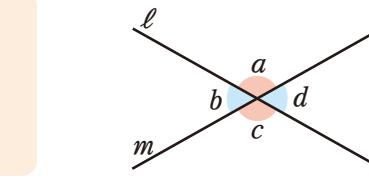
$\angle b$  と  $\angle d$  も対頂角です。

一直線の角は  $180^\circ$  だから、 $\angle b=70^\circ$  のとき、 $\angle a$  と  $\angle c$  の大きさは、どちらも  $180^\circ - 70^\circ$  となり、 $\angle a = \angle c$  がいえます。

$\angle b=70^\circ$  でないときにも、

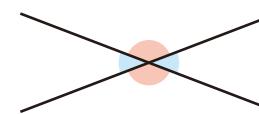
$$\angle a = 180^\circ - \angle b, \quad \angle c = 180^\circ - \angle b$$

だから、 $\angle a = \angle c$  の関係は、 $\angle b$  がどんな大きさの角であっても成り立ちます。



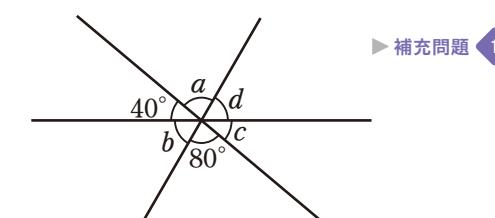
### 対頂角の性質

対頂角は等しい。



問1 右の図のように、3直線が1点で交わっています。

このとき、 $\angle a$ ,  $\angle b$ ,  $\angle c$ ,  $\angle d$  の大きさを求めなさい。



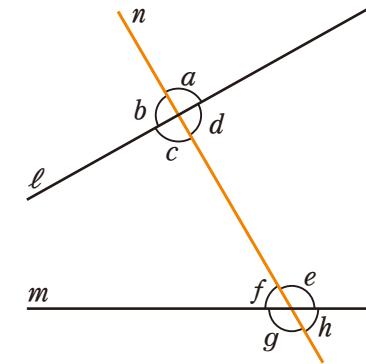
▶ 拡充問題 1



## ▶ 同位角・錯角と平行線

右の図のように、2直線  $\ell$ ,  $m$  に直線  $n$  が交わっているとき、 $\angle a$  と  $\angle e$  のような位置にある2つの角を、**同位角** といいます。

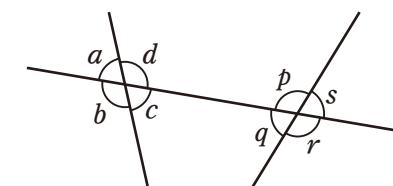
$\angle b$  と  $\angle f$ ,  $\angle c$  と  $\angle g$ ,  $\angle d$  と  $\angle h$  も、それぞれ同位角です。



また、 $\angle c$  と  $\angle e$  のような位置にある2つの角を、**錯角** といいます。

$\angle d$  と  $\angle f$  も錯角です。

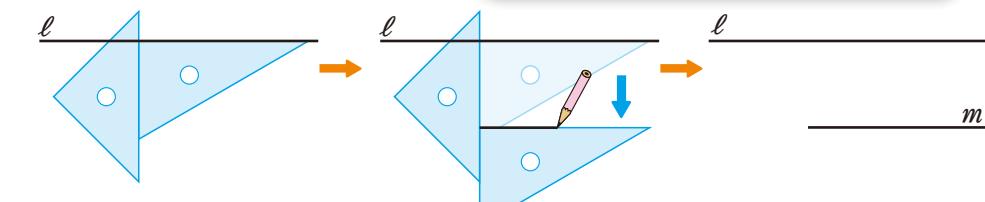
問2 右の図で、 $\angle a$  の同位角をいいなさい。また、 $\angle p$  の錯角をいいなさい。



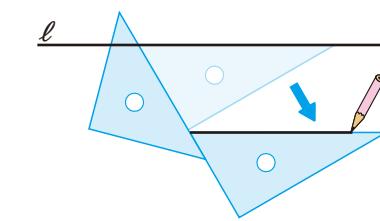
これまで、1組の三角定規を使って、平行な直線を、次のようにしてかいてきました。

### ふりかえり 算数

(ア) 直角を使った平行な直線のかき方



(イ) 直角以外の角を使った平行な直線のかき方



直角以外の角を使ってかくこともできたね。



2つの直線が平行であることを、同位角に着目して考えましょう。

同位角を等しくすると2つの直線が平行となることを観察できるコンテンツをご用意しています。



前ページの「ふりかえり」の方法で平行線をひくときには、右の図で、同位角である  $\angle a$  と  $\angle b$  が等しければ、 $\ell \parallel m$  であることを利用しています。つまり、

$$\angle a = \angle b \text{ ならば } \ell \parallel m$$

です。

また、右の図で、 $\ell \parallel m$  のとき、 $n$  が  $\ell$ 、 $m$  どのように交わっても、同位角である  $\angle a$  と  $\angle b$  は等しくなります。つまり、

$$\ell \parallel m \text{ ならば } \angle a = \angle b$$

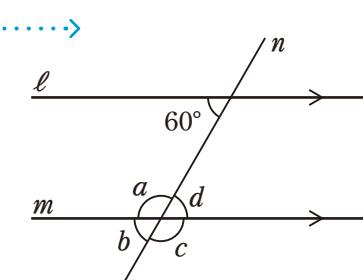
です。

平行線と同位角の関係を使って、平行線と錯角の関係について調べましょう。

15

### ひろげよう

2つの平行な直線  $\ell$ 、 $m$  に、右の図のように直線  $n$  をひきました。このとき、 $\angle a$ 、 $\angle b$ 、 $\angle c$ 、 $\angle d$  の大きさはどうなるでしょうか。



右の図で、 $\ell \parallel m$  のとき、同位角  $\angle a$  と  $\angle b$  は等しく、対頂角  $\angle b$  と  $\angle c$  は等しいから、錯角  $\angle a$  と  $\angle c$  は等しくなります。つまり、

$$\ell \parallel m \text{ ならば } \angle a = \angle c$$

です。

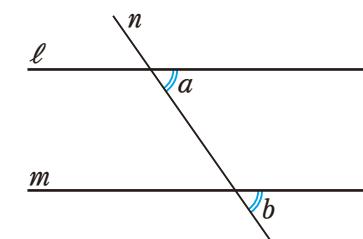
2年

100

前ページで調べたことから、2つの直線が平行ならば、錯角は等しいことがわかりました。

では、錯角が等しいときの2つの直線の位置関係はどうなるでしょうか。

逆向きに考える



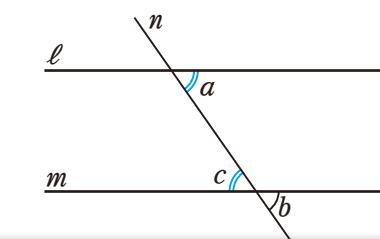
5

右の図で、錯角  $\angle a$  と  $\angle c$  が等しいとき、対頂角  $\angle c$  と  $\angle b$  は等しいから、 $\angle a = \angle b$  となります。

したがって、同位角が等しいので、 $\ell \parallel m$  となります。つまり、

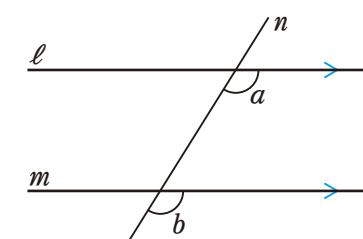
$$\angle a = \angle c \text{ ならば } \ell \parallel m$$

です。



10

これまでに考えたことと逆向きに考えて、新たな学習につなげていく場面に、「逆向きに考える」という標識を置いています。



15

### 平行線の性質

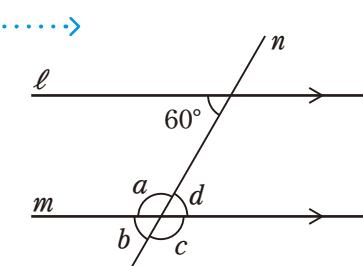
2つの直線に1つの直線が交わるとき、次のことが成り立つ。

- ① 2つの直線が平行ならば、同位角は等しい。
- ② 2つの直線が平行ならば、錯角は等しい。

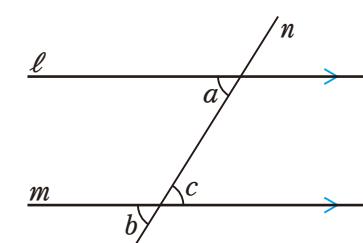
### 平行線になるための条件

2つの直線に1つの直線が交わるとき、次のことが成り立つ。

- ① 同位角が等しいならば、この2つの直線は平行である。
- ② 錯角が等しいならば、この2つの直線は平行である。



20



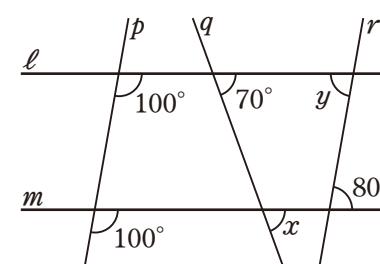
25

### 問3

右の図について、次の問い合わせに答えなさい。

- (1)  $\ell \parallel m$  である理由をいいなさい。
- (2)  $\angle x$ 、 $\angle y$  の大きさを求めなさい。
- (3)  $\ell$  と  $m$  のほかに、平行な直線の組を見つけ、記号  $\parallel$  を使って表しなさい。

▶補充問題 2



## 例1 平行線の性質を使った説明

右の図で、

$$\ell \parallel m \text{ ならば, } \angle a + \angle b = 180^\circ$$

であることを説明する。

平行線の錯角は等しいので、

 $\ell \parallel m$  から、

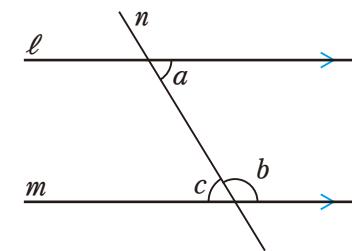
$$\angle a = \angle c \quad \dots \dots \dots \text{①}$$

また、一直線の角だから、

$$\angle c + \angle b = 180^\circ \quad \dots \dots \dots \text{②}$$

①, ②から、

$$\angle a + \angle b = 180^\circ$$

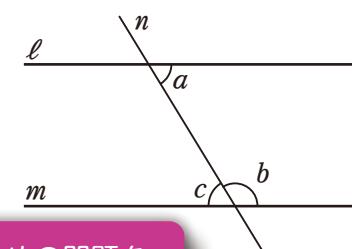


## ○○○ 説明しよう

右の図で、

$$\angle a + \angle b = 180^\circ \text{ ならば, } \ell \parallel m$$

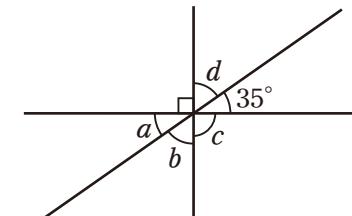
であることを説明しましょう。



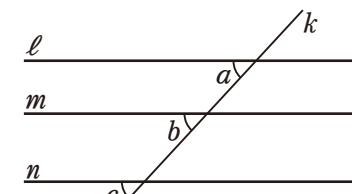
学んだことがらをより深めるための問題を、  
「練習問題」として配置しています。

## ① 角と平行線

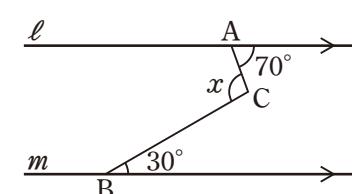
- ① 右の図のように、3直線が1点で交わっています。  
このとき、 $\angle a$ ,  $\angle b$ ,  $\angle c$ ,  $\angle d$ の大きさを求めなさい。



- ② 右の図で、角の関係を使って、  
 $\ell \parallel m$ ,  $m \parallel n$  ならば、 $\ell \parallel n$ であることを説明しなさい。



- ③ 右の図で、 $\ell \parallel m$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



## 2 多角形の角

三角形の角の性質について調べましょう。

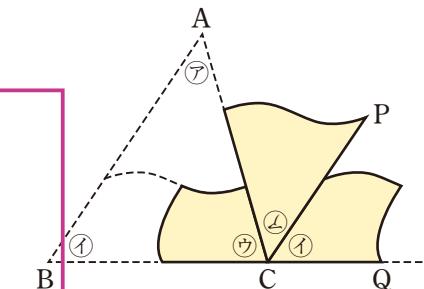
三角形の3つの角については、次のことを学びました。

## ふりかえり 算数

三角形の3つの角を集めると、3つの角が一直線に並ぶから、三角形の3つの角の和は  $180^\circ$  になります。

## ○○ ひろげよう

右の図で、直線 BA と CP はどんな位置関係にあるでしょうか。

上の ○○ ひろげよう の図では、 $BA \parallel CP$  となります。では、三角形の3つの角の和が  $180^\circ$  であることを、平行線の性質などを使って確かめましょう。

「ふりかえり算数」を配置し、算数の内容を確認しながら、スパイラルな学習を行えるようにしています。

右の図のように、点 C を通る半直線 CD を、

$$\angle a = \angle d \quad \dots \dots \dots \text{①}$$

となるようにひきます。また、 $\triangle ABC$  の辺 BC を延長した直線上の点を E とします。

BA と CD について、①より、錯角が等しいので、平行線になるための条件より、

$$BA \parallel CD$$

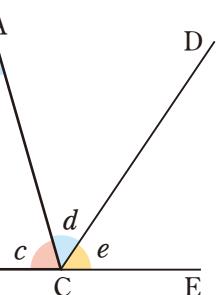
平行線の同位角は等しいので、

$$\angle b = \angle e \quad \dots \dots \dots \text{②}$$

①, ②から、 $\triangle ABC$  の3つの角の和を求める

$$\angle a + \angle b + \angle c = \angle d + \angle e + \angle c$$

$$= \angle BCE$$

3点 B, C, E は一直線上にあるから、 $\angle BCE = 180^\circ$  であり、三角形の3つの角の和は  $180^\circ$  であるといえます。

三角形の形にはよらないんだね。



上の説明によって、どんな三角形でも、3つの角の和は  $180^\circ$  であることが示されたことになります。

## 2 節 図形の性質の利用

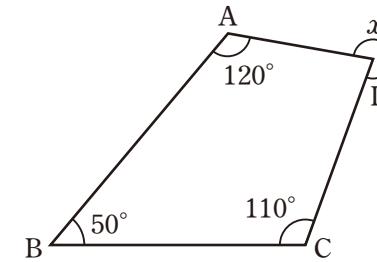
身のまわりの問題や数学の問題を発見・解決し、解決の過程をふり返って深めるまでの流れを、「ステップ方式」として示しています。

角の大きさを求めることができるかな？



これまでに、角と平行線の性質や多角形の角の性質などを学んできました。

学んだことを使うと、例えば、109ページの①(4)のような四角形については、 $\angle A$ 、 $\angle B$ 、 $\angle C$ の大きさがわかっているれば、 $\angle x$ の大きさを求めることがきました。

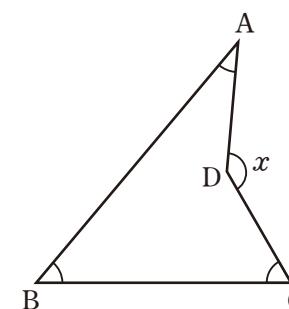


上の四角形の点Dを動かして図形の形を変えても、 $\angle x$ の大きさを求ることはできるでしょうか。

条件をかえる

### 話しあおう

右の図で、 $\angle A$ 、 $\angle B$ 、 $\angle C$ の大きさがわかっているとき、 $\angle x$ の大きさを求めるにはどうすればよいでしょうか。



図形の性質を利用して、いろいろな問題を解決しましょう。

## 図形の性質の利用

1

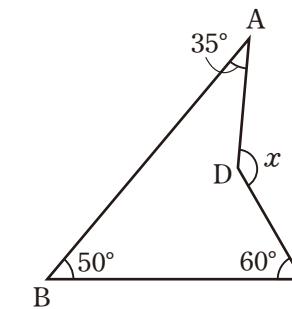
ステップ  
1

状況を整理し、問題を設定しよう

$\angle x$ の大きさを調べるために、次の問題を考えました。

Q

下の図で、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



単に角の大きさを求めるだけでなく、理由を説明する表現力や統合的・発展的に考える力が身につく流れにしています。

内容解説資料A p.53 参照

ステップ  
2

解決の見通しを立てて、問題を解決しよう

これまでに学んだ図形の性質を使うことを考えます。

すでに学んだ形にする

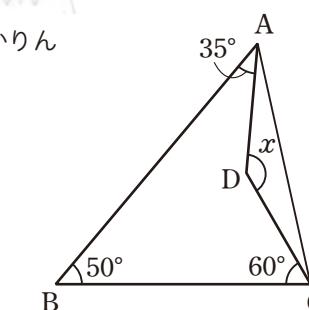
### 説明しよう

かりんさんとけいたさんは、次のように考えて $\angle x$ の大きさを求めました。  
それぞれどのように考えたのか、説明しましょう。



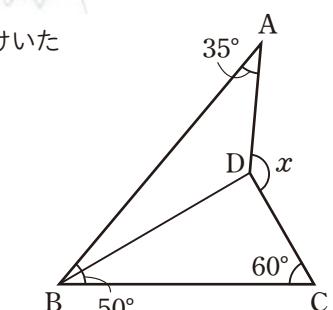
線分ACをひいて、  
2つの三角形を  
つくったよ。

かりん



線分BDをひいて、  
2つの三角形を  
つくったよ。

けいた





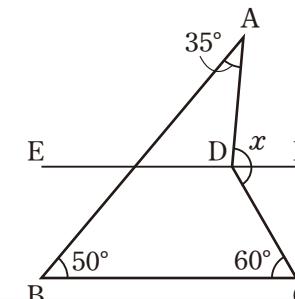
問題解決の過程をふり返って、気づいたことやもっと調べてみたいことを話しあい、問題を深めよう

深める例

$\angle x$ の大きさをほかの方法で求めることはできないかな?



右の図のように、点Dを通り、辺BCに平行な直線EFをひいて  $\angle x$  の大きさを求めるには、どのように考えればよいでしょうか。



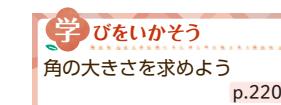
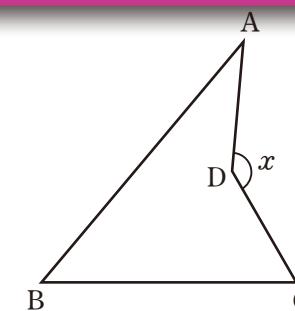
1つの問題に対して、複数の解法を示すことで、発展的に考えていく力が身につくようにしています。

$\angle A, \angle B, \angle C, \angle x$  の間にはどんな関係があるのかな?



1  $\angle A, \angle B, \angle C, \angle x$  の大きさの関係について考えます。

- (1) 4つの角の大きさの間には、どのような関係が成り立つと予想できますか。
- (2) (1)の予想が正しいことを、図形の性質を使って確かめなさい。

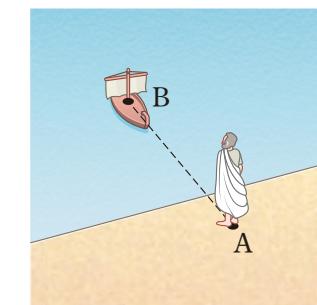


## △三角形の合同の利用

古代ギリシャにタレスという数学者がいました。

タレスは、右の図のような、陸上から直接測ることのできない船までの距離を、次のページの

①～③のようにして求めたといわれています。

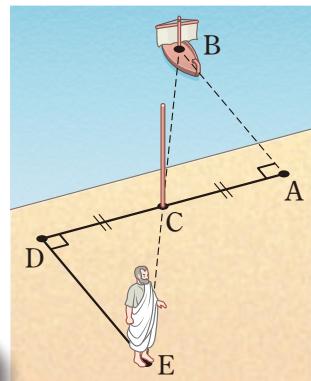
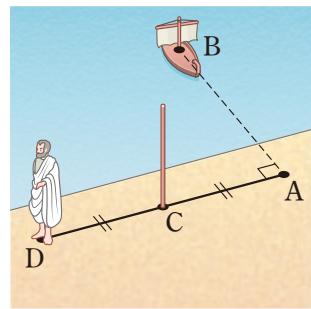


① 船Bが見える陸上の位置Aに立ち、体の向きを90°変えてまっすぐに歩いた地点Cに棒を立てる。

さらに、地点Cから同じ方向に、地点Aから地点Cまでの距離と同じだけまっすぐに歩いた地点をDとする。

② 地点Dで、船Bとは反対側に体の向きを90°変えて、そこからまっすぐに歩き、地点Cに立てた棒と船Bとが重なって見える地点をEとする。

③ 地点Dから地点Eまでの距離を測る。



タレスの考えた方法を解説した動画をご用意しています。



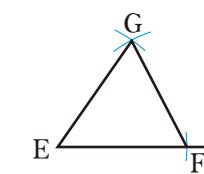
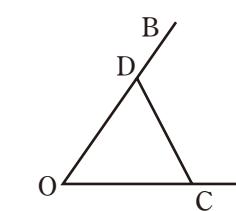
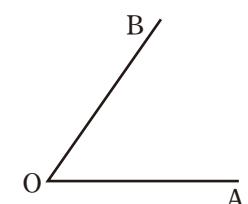
陸上から船までの距離を測るには?

## 数学ライブラリー

### 等しい角の作図

定規とコンパスだけを使って、右の図の  $\angle AOB$  と等しい角を作図するにはどうすればよいでしょうか。

もとの図に  $\triangle OCD$  をつくり、これと合同な  $\triangle EFG$  をつくります。



等しい角の作図

このときにできた  $\angle FEG$  が、 $\angle AOB$  と等しい角になります。

# 3章 二次方程式

カレンダー上で日付を自由に選択すると、真上にある数と真下にある数の積を計算することができるコンテンツをご用意しています。



QR

真上にある数と真下にある数をかけると?

かいさい び  
開催日はいつ?

けいたさんとかりんさんの学校で、毎年おこなわれている  
数学自由研究発表会の案内が先生から配られました。

## 数学自由研究発表会 のお知らせ

今年も6月に、数学自由研究発表会をおこないます。  
発表会の開催日は、次の問題を解くとわかります。  
考えてみてください。

### 問題

発表会の開催日の真上にある数と真下にある数を  
かけると、207になります。

発表会の開催日はいつでしょうか。

6月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

みなさんの発表を  
楽しまみに  
して  
います。

We look forward to  
your presentations.

# 1節 二次方程式

## 話しあおう

発表会の開催日を求めるには、どうすればよいでしょうか。



もし、10日だとすると、  
 $3 \times 17 = 51$   
だから違うね。

何かいい方法は  
ないかな?

5

10

発表会の開催日を  $x$  日とすると、

開催日の真上にある日は、 $x$  日より  日前、

開催日の真下にある日は、 $x$  日より  日後、

この2つの日の数をかけると 207 だから、

方程式をつくると、

となる。

これまでに  
学んだ方程式と  
同じかな?



$x^2$  のような2次の項をふくむ方程式について学びましょう。

この節でどのようなことを学んでいくかを示し、  
目的意識を持ちながら学習できるようにしています。

# 1 二次方程式とその解き方

2次の項をふくむ方程式とその解について学びましょう。

前ページの場面で、数学自由研究発表会の開催日を6月  $x$  日とすると、  
5 真上にある日の数は、 $x-7$   
真下にある日の数は、 $x+7$   
だから、次の方程式ができます。  
 $(x-7)(x+7)=207 \cdots \cdots \text{①}$

この方程式①を成り立たせる  $x$  の値を  
10 求めることを考えましょう。

上方程式①は、左辺を展開して次のように整理できます。

$$x^2=256$$

$x^2=256$  を成り立たせる  $x$  の値は、16と-16です。

この値は、はじめの方程式①も成り立たせます。

方程式  $x^2=256$  は、次のような形にすることができます。

$$x^2-256=0$$

移項して整理すると、 $(x \text{ の二次式})=0$  という形になる方程式を、 $x$  についての 二次方程式 といいます。

$$2x^2-50=0, \quad x^2-5x+6=0, \quad x^2-8x=0$$

20 なども  $x$  についての二次方程式で、次の形で表されます。

$$ax^2+bx+c=0$$

二次方程式を成り立たせる文字の値を、その方程式の解といい、解をすべて求めることを 二次方程式を解くといいます。

25 二次方程式  $x^2-256=0$  の解は、16と-16です。

問1 1, 2, 3, 4のうち、 $x^2-5x+6=0$  の解であるものをすべて選びなさい。

本文の理解を助ける内容を、キャラクターのふきだしで示しています。

6月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					



二次方程式を、平方根の意味にもとづいて解くことを考えましょう。

## ▶ $ax^2=b$ の解き方

### ○○ひろげよう

ある数  $x$  を2乗し、それを3倍すると18になりました。

ある数  $x$  を求めるには、どうすればよいでしょうか。

前章で学んだ平方根とのつながりに配慮し、平方根の考えにもとづく解法を最初に扱っています。

内容解説資料A p.57 参照

$$x^2=k$$

↓ 2乗して  $k$  になる数

$$x=\pm\sqrt{k}$$

### 例1

$$ax^2=b$$

$$(1) \quad 3x^2=18 \quad \therefore (2) \quad 2x^2=50$$

$$x^2=6 \quad \therefore x^2=25$$

$$x=\pm\sqrt{6} \quad \therefore x=\pm 5$$

注意  $x=\pm\sqrt{6}$  は、 $\sqrt{6}$  と $-\sqrt{6}$  が、ともに二次方程式  $3x^2=18$  の解であることを表しています。

### 問2

次の二次方程式を解きなさい。

$$(1) \quad 2x^2=18 \quad (2) \quad 5x^2=35 \quad (3) \quad 7x^2=70$$

### 例2

$$ax^2-b=0$$

$$(1) \quad 3x^2-24=0 \quad \therefore (2) \quad 4x^2-3=0$$

$$3x^2=24 \quad \therefore 4x^2=3$$

$$x^2=8 \quad \therefore x^2=\frac{3}{4}$$

$$x=\pm\sqrt{8} \quad \therefore x=\pm\sqrt{\frac{3}{4}}$$

$$x=\pm 2\sqrt{2} \quad \therefore x=\pm\frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$x=\pm\frac{\sqrt{3}}{2}$$

### 問3

次の二次方程式を解きなさい。

$$(1) \quad 2x^2-36=0 \quad (2) \quad 5x^2-60=0 \quad (3) \quad 9x^2-2=0$$

▶ 補充問題 1

▶  $(x+m)^2=n$  の解き方

$(x+1)^2=36$  のような  $(x+m)^2=n$  の形の二次方程式は、

$x+m$  を 1 つのものとみて、これを  $X$  とすると、

$$X^2=n$$

となり、 $ax^2=b$  の解き方と同じ方法で解くことができます。

すでに学んだ形にする

例3  $(x+m)^2=k^2$ 

$$(x+1)^2=36$$

$$x+1 \text{ を } X \text{ とすると, } X^2=36$$

$$\text{これから, } X=\pm 6$$

$$X \text{ をもとにもどすと, } x+1=\pm 6$$

$$x+1=6 \text{ から } x=5, \quad x+1=-6 \text{ から } x=-7$$

$$\text{よって, } x=5, -7$$

注意  $x=5, -7$  は、 $x=5, x=-7$  をまとめて表したものです。

内容解説資料A p.22 参照

$$\begin{array}{c} (x+1)^2=36 \\ \downarrow \\ X^2=36 \end{array}$$

## 問4 次の二次方程式を解きなさい。

$$(1) (x-2)^2=9$$

$$(2) (x+8)^2=36$$

$$(3) (x+3)^2-25=0$$

$$(4) (x-5)^2-16=0$$

例4  $(x+m)^2=n$ 

$$(x-3)^2=7$$

$$x-3=\pm\sqrt{7}$$

$$x=3\pm\sqrt{7}$$

注意  $x=3\pm\sqrt{7}$  は、 $x=3+\sqrt{7}, x=3-\sqrt{7}$  をまとめて表したものです。

$$\begin{array}{c} (x-3)^2=7 \\ \downarrow \\ x-3 \text{ は } 7 \text{ の平方根} \end{array}$$

▶ 补充問題 2

## 問5 次の二次方程式を解きなさい。

$$(1) (x-1)^2=5$$

$$(2) (x+5)^2=27$$

$$(3) (x+6)^2-12=0$$

$$(4) (x-5)^2-8=0$$

▶  $x^2+px+q=0$  の解き方

ひろげよう

次の(1), (2)の式で、左辺の式を右辺の形にするとき、

□にはどんな数があてはまるでしょうか。

$$(1) x^2+2x+\square=(x+\square)^2$$

$$(2) x^2-10x+\square=(x-\square)^2$$

ふりかえり 3年

平方の公式を使った

因数分解 p.24~p.25

$$a^2+2ab+b^2=(a+b)^2$$

$$a^2-2ab+b^2=(a-b)^2$$

$x$  の 1 次の項をふくむ二次方程式  $x^2+px+q=0$  は、

$$(x+m)^2=n$$

の形に変形して解くことができます。

すでに学んだ形にする

例5  $(x+m)^2=n$  の形にして二次方程式を解く

$$x^2+6x-1=0$$

数の項  $-1$  を移項して、

$$x^2+6x=1$$

$x$  の係数 6 の半分の 2 乗を両辺にたすと、

$$x^2+6x+3^2=1+3^2$$

$$(x+3)^2=10$$

$$x+3=\pm\sqrt{10}$$

$$x=-3\pm\sqrt{10}$$

$$\begin{array}{c} x^2+6x=1 \\ \text{半分の2乗} \\ x^2+6x+3^2=1+3^2 \\ \downarrow \\ (x+3)^2 \end{array}$$



$(x+m)^2=n$  の形にして解く

## 問6 次の二次方程式を解きなさい。

▶ 补充問題 3

$$(1) x^2+2x-4=0 \quad (2) x^2-10x-16=0$$

練習問題

① 二次方程式とその解き方

## 1 次の二次方程式を解きなさい。

$$(1) x^2=64 \quad (2) 2x^2=14 \quad (3) 4x^2-11=0$$

## 2 次の二次方程式を解きなさい。

$$(1) (x+1)^2=49 \quad (2) 8(x-3)^2-56=0$$

## 3 次の二次方程式を解きなさい。

$$(1) x^2+6x=4 \quad (2) x^2+2x-2=0$$

「例」や「例題」には  
タイトルをつけ、  
学習内容を明確に  
しています。



### まとめよう

次の二次方程式を解いていたかりんさんは、それぞれの解き方について、気づいたことや考えたことを下のようにまとめました。みなさんも、気づいたことや考えたことをまとめてみましょう。

- (1)  $(x+3)^2=16$  (2)  $x^2-2x-3=0$   
 (3)  $x^2-4x=21$  (4)  $3x^2-27=0$   
 (5)  $x^2+12x+12=0$  (6)  $4x^2+4x+1=0$

いろいろな  
解き方  
があったね。



〈いろいろな二次方程式を解いて、気づいたことや考えたこと〉

- (1)  $(x+3)^2=16$  式が  $(x+m)^2=n$  の形をしているときは、  
 $x+3=\pm 4$  左辺を展開しないで、平方根の意味に  
 $x+3=4$  のとき  $x=1$ , もとづいて、解を求めようと思いました。  
 $x+3=-4$  のとき  $x=-7$   
 よって、 $x=1, -7$

- (2)  $x^2-2x-3=0$  因数分解を使って解を求めました。  
 $(x+1)(x-3)=0$  二次方程式を解くときに、一次方程式を  
 $x+1=0$  または  $x-3=0$  利用することが、とてもおもしろいなと  
 よって、 $x=-1, 3$  思いました。

- (3)  $x^2-4x=21$  まずは、右辺の 21 を左辺に移項して、  
 $x^2-4x-21=0$   $ax^2+bx+c=0$  の形にしてから  
 解の公式で、 $a=1, b=-4$  どのように解こうかと考えました。  
 $c=-21$  の場合だから、すぐには因数分解ができなかったので、  
 $x=\frac{-(-4)\pm\sqrt{(-4)^2-4\times 1 \times (-21)}}{2\times 1}$  解の公式を使ったけれど、出てきた解を見たら、因数分解ができることに気づきました。  
 $=\frac{4\pm\sqrt{16+84}}{2}$  もとの方程式で、両辺に 4 をたすと、  
 $=\frac{4\pm\sqrt{100}}{2}$  平方根の意味にもとづいて解くことも  
 $=\frac{4\pm 10}{2}$  できるので、どの方法で解くのかを  
 よって、 $x=7, -3$  決めるのは、むずかしいなと思いました。

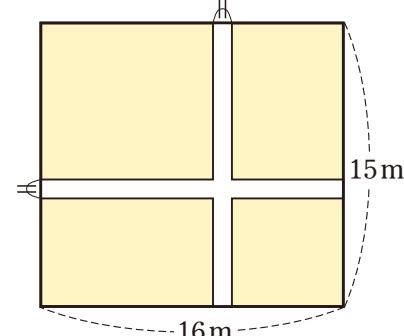
## 2

### 節 二次方程式の利用

通路の幅を設定し、通路の位置を自由に動かせるコンテンツをご用意しています。



#### 通路の幅を何 m にすればいいかな？



かりんさんの住んでいる町では、縦の長さが 15m、横の長さが 16m の長方形の土地に、右の図のような同じ幅の通路があるチューリップ畑をつくることになりました。

植えるチューリップの球根は、全部で 12600 個あり、1  $m^2$  あたりに、60 個の球根を植えます。



### 話しあおう

通路の幅を求めるには、どうすればよいでしょうか。

二次方程式を利用して、いろいろな問題を解決しましょう。

## 1

## 二次方程式の利用

ステップ

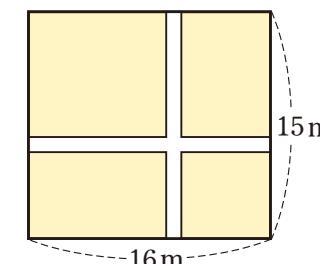
1

## 状況を整理し、問題を設定しよう

通路の幅を求めるために、かりんさんは、次の問題を考えました。

Q

右の図のような、縦の長さが15m、横の長さが16mの長方形の土地に、同じ幅の通路が2本あるチューリップ畑をつくります。チューリップの球根を植える部分の面積が $210\text{m}^2$ になるようにするには、通路の幅を何mにすればよいですか。



ステップ

2

## 解決の見通しを立てて、問題を解決しよう

通路の幅を求めるために、かりんさんは、次のように考えました。

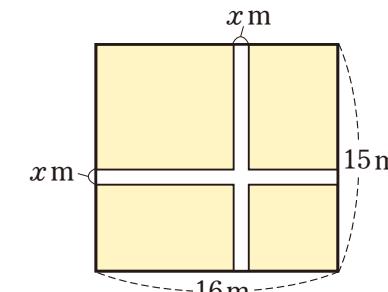
「ステップ2」では、解決の見通しを立てる過程を大切にしています。

- 問題の中の数量に着目して、数量の関係を見つける。

$$(\text{球根を植える部分の面積}) + (\text{通路の面積}) = (\text{長方形の土地の面積})$$

- まだわかっていない数量のうち、適当なものを文字で表し、方程式をつくって解く。

- 通路の幅を $x\text{m}$ として、通路の面積を $x$ を使って表しなさい。



球根を植える部分の面積は $210\text{m}^2$ 、長方形の土地の面積は $240\text{m}^2$ であることから、次のような二次方程式をつくり、これを解けばよい。

$$210 + (15x + 16x - x^2) = 240$$

$$x^2 - 31x + 30 = 0$$

$$(x-1)(x-30) = 0$$

$$x=1, 30$$

長方形の土地の面積は、 $15 \times 16 = 240 (\text{m}^2)$ だね。



- 方程式の解が、問題にあっているかどうかを調べて、答えを書く。

長方形の土地の縦の長さは15mだから、 $x=30$ は問題にあわない。

また、 $x=1$ は、問題にあっている。

通路の幅 1m

この長方形の土地に30mの幅の通路はつくれないね。



方程式を使って問題を解くとき、その方程式の解が問題にあっていない場合があります。そのため、方程式の解が、その問題にあっているかどうかを調べる必要があります。

## ステップ

3

## 問題解決の過程をふり返って、気づいたことやもっと調べてみたいことを話しあい、問題を深めよう

## 深める例

二次方程式をつくって問題を解決することができたね。

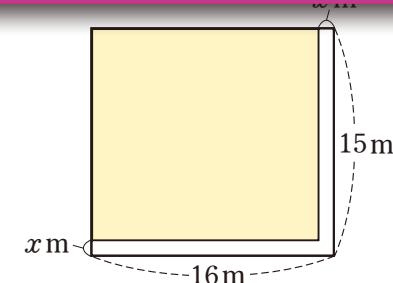


別の方程式をつくって問題を解決することはできないのかな？

「ステップ3」では、解決の過程をふり返ってもっと調べてみたいと思ったことに対して進んで取り組む態度を大切にしています。

## □ 説明しよう

けいたさんは、Qの問題を解くのに、右のような図で考えて、 $(15-x)(16-x)=210$ という方程式をつくりました。どのように考えたのでしょうか。



二次方程式を利用して、いろいろな問題を解きましょう。

例題  
1

整数の問題

連続する2つの正の整数があります。

それを2乗した数の和が85になるとき、これら2つの整数を求めなさい。

考え方 求める2つの正の整数のうち、どちらかを  $x$  として方程式をつくります。

解答 連続する2つの正の整数のうち、小さい方の整数を  $x$  とすると、大きい方の整数は  $x+1$  となり、

$$x^2 + (x+1)^2 = 85$$

$$x^2 + (x^2 + 2x + 1) = 85$$

$$2x^2 + 2x - 84 = 0$$

$$x^2 + x - 42 = 0$$

$$(x+7)(x-6) = 0$$

$$x = -7, 6$$

$x$  は正の整数だから、  $x = -7$  は問題にあわない。

$x = 6$  のとき、求める2つの整数は6, 7となり、これは問題にあっている。

2つの整数は、6と7

ノート形式の解答は、途中式を省略せず、生徒がノートに書くときの参考にすることができるようになっています。

大きい方の整数を  $x$  としたら、どんな方程式になるかな。



問1 連続する2つの正の整数があります。

それを2乗した数の和が145になるとき、これら2つの整数を求めなさい。

○条件をかえる

▶補充問題 10

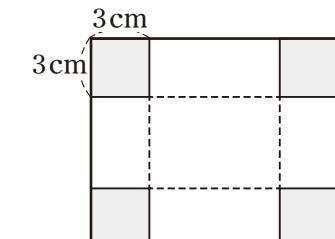
問2 連続する3つの正の整数があります。

小さい方の2つの数の積が、3つの数の和に等しいとき、これら3つの整数を求めなさい。

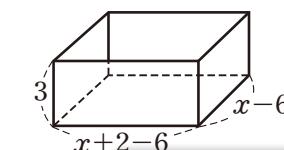
容積の問題

横が縦より2cm長い長方形の紙があります。

この四すみから1辺が3cmの正方形を切り取り、ふたのない直方体の容器をつくると、その容積は  $51\text{cm}^3$  になりました。はじめの紙の縦と横の長さを求めなさい。



考え方 紙の縦の長さを  $x\text{cm}$  として、直方体の底面の縦と横の長さを  $x$  で表し、方程式をつくります。



解答 はじめの紙の縦の長さを  $x\text{cm}$  とすると、

$$3(x-6)(x-4)=51$$

これを解くと、

$$(x-6)(x-4)=17$$

$$x^2 - 10x + 7 = 0$$

$$x = \frac{-(-10) \pm \sqrt{(-10)^2 - 4 \times 1 \times 7}}{2 \times 1}$$

$$= \frac{10 \pm \sqrt{72}}{2}$$

$$= 5 \pm 3\sqrt{2}$$

四すみから1辺が3cmの正方形を切り取るためには、 $x > 6$  だから、 $x = 5 - 3\sqrt{2}$  は問題にあわない。

$x = 5 + 3\sqrt{2}$  のとき、横の長さは  $(7 + 3\sqrt{2})\text{cm}$  となり、これは問題にあっている。

縦  $5 + 3\sqrt{2}$  (cm)、横  $7 + 3\sqrt{2}$  (cm)

例題を解く際のポイントとなる考え方を示しています。

$5 - 3\sqrt{2}$  は  
5-(正の数)  
だから、6より  
小さいね。

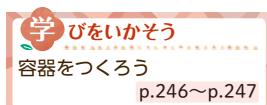


問3

例題2で、直方体の容器の底面の長方形について、その縦と横の長さは、それぞれ何cmになりますか。小数第1位まで求めなさい。

問4

周の長さが60cmで、面積が  $220\text{cm}^2$  の長方形をつくるとき、この長方形の2辺の長さは、それぞれ何cmになりますか。小数第1位まで求めなさい。



# 6章 円の性質

円周上の点を自由に動かすこと  
で、角について成り立つ性質を  
予想することができるコンテンツを  
ご用意しています。



## ストリングアートの中のきまりをさがそう

板に打ちつけたくぎに糸をかけて  
つくるストリングアートという  
工作があります。

けいたさんは、円周上にくぎを  
打って、ストリングアートを  
つくりました。

**注意** クギを打つときには、けがを  
しないように気をつけましょう。



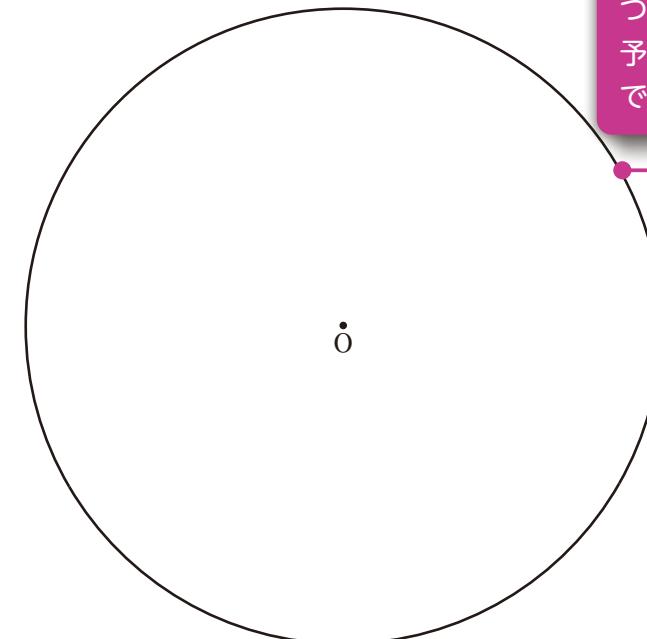
けいたさんは、下の写真のようなストリングアートをつくっているとき、  
角についてのあるきまりがありそうなことに気づきました。



## 1節 円周角と中心角

けいたさんが見つけたきまりを、次のようにして調べてみましょう。

- 下の円Oで、 $\widehat{AB}$ を決めて、 $\widehat{AB}$ を除いた円周上に点Pをとり、 $\angle APB$ をつくる。
- 点Pの位置をいろいろ変えて、 $\angle APB$ の大きさを測る。



教科書の図に直接  
かきこんで、角に  
ついて成り立つ性質を  
予想することも  
できます。

### 話しあおう

上で調べたことから、どんなことが  
わかるでしょうか。



角に着目して、円のいろいろな性質を学びましょう。

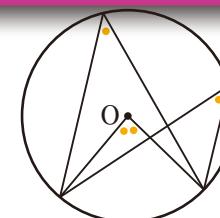


これまでに調べたことから、次の定理が成り立ちます。

### 円周角の定理

学習のまとめにはタイトルをつけ、学習を終えたあとにも検索しやすいようにしています。

- 1つの弧に対する円周角の大きさは、その弧に対する中心角の大きさの半分である。
- 同じ弧に対する円周角の大きさは等しい。

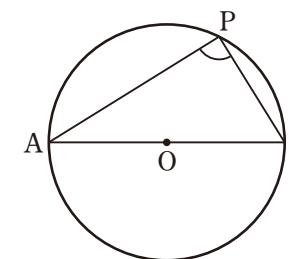


### 問1 下の図で、 $\angle x$ の大きさを、それぞれ求めなさい。

- 
- 
- 
- 
- 
- 

### ひろげよう

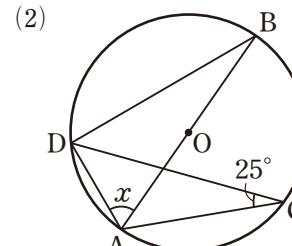
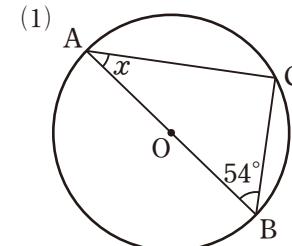
右の図の円Oで、ABが直径であるとき、円周角 $\angle APB$ は、何度になるでしょうか。



円周角の定理の特別な場合として、次のことがいえます。

半円の弧に対する円周角は、直角である。

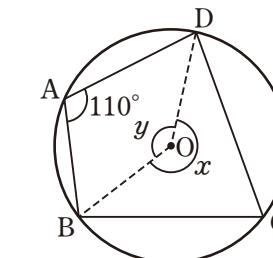
問2 下の図で、ABが円Oの直径であるとき、 $\angle x$ の大きさを、それぞれ求めなさい。



関連する題材を、  
巻末の数学広場  
「学びをいかそう」  
にご用意して  
います。  
(本冊子p.108)

### 説明しよう

右の図の円Oで、 $\angle A=110^\circ$ のとき、 $\angle C$ の大きさを求めましょう。  
また、その大きさになる理由を説明しましょう。



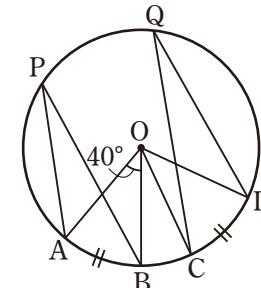
学びをいかそう  
円に内接する四角形 p.257

学びをいかそう  
接線と弦のつくる角 p.258～p.259

等しい弧に対する円周角について調べましょう。

### ひろげよう

右の図で、 $\widehat{AB}=\widehat{CD}$ のとき、 $\angle COD$ 、 $\angle APB$ 、 $\angle CQD$ は、それぞれ何度になるでしょうか。



1つの円で、弧や中心角が等しいおうぎ形は合同だから、次のことがいえます。

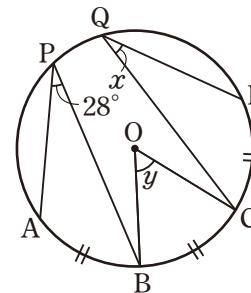
等しい弧に対する中心角の大きさは等しい。  
等しい中心角に対する弧の長さは等しい。

このことと円周角の定理から、次のことがいえます。

### 弧と円周角

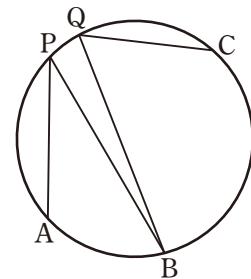
- 1つの円で、等しい弧に対する円周角の大きさは等しい。
- 1つの円で、等しい円周角に対する弧の長さは等しい。

- 問3 右の図で、  
 $\widehat{AB} = \widehat{BC} = \widehat{CD}$  のとき、  
 $\angle x, \angle y$  の大きさを  
 求めなさい。



▶ 指定問題 1

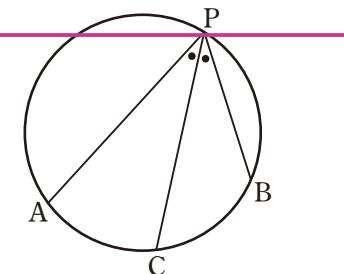
- 問4 右の図で、 $\widehat{BC} = 2\widehat{AB}$  です。  
 $\angle APB = 31^\circ$  のとき、  
 $\angle BQC$  の大きさを  
 求めなさい。



$\widehat{BC}$  の長さが  
 $\widehat{AB}$  の長さの2倍  
 $\Rightarrow \widehat{BC} = 2\widehat{AB}$

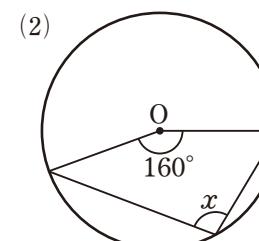
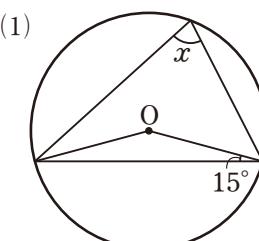
### ○ 説明しよう

右の図で、 $\widehat{AB}$  に対する円周角  $\angle APB$  の二等分線が、 $\widehat{AB}$  と交わる点を C とします。このとき、 $\widehat{AC}$  と  $\widehat{CB}$  の長さの間には、どんな関係がありますか。

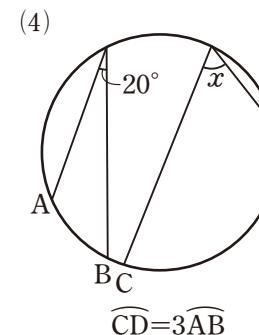
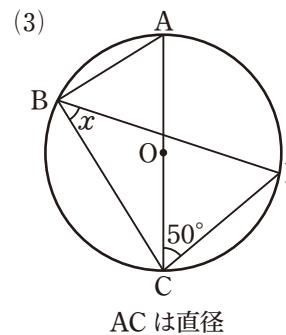


### 練習問題

- 1 下の図で、 $\angle x$  の大きさを、それぞれ求めなさい。



自分がなぜそのように  
 考えたのかを明らかに  
 しながら表現する活動  
 を「説明しよう」と  
 して配置しています。



▶ 指定問題 1

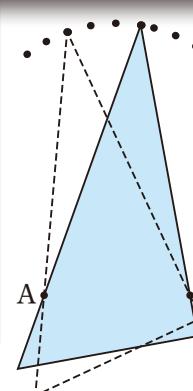


## 2 円周角の定理の逆

円周角の定理の逆について考えましょう。

### ○ ひろげよう

右の図のように、三角定規を2本のピン A, B にあてながら動かして、先端に点をたくさんとったとき、これらの点はどんな图形の上にあるでしょうか。

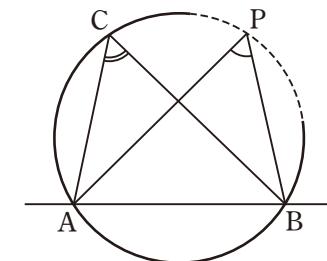


上の ○ ひろげよう でとった点は、どれも、1つの円周上にあります。

きまりを見つける

円周上に3点 A, B, C をとり、直線 AB について、点 C と同じ側に点 P をとります。

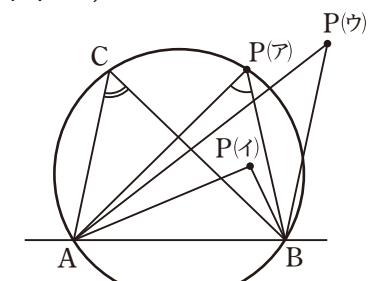
$\angle APB = \angle ACB$  となるように点 P をとると、点 P はいつでもこの円周上にあるでしょうか。



このことを調べるために、まず、円に対する点 P の位置と、 $\angle APB$  と  $\angle ACB$  の大きさとの関係について、右の図の(ア)～(ウ)の場合に分けて考えましょう。

(ア) 点 P が円周上にあるとき

円周角の定理より、 $\angle APB = \angle ACB$



(イ) 点 P が円の内部にあるとき

右の図で、三角形の内角と

外角の大小関係から、

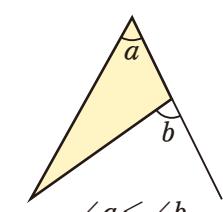
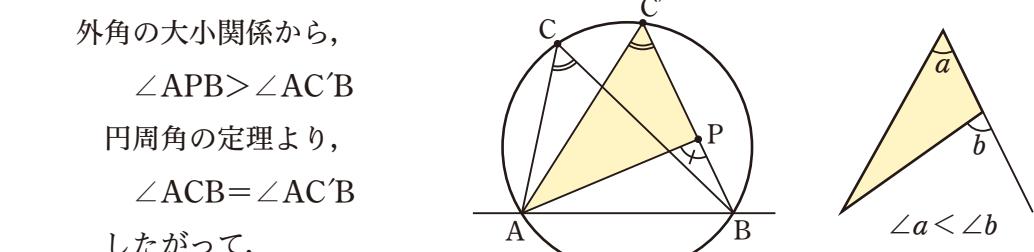
$\angle APB > \angle ACB$

円周角の定理より、

$\angle ACB = \angle AC'B$

したがって、

$\angle APB > \angle ACB$



## 2 節 円の性質の利用

地図上で船にのっている人の位置や向きを自由に動かして、条件にあう位置を予想できるコンテンツをご用意しています。

内容解説資料A p.15 参照

### 船の位置はどこ？

海上にいる船から、海岸線にある目印をもとにして、船がどこにいるかを見つける方法を考えましょう。



船から萩城跡を見て、それから真うしろをふり向くと、笠山山頂展望台がありました。また、船から恵美須ヶ鼻造船所跡を見て、それから30°左を向くと、萩港灯台がありました。

#### 話しあおう

上の条件から、船の位置は、どうすれば見つけられるでしょうか。

円の性質を、いろいろな問題に利用しましょう。

## 円の性質の利用

1

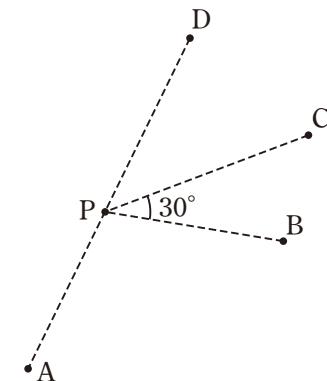
ステップ  
1

### 状況を整理し、問題を設定しよう

船の位置を調べるために、次の問題を考えました。

Q

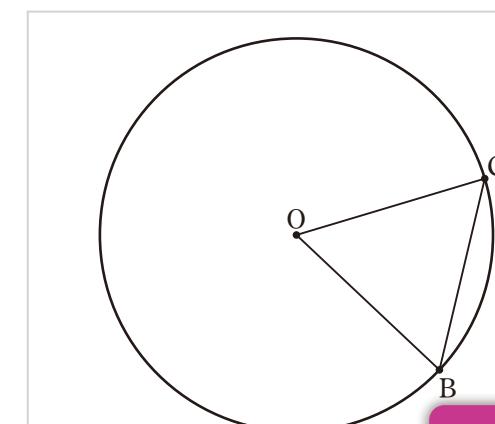
前ページの地図で、萩城跡をA、恵美須ヶ鼻造船所跡をB、萩港灯台をC、笠山山頂展望台をD、船の位置をPとします。線分AD上にあり、 $\angle BPC = 30^\circ$ となる点Pを作図しなさい。



ステップ  
2

### 解決の見通しを立て、問題を解決しよう

上のQで、 $\angle BPC = 30^\circ$ の条件にあてはまる点Pは、次のように作図される円Oの周上にあります。



- 1 線分BCを1辺とする正三角形をかき、B, C以外の頂点をOとする。
- 2 点Oを中心として、OBを半径とする円Oをかく。

点Pの作図の様子を解説した動画をご用意しています。



#### 説明しよう

上のようにして作図される円Oの周上で、直線BCについて点Oと同じ側に点Pをとります。このとき、 $\angle BPC = 30^\circ$ となる理由を説明しましょう。

前ページで考えた円Oと線分ADの交点が、Qの問題の条件にあてはまる点Pの位置になります。

- 1 172ページの地図で、船の位置を作図して見つけなさい。

ステップ

3

問題解決の過程をふり返って、気づいたことやもっと調べてみたいことを話しあい、問題を深めよう

深める例



- 2 172ページの場面で、船から萩城跡を見て、それから90°左を向くと、恵美須ヶ鼻造船所跡がありました。また、船から萩港を見て、それから90°左を向くと、萩港灯台がありました。このときの船の位置を作図して見つけなさい。



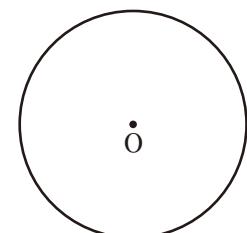
このような「ステップ」をくり返し目にしてことで、自ら問題を発見・解決し、深める力が身につきます。

### ▶ 円の接線の作図

円Oと、この円の外部に点Aがあります。

これまでに学んだ円の性質を使って、点Aを通る円Oの接線を作図することを考えましょう。

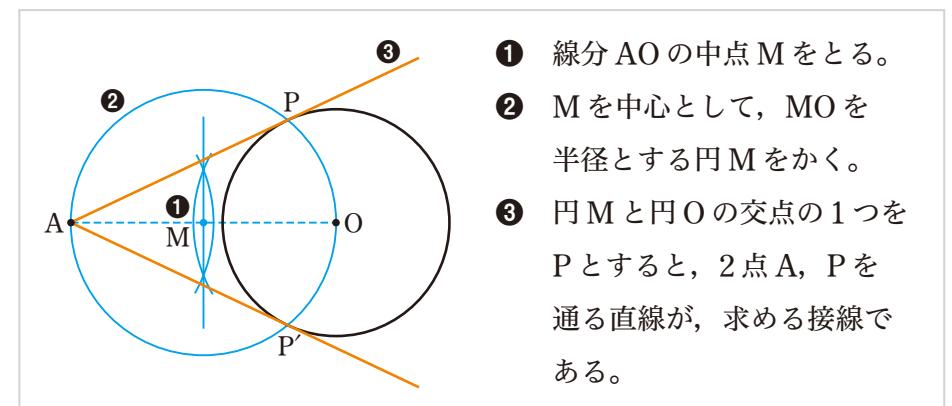
A



結論からさかのぼる

点Aから円Oに接線がひけたとして、その接点をPとすると、 $AP \perp OP$ 、つまり、 $\angle APO = 90^\circ$ となります。

このことから、接線は、次の方法で作図することができます。



- 線分AOの中点Mをとる。
- Mを中心として、MOを半径とする円Mをかく。
- 円Mと円Oの交点の1つをPとすると、2点A, Pを通る直線が、求める接線である。

問題をひろげたり、深めたりする視点を  
⑤として配置しています。



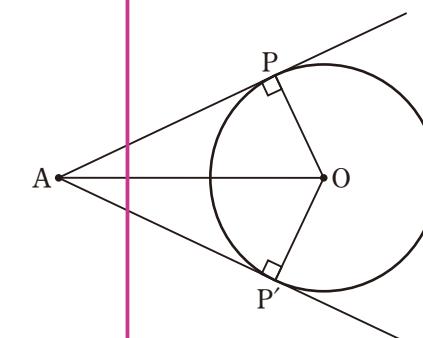
上の方法で円の接線が作図できる理由を説明しましょう。

接線は、上の図のように、APとAP'の2本ひくことができます。また、 $\triangle APO$ と $\triangle AP'O$ は合同な直角三角形だから、

$$AP = AP'$$

です。この線分AP, AP'の長さを、点Aから円Oにひいた接線の長さといいます。

⑤  $\triangle APO \cong \triangle AP'O$ はなぜ成り立つのかな。



問1 ノートに、半径3cmの円Oの中心から5cmの距離にある点Aを1つとり、点Aを通る円Oの接線を作図しなさい。

# 学びをふりかえろう

「学びをふりかえろう」では、下位学年で学んだ内容を確認できる問題を扱っています。

内容解説資料A p.29 参照

## 速さ・時間・道のり

小学  
5年



学習したこと、  
解答、解説動画

← p.64 例5

### いちばん速い動物は？

下の表は、キリン、カンガルー、ダチョウの、走った道のりと時間を表しています。どの動物がいちばん速いですか。

単位量あたりの大きさを使うと、時間や道のりが違うときでもくらべられそうだね。

#### 走った道のりと時間

	キリン	カンガルー	ダチョウ
道のり(m)	161	200	161
時間(秒)	10	10	7



走った時間が同じなら、道のりが長いほうが速いね。

### ポイント

速さは、次の式で求めることができます。

$$\text{速さ} = \text{道のり} \div \text{時間}$$

### 解説

キリンの走る速さは、秒速

$$161 \div 10 = 16.1 \text{ (m)}$$

カンガルーの走る速さは、秒速

$$200 \div 10 = 20 \text{ (m)}$$

ダチョウの走る速さは、秒速

$$161 \div 7 = 23 \text{ (m)}$$

キリン、カンガルー、ダチョウの中でいちばん速いのは、秒速 23m で走るダチョウです。



1年の「学びをふりかえろう」では、算数で学んだことのうち、苦手とする生徒が多い内容を厳選して扱っています。

1 次の速さを求めなさい。

- (1) 自動車が、25分間に 1500m 走ったときの分速
- (2) 列車が、2時間に 160km 走ったときの時速
- (3) かんなさんが、100m を 20秒で走ったときの秒速

2 自動車が時速 60km で走るとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 90km 進むのに、何時間何分かかりますか。
- (2) 2時間30分では、何km 進みますか。

3 A駅からB駅までは 30km です。

普通列車は、A駅からB駅に向かって時速 60km で、

急行列車は、B駅からA駅に向かって時速 90km で、同時に発車しました。

普通列車と急行列車は、何分後にすれちがいますか。

それぞれの問題についての詳しい解答や解説動画などを用意しています。

内容解説資料A p.10 参照



← p.65 例6

## 割合

小学  
5年

### 競争率が高い楽器は？

下の表は、吹奏楽部が演奏する楽器の定員と希望者の数を表したものです。

定員とくらべて希望者がいちばん多いのは、どの楽器ですか。

#### 演奏する楽器の定員と希望者

楽器	定員(人)	希望者(人)
パーカッション	2	8
クラリネット	8	10
ホルン	5	3

定員とくらべると、パーカッションの希望者は定員の4倍だね。



希望者がいちばん多いのは、クラリネットだけど、定員とくらべると……

# 学びをふりかえろう

## 数と計算のまとめ

2年・3年の「学びをふりかえろう」では、下位学年で学んだ内容に関する問題を、領域別に配置しています。

### 〔1, 2年の問題〕



学習したこと、  
解答、解説動画

1 次の計算をしなさい。

▼(1)  $2.5 + (-4)$

▼(3)  $(-6) \div \left(-\frac{3}{5}\right)$

▼(5)  $-7.6 + (-9.8) - (-3.6)$

▼(7)  $\frac{1}{2} \div \frac{2}{3} \times \left(-\frac{4}{15}\right)$

▼(9)  $84 \div (-3) - 4^2$

▼(11)  $5(x+3) - 4(2x+6)$

▼(13)  $\frac{3a-2b}{5} - (a-b)$

▼(15)  $\frac{3}{4}x - \left(\frac{5}{8}x + \frac{7}{8}y\right)$

▼(2)  $-6 \times (-16)$

▼(4)  $\frac{7}{6} - \frac{5}{4} - \frac{5}{12}$

▼(6)  $(-30) \times 2 \div (-3)$

▼(8)  $-\frac{1}{4} - \left(-\frac{2}{3}\right)^2 \times \left(-\frac{1}{2}\right)$

▼(10)  $\{8 - (29 - 31)\} \times 97$

▼(12)  $x^2 - (x^2 - 8x + 1)$

▼(14)  $a + 0.2b - 2b - 1.3a$

▼(16)  $6\left(2x - \frac{1}{3}y\right) - 4(3x - y)$

2 等式  $3x + \frac{2}{7}y = 5$  を、 $y$ について解きなさい。

3 次の連立方程式を解きなさい。

▼(1)  $\begin{cases} 2x+y=5 \\ x-y=1 \end{cases}$

▼(3)  $\begin{cases} y=2x-5 \\ x-2y=7 \end{cases}$

▼(2)  $\begin{cases} x+y=13 \\ 9x-9y=-27 \end{cases}$

▼(4)  $\begin{cases} 2(x+y)=3x+y \\ 3x-4y=1 \end{cases}$

4  $x, y$ についての連立方程式  $\begin{cases} x-y=6 \\ 2x+y=3a \end{cases}$  の解が、 $x : y = 3 : 1$ を満たすとき、 $a$ の値と、この連立方程式の解を求めなさい。

5 7km離れたA地点とB地点があります。ある人がA地点からB地点へ行くのに、途中のC地点までは自転車で行き、そこからB地点まで歩いたところ、全体で45分かかりました。自転車の速さを時速12km、歩く速さを時速4kmとして、A地点からC地点までの道のりを求めなさい。

## 関数のまとめ



学習したこと、  
解答、解説動画

1 次の一次関数の式を求めなさい。

(1) グラフが、点(2, 5)を通り、切片が-3の直線である。

(2)  $x$ の増加量が4のときの $y$ の増加量が-1で、 $x=-4$ のとき $y=-1$ である。

(3) グラフが、2点(-2, 8), (6, -4)を通る直線である。

2 次の方程式のグラフをかきなさい。

(1)  $y=3x$

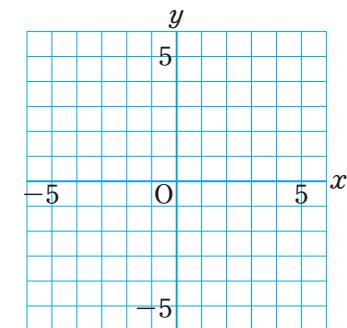
(2)  $x+2y=0$

(3)  $x-y=4$

(4)  $2x+y-4=0$

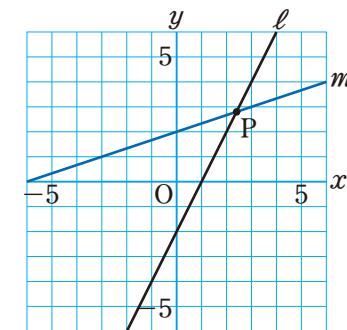
(5)  $y+4=0$

(6)  $x-3=0$



3 右の図で、2直線 $\ell$ ,  $m$ の交点Pの座標を求めなさい。

基本的な内容の問題には  
▼をつけています。



4 あるお店では、菓子のはかり売りをしています。菓子の重さ $x$ gと値段 $y$ 円の関係を表にすると、右のようになります。

500円で何gの菓子を買うことができますか。

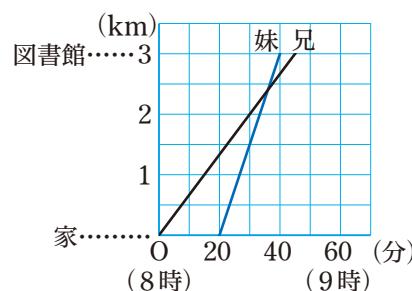
$x$	80	120	160	240
$y$	400	600	800	1200

5 家から3km離れた図書館へ、兄は徒歩で、妹は自転車で行きました。

右の図は、そのときの時刻と家からの道のりの関係を示しています。

(1) 8時 $x$ 分における家からの道のりを $y$ kmとして、 $x$ と $y$ の関係を、 $x$ の変域をつけて、兄、妹それぞれについて、式に表しなさい。

(2) 妹が兄に追いついた時刻と場所を求めなさい。



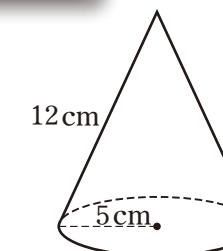
## 図形のまとめ

それぞれの問題についての詳しい解答や解説動画などを用意しています。



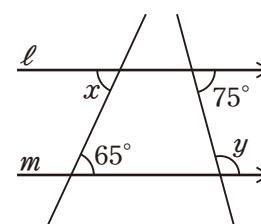
学習したこと、  
解答、解説動画

- 1 底面の半径が5cm、母線の長さが12cmの円錐があります。この円錐の側面となるおうぎ形の中心角の大きさを求めなさい。また、この円錐の表面積を求めなさい。

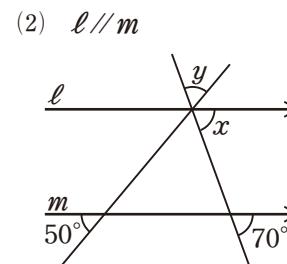


- 2 下の図で、 $\angle x$ 、 $\angle y$ の大きさを、それぞれ求めなさい。

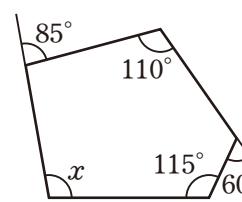
(1)  $\ell \parallel m$



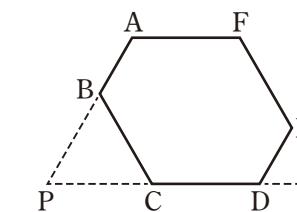
(2)  $\ell \parallel m$



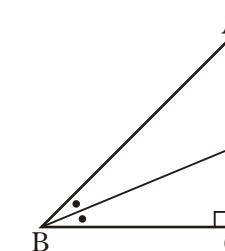
(3)



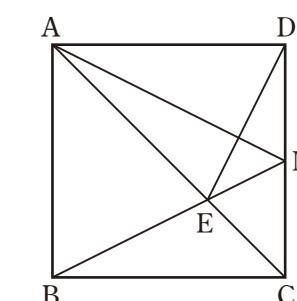
- 3 内角の大きさが、すべて等しい六角形ABCDEFがあります。1つの内角の大きさを求めなさい。また、 $AB \parallel DE$ であることを証明しなさい。



- 4  $\angle C=90^\circ$ の直角二等辺三角形ABCで、 $\angle B$ の二等分線と辺ACとの交点をDとします。このとき、 $BC+CD=AB$ であることを証明しなさい。



- 5 右の図のように、正方形ABCDの辺CDの中点をM、ACとBMの交点をEとします。  
(1)  $\triangle ADM \cong \triangle BCM$ であることを証明しなさい。  
(2)  $AM \perp DE$ であることを証明しなさい。



## データの活用のまとめ



学習したこと、  
解答、解説動画

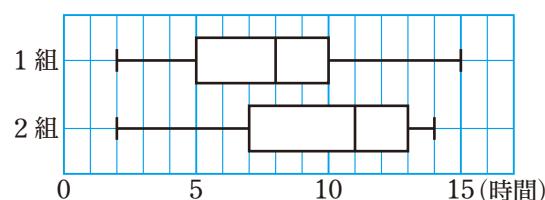
すべての生徒にとって、読みやすく、意味を理解しやすい文章になるよう、意味や文節による改行を行っています。

- 1 3枚の硬貨を同時に投げるとき、次の確率を求めなさい。  
(1) 2枚が表で1枚が裏となる確率  
(2) 少なくとも2枚は表となる確率  
(3) 少なくとも1枚は裏となる確率

- 2 1, 2, 3, 4, 5の数が書かれたカードが1枚ずつあります。このカードを箱に入れて、そこから同時に2枚を取り出すとき、次の問いに答えなさい。  
(1) 2枚とも奇数である確率を求めなさい。  
(2) 取り出した2枚に書かれた数の和が7になると、8になることでは、どちらが起こりやすいですか。



- 3 ある中学校の3年1組30人と3年2組30人に、先週の月曜日から金曜日までに、何時間の家庭学習をしたのかについて1時間単位で答えてもらい、その結果を箱ひげ図に表すと、下のようになります。



- 1組と2組、それぞれについて、四分位数を求めなさい。  
(2) 上の箱ひげ図から読みとれることとして、次の(ア)～(エ)は正しいといえますか。  
「正しい」「正しくない」「このデータからはわからない」のどれかで答えなさい。  
(ア) 2組の学習時間で、もっとも長いのは14時間である。  
(イ) 1組で、学習時間が4時間未満の人数は、13時間以上の人数と同じである。  
(ウ) 1組と2組をくらべると、範囲も四分位範囲も1組の方が大きい。  
(エ) 学習時間が6時間未満の人数は、2組より1組の方が多い。

# 力をつけよう

## 1章 式の展開と因数分解



考え方、解答、  
解説動画

### 1 次の計算をしなさい。

- (1)  $(a+b)(x-y)$  (2)  $(x+2)(2x+1)$   
 (4)  $(5x+7)^2$  (5)  $\left(-y-\frac{1}{4}\right)^2$   
 (7)  $(a+0.3)(0.3-a)$  (8)  $(x+2)(x+9)$   
 (10)  $(a-2)(a-6)$  (11)  $(a-1)(a-b)$

「力をつけよう」では、各章の学習の総仕上げとして取り組むことができる問題を扱っています。

内容解説資料A p.30 参照

### 2 次の計算をしなさい。

- (1)  $x(x-2)+2(x+1)$  (2)  $4x^2-(2x+3)(2x-3)$   
 (3)  $(x-5)^2-(x+6)^2$  (4)  $(x-3)(x-5)-(x-4)^2$   
 (5)  $(x+2y-3z)(x+2y+3z)$  (6)  $(2a+b-1)^2$

### 3 次の式を因数分解しなさい。

- (1)  $-8x^2-24x$  (2)  $a^2-18a+81$  (3)  $-y^2+36x^2$   
 (4)  $x^2+9x+14$  (5)  $x^2-6x+5$  (6)  $x^2-7x-18$   
 (7)  $ax^2+5ax-14a$  (8)  $-2xy^2+2xy+4x$   
 (9)  $x(a-b)+y(a-b)$  (10)  $(x-3)^2-6(x-3)-7$   
 (11)  $(3x-1)^2-4x^2$  (12)  $(a-1)b-(1-a)$

### 4 次の式を、くふうして計算しなさい。

- (1)  $302 \times 302 - 298 \times 298$   
 (2)  $0.75^2 + 2 \times 0.75 \times 0.25 + 0.25^2 - 1.35^2 + 2 \times 1.35 \times 0.35 - 0.35^2$

それぞれの問題についての詳しい解答や解説動画などを用意しています。

内容解説資料A p.10 参照

$$6^2 - 5^2 = \boxed{\phantom{00}}$$

$$7^2 - 6^2 = \boxed{\phantom{00}}$$

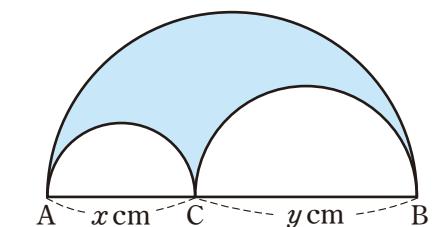
$$101^2 - 100^2 = \boxed{\phantom{00}}$$

### 5 $a+b=-1$ , $ab=-4$ のとき、次の式の値を求めなさい。 $(a+2)(b+2)$

連続する2つの整数で、大きい方の数の2乗から小さい方の数の2乗をひいた差は、もとの2つの整数とどのような関係があると予想できますか。また、その予想が正しいことを証明しなさい。

7

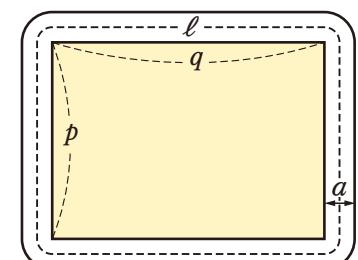
右の図は、AB, AC, CBをそれぞれ直径として半円をかいたものです。色のついた部分の周の長さと、面積を求めなさい。



8

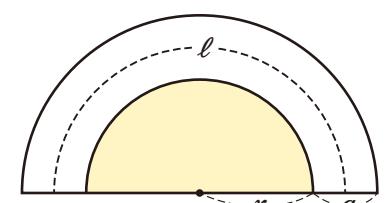
花だんのまわりに幅  $a$  の道がついています。この道の面積を  $S$ 、道のまん中を通る線の長さを  $\ell$  とします。次の場合、 $S=a\ell$  となることを証明しなさい。

- (1) 縦の長さが  $p$ 、横の長さが  $q$  の長方形の花だんのまわりに、四すみがおうぎ形の道をつける場合



- (2) 半径  $r$  の半円の花だんのまわりに道をつける場合

その章で学んだことを使って解くことができる、過去の公立高等学校の入学試験問題を扱っています。



9

### 入試問題にチャレンジ

福岡県 2021 年度 改題

連続する5つの整数のうち、異なる2つの数の積に1以外の自然数を加えた数が、整数の2乗になる場合を下のようにまとめました。

連続する5つの整数のうち、  
 ( X )と( Y )の積に( ① )を加えた数は、  
 ( Z )の2乗になる。

X, Y, Zにあてはまるものを、次の(ア)～(オ)からそれぞれ1つずつ選びなさい。また、①にあてはまる1以外の自然数を答えなさい。

- (ア) いちばん小さい数 (イ) 2番目に小さい数 (ウ) 中央の数  
 (エ) 2番目に大きい数 (オ) いちばん大きい数

## 総合問題

3年の終わりには、「総合問題」として、いろいろな領域で学んだことを使って解く問題を集めています。

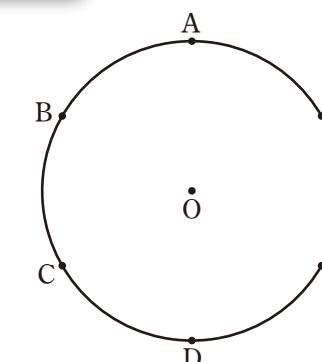


考え方、解答、  
解説動画

- 1 円Oの周上に6つの点A, B, C, D, E, Fがあり、これらの点は円周を6等分しています。

円Oの半径が4cmのとき、次の問いに答えなさい。

- (1)  $\triangle OAB$ はどんな三角形ですか。
- (2)  $\triangle ABD$ の面積を求めなさい。
- (3) 6つの点A, B, C, D, E, Fのうち、3つの点を結んでできる直角三角形はいくつありますか。
- (4) A, B, C, D, E, Fの文字が、それぞれ書かれたカードが1枚ずつあります。この6枚のカードをよくきって、同時に3枚を取り出すとき、書かれている文字の頂点を結ぶ三角形が、正三角形となる確率を求めなさい。



- 2 反比例の関係  $y = \frac{6}{x}$  ..... ① と

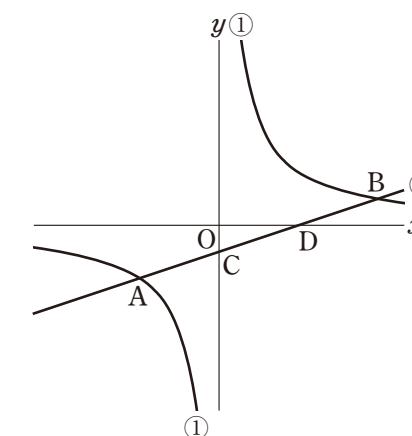
一次関数  $y = ax - 1$  ..... ②

のグラフがあります。

右の図のように、①と②のグラフの交点のうち、 $x$ 座標が小さい方の点をA、大きい方の点をBとします。

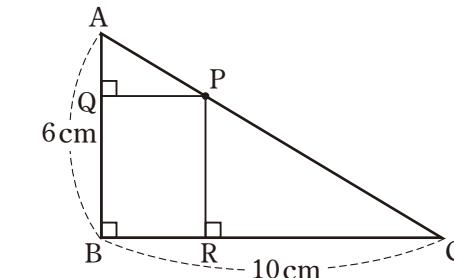
$a > 0$ とするとき、次の問いに答えなさい。

- (1) ②のグラフが、点 $(-3, -2)$ を通るとき、 $a$ の値を求めなさい。
- (2) 点Bの $x$ 座標、 $y$ 座標が、ともに自然数となるような $a$ の値は、何個ありますか。
- (3) ②のグラフと $y$ 軸との交点をC、 $x$ 軸との交点をDとします。 $CD : DB = 1 : 3$ のとき、 $a$ の値を求めなさい。
- (4) 大小2つのさいころを投げ、大きいさいころの出た目の数を $s$ 、小さいさいころの出た目の数を $t$ として、座標が $(s, t)$ となる点Pをとります。このとき、点Pが①の $x > 0$ の範囲のグラフよりも上側にある確率を求めなさい。  
ただし、点Pが①のグラフ上の点になる場合は、ふくめないものとします。



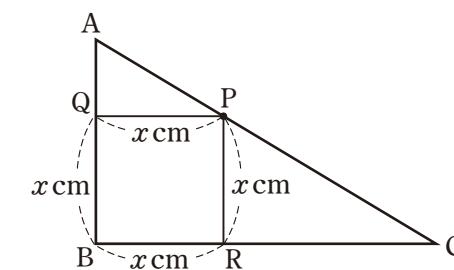
3

右の図のように、 $\angle B=90^\circ$ 、 $AB=6\text{cm}$ 、 $BC=10\text{cm}$ の直角三角形ABCがあります。辺AC上に点Pをとり、点Pから辺AB、BCに垂線をひき、その交点をそれぞれ、点Q, Rとします。長方形PQBRが正方形となるとき、PQの長さは何cmになりますか。次の(1)～(4)の方法で、それぞれ求めなさい。



(1) **相似を利用する方法**

右の図から、相似な三角形を見つけ、三角形の相似比を利用して、PQの長さを求める。



(2) **面積に着目する方法 その1**

$\triangle ABC$ の面積に着目すると、  
 $\triangle AQP + \text{正方形 } PQBR + \triangle PRC = \triangle ABC$

となる。  
この面積の関係を利用して、PQの長さを求める。

(3) **面積に着目する方法 その2**

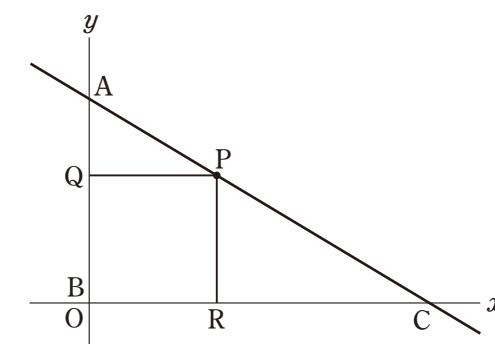
$\triangle ABC$ の面積を別の見方でみると、  
 $\triangle PAB + \triangle PBC = \triangle ABC$

となる。  
この面積の関係を利用して、PQの長さを求める。

様々な解法で解くことのできる問題です。これまでに学んだことを統合的に使って考える力が身につきます。

(4) **一次関数のグラフとみる方法**

辺AB, BC, CAを、それぞれ延長して、直線BCを $x$ 軸、直線ABを $y$ 軸、点Bを原点、点Pの $x$ 座標を $a$ とすると、点Pが直線AC上にあることから $a$ の値を求め、PQの長さを求める。



# 学びをいかそう

「学びをいかそう」では、学んだ数学を使って身のまわりの問題を解決する課題などを扱っています。

内容解説資料A p.31 参照

## スタートの位置はどこ？

かんなさんとこうきさんの学校では、来週、体育大会がおこなわれます。かんなさんとこうきさんは、運動場にトラック競技のレーンをかく係になりました。

こうきさんは、陸上競技大会を見に行ったときに、レーンによってスタートの位置がずれていたことを思い出しました。

同じ位置からスタートすると、外側のレーンは走る距離が長いから不利になりますね。

確かにそうだね。走る距離の差の分、スタートの位置をずらそうよ。



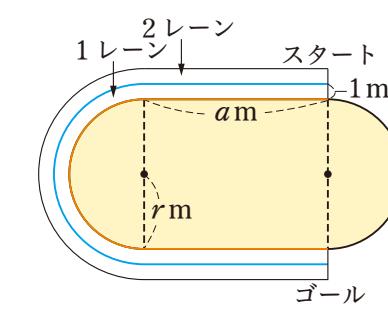
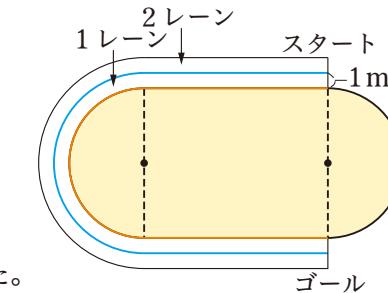
### ◆スタートの位置を何mずらせばいいかな？

運動場のトラックは、右の図のような、2つの半円と長方形を組み合わせた形になっていて、レーンの幅は1mです。

直線部分からスタートしますが、ゴールの位置をそろえるために、スタートの位置をずらすことにしました。

トラックの直線部分を  $am$ 、半円部分の半径を  $rm$  とします。

また、各レーンを走る距離は、それぞれのレーンの内側の線の長さで考えることにします。



← 1章 式の計算



各課題には必ずQRコンテンツを配置し、場面理解に役立つコンテンツなどを収録しています。

1

1レーンと2レーンで走る距離を、 $a$ と $r$ を使って、それぞれ表しましょう。

1レーンと2レーンのスタートの位置をずらして、2レーンで走る距離を、1レーンと同じにしたいと思います。

2

2レーンのスタートの位置を、1レーンより何m前にすればよいでしょうか。

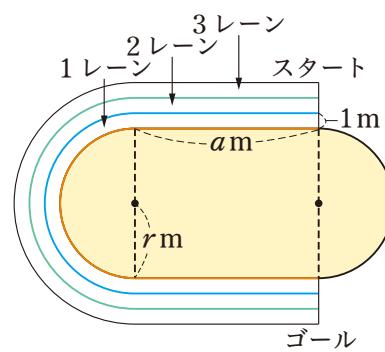
2レーンと3レーンで走る距離についても考えてみることにしました。

3

3レーンで走る距離を、 $a$ と $r$ を使って表しましょう。

また、2レーンと3レーンで走る距離を同じにするためには、3レーンのスタートの位置を、2レーンより何m前にすればよいでしょうか。

他教科と関連するような題材も扱っています。



走る距離の差は、直線部分の長さ  $a$  や半円部分の半径  $r$  によらないんだね。

スタートやゴールの位置、レーンの幅が変わった場合はどうなるのかな？



4

トラックを1周する場合について考えます。

- (1) 1レーンと2レーンで走る距離を同じにするためには、2レーンのスタートの位置を、1レーンより何m前にすればよいでしょうか。
- (2) レーンの幅が2mのとき、1レーンと2レーンで走る距離を同じにするためには、2レーンのスタートの位置を、1レーンより何m前にすればよいでしょうか。

1周するから、半円の部分走る距離が長くなるね。



## 体を動かして健康を維持しよう



健康

← 2章 連立方程式

健康を維持するためには、18~64歳の身体活動の基準として、強度が3METs以上の運動や生活活動を、1週間にあたりに23エクササイズおこなうとよいとされています。

METsとは、運動や生活活動の強度を、また、エクササイズとは、身体活動量を表す単位のことで、次の式で求められます。

$$\text{身体活動量(エクササイズ)} = \text{強度(METs)} \times \text{時間}$$



インターネットで身体活動量について調べていたこうきさんは、次のような表を見つけました。

運動の例	強度(METs)	生活活動の例
バレー、卓球、社交ダンス	3	普通に歩く、ギターの演奏
卓球、ラジオ体操第1	4	階段をゆっくり上る
野球、バレエ	5	動物と遊ぶ
水泳(のんびり泳ぐ)	6	雪かきをする
サッカー、スケート	7	—
サイクリング(約20km/h)	8	重い荷物を運ぶ

例えば、バレーを30分おこなったとすると、身体活動量は1.5エクササイズとなります。

将来の健康について考えたこうきさんは、上の表をもとに、身体活動量についての問題を考えてみることにしました。

$$3 \times \frac{30}{60} = 1.5$$

だね。



ステップ

1

## 状況を整理し、問題を設定しよう

こうきさんは、次の問題を考えました。

Q

目標の23エクササイズまであと5エクササイズ必要だったとします。1時間30分で、ギターの演奏と卓球でちょうど5エクササイズになるようにするには、ギターの演奏と卓球をそれぞれ何分ずつすればよいでしょうか。

ステップ

2

## 解決の見通しを立て、問題を解決しよう

ギターの演奏をx分、卓球をy分するとします。

- 1 ギターの演奏と卓球を、それぞれ何分ずつすればよいでしょうか。



ステップ

3

## 問題解決の過程をふり返って、気づいたことやもっと調べてみたいことを話しあい、問題を深めよう

## 深める例



- 2 階段をゆっくり上る生活活動を3時間おこなったときと同じ身体活動量で、運動や生活活動をおこなう時間をもっと短くするには、どのような運動や生活活動を、何時間すればよいでしょうか。また、その理由をいいましょう。

上と同じ身体活動量で、運動や生活活動をおこなう時間をもっと長くするには、どのような運動や生活活動を、何時間すればよいかな。

## ・レポート例・



調べたことや学んだことを  
レポートにまとめてみましょう。

### 見出し

- レポートの研究テーマを書きましょう。
- レポートを書いた年月日と名前を書きましょう。

### 考えた理由

- 調べたいと思ったきっかけや、自分の予想などを書きましょう。

### 考えた方法

- 考えた方法や調べた方法を書きましょう。

### 考えた結果

- 実際に調べたことがらや得られたデータ、  
調べた内容やデータからいえること、考えたことを書きましょう。

### 感想・わかったこと

- 考えたことをふり返った感想や、今後の課題を書きましょう。

### 参考資料

- 参考にした資料があれば、本の著者名、書名、発行年、  
出版社名、ホームページのアドレスなどを書きましょう。

レポートにまとめるときの  
ポイントをわかりやすく  
説明しています。



5

10

15

20

25

30

健康を維持するために、  
どれくらい体を動かせばよいかな

○年○月○日  
○年○組 ○○こうき

### 考えた理由

健康な体や体力を維持するためには、適度な運動が必要だという記事をインターネットで見ました。  
運動や生活活動の強度を示す METs というものがあることを知ったので、健康を維持するために、1週間にどれくらい体を動かせばよいのかを考えてみたいと思いました。

### 考えた方法

インターネットで  
身体活動量（エクササイズ）= 強度（METs）× 時間  
という式を見つけて、この式を使って考えました。  
運動と生活活動の例からそれぞれひとつずつ選んで、5時間で 23 エクササイズになるように、まずは、サッカーとギターの演奏の組み合わせを考えてみることにしました。

### 考えた結果

サッカーを  $x$  時間、ギターの演奏を  $y$  時間するとして連立方程式をつくると、合計で 5 時間おこなうので、  

$$x+y=5 \quad \dots \dots \textcircled{1}$$
また、サッカーの強度は 7METs、ギターの演奏の強度は 3METs で、あわせて 23 エクササイズにしたいので、  

$$7x+3y=23 \quad \dots \dots \textcircled{2}$$
①、②を連立方程式とみて解くと、 $(x, y)=(2, 3)$  となるので、1週間にサッカーを 2 時間、ギターの演奏を 3 時間おこなえばよいことがわかります。

### 感想・わかったこと

どれくらい体を動かせばよいかの計算ができる身体活動量についての式は、健康の維持に役に立つと思いました。時間がないときは、強度の強いものを選べばよいので、他にもいろいろな組み合わせを考えてみたいです。

### 参考資料

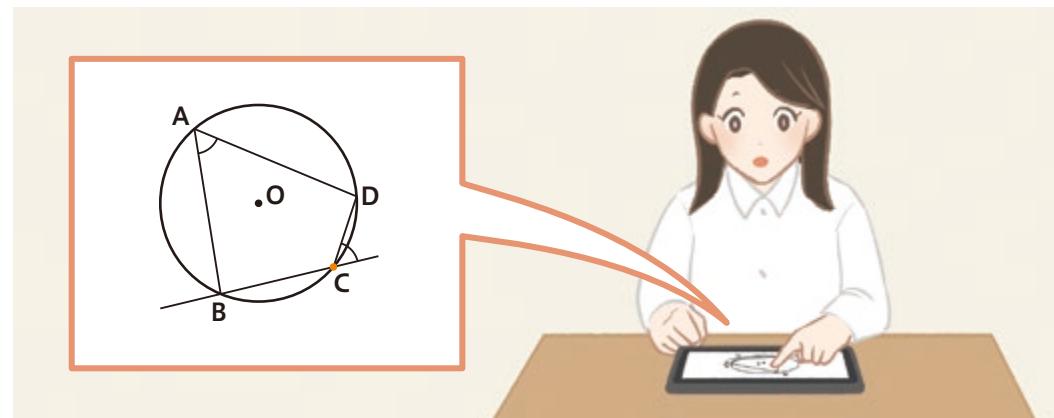
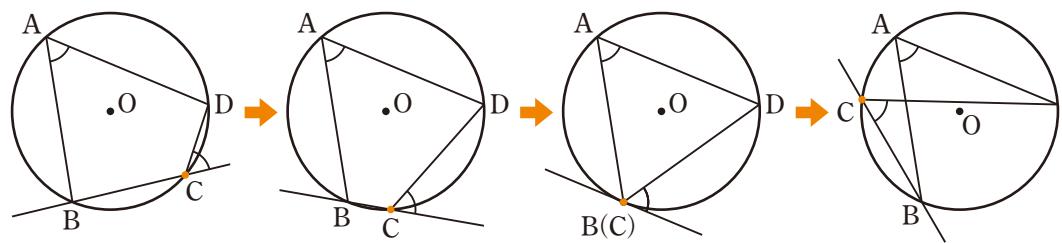
具体的な例を掲載しているので、長期休暇等に自由研究を行う際の参考にすることができます。

発展  
[高校]

## 接線と弦のつくる角

高校数学に関連する発展的内容を扱っています。

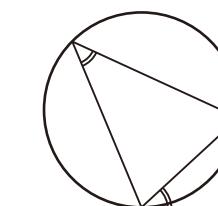
かんなさんは、円に内接する四角形ABCDの頂点のうち、点Cを、円周上にそって動かすことで、成り立つ性質をさがしています。



かんなさんは、円に内接する四角形の性質や円周角の定理から、次の性質が成り立つと予想しました。

## 接線と弦のつくる角の性質

円の弦とその一端を通る接線のつくる角は、その角内にある弧に対する円周角に等しい。



思考力

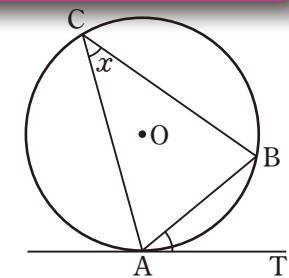
円についての性質を  
関連させて見てみよう

← 6章 円の性質

生徒が自学でも取り組めるように、 $\angle BAT$ が鋭角の場合、直角の場合、鈍角の場合に分けて問を配置しています。

- 1 右の図で、直線ATは円Oの接線、点Aはその接点とします。

$\angle BAT$ が鋭角の場合について、前ページの性質がいえることを、下の□をうめて証明しましょう。



## 証明

直径ADをひくと、 $\angle DAT=90^\circ$ だから、 $\angle BAT=90^\circ-\angle$ □ ..... ①

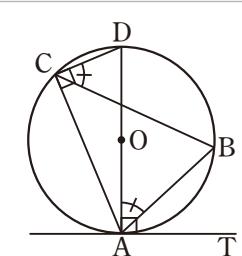
また、 $\angle ACD=\square^\circ$ だから、 $\angle ACB=\square^\circ-\angle BCD$  ..... ②

$\angle$ □と $\angle BCD$ は、どちらも□に

対する円周角だから、円周角の定理より、 $\angle$ □ $=\angle BCD$  ..... ③

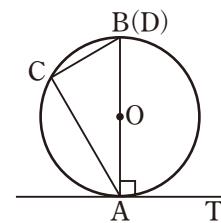
①、②、③から、 $\angle BAT=\angle$ □

したがって、 $\angle BAT$ が鋭角の場合、円の弦とその一端を通る接線のつくる角は、その角内にある弧に対する円周角に等しい。

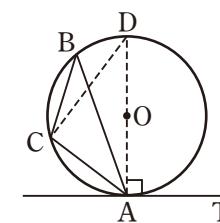


- 2 1で、点Bが下の図のような(ア)や(イ)の位置にある場合でも、 $\angle BAT=\angle ACB$ が成り立つことを証明しましょう。

(ア)  $\angle BAT$ が直角



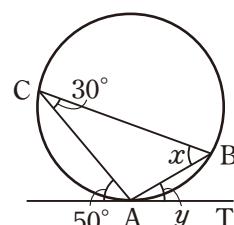
(イ)  $\angle BAT$ が鈍角



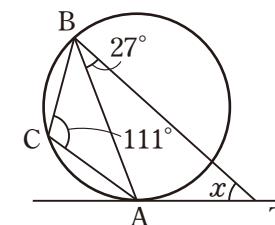
- 3 下の図で、直線ATは円の接線、点Aはその接点です。

$\angle x$ 、 $\angle y$ の大きさを、それぞれ求めましょう。

(1)



(2)



# 社会見学にいこう -教科書ができるまで-



かんなさんとこうきさんは、教科書を製造する工場にやってきました。

これから、教科書ができるまでの流れを見学します。



## 印刷の歴史 -活版印刷について-

### 活版印刷の工程 ① 文選

直方体の金属の1つの面に、文字を左右反対にしてうきぼりにしたものを「活字」といいます。文章にあわせて、人の手で1つ1つ活字を選び取り、箱に集めていくことを文選といいます。文選をする人は、1日あたり約8000字を集めています。



### 活版印刷の工程 ② 植字

集めた活字を、決められた体裁に並べて、「活版」というものをつくりていきます。文字と文字の間隔や、行と行の間隔を調整したり、印刷したい寸法になるように適切に配置したりするには、高度な技術が必要でした。



### 活版印刷の工程 ③ 印刷

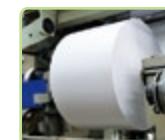
活版にインキをぬり、印刷をおこないます。



## 教科書ができるまで

1

教科書は、ロール状に巻かれた大きな紙に印刷しています。



教科書を印刷する印刷機

3

印刷されたすべての紙は、印刷のずれがないかなどをカメラで確認しています。



2

印刷には、黒、青、赤、黄の4色のインキを使っています。これら4色のインキを刷り重ねることで、いろいろな色をうみ出しています。



## 完成!

この16ページ分のかたまりを重ねてのりでとめ、表紙をつけると教科書が完成します。



## 印刷クイズ!

問題 1

1ページに約1000字はいっている、224ページの本があります。文選をする人が、この本をつくるために必要な活字を1人で集めるとき、必要な日数は何日でしょうか。

- ① 約3日 ② 約10日 ③ 約30日

問題 2

この工場では、印刷のずれがないかなどをチェックする品質検査は、次のうち、どちらの調査でおこなっているでしょうか。

- ① 全数調査 ② 標本調査

問題 3

コピー機を使って、A4の紙全体をB4の大きさに拡大するとき、倍率はどうすればよいでしょうか。

- ① 122% ② 144% ③ 150%

教科書は  
たいせつに使おう。



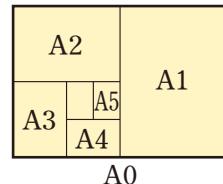
## ◆紙の大きさを表す数字やアルファベットの意味

コピー用紙には、A4やB4などの大きさがあります。

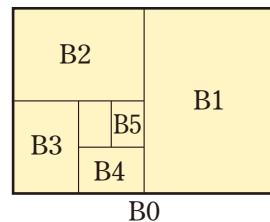
これらのアルファベットや数字には、次のような意味があります。

身近な題材であるコピー用紙の大きさについての課題を掲載しています。

5  
A判…となりあう辺の長さの比が $1:\sqrt{2}$ で、面積が $1\text{m}^2$ の長方形がもとになっている。この長方形がA0で、長い辺が半分になるように、次々と半分に切っていくと、A1, A2, ……となる。



10  
B判…となりあう辺の長さの比が $1:\sqrt{2}$ で、面積が $1.5\text{m}^2$ の長方形がもとになっている。この長方形がB0で、長い辺が半分になるように、次々と半分に切っていくと、B1, B2, ……となる。



1

次のことがらは正しいでしょうか。

15  
B3の紙を2つ並べると、B4の大きさになる。

## ◆紙の大きさの関係

20  
A判やB判の紙に対角線を1本ひいて、右の図のように、1つの頂点にできる直角どうしを重ねると、対角線が重なります。

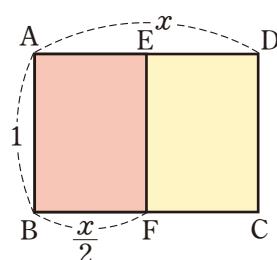


このことから、A判、B判のすべての大きさの長方形は相似であるといえます。

2

B4, B5の紙について、となりあう辺の長さの比が $1:\sqrt{2}$ となることを、次のようにして確かめましょう。

- ① B4の紙を四角形ABCD, B5の紙を四角形ABFEとする。
- ② 辺ABの長さを1, 辺ADの長さをxとして、相似な図形の対応する辺の比が等しいことを使って比例式をつくり、xの値を求める。



## ◆ コピー機を使った拡大、縮小

A5の紙とA3の紙の相似比は1:2です。

このことから、コピー機を使って、A5の紙全体をA3の大きさに拡大するには、倍率を200%にします。

5 コピー機を使った拡大、縮小について考えましょう。



- 3 A4をA3に拡大するとき、倍率が141%と表示されます。なぜでしょうか。

なぜそのように考えたのか、理由を問う問題も配置し、思考力や表現力を育めるようにしています。

- 4 次のように拡大、または、縮小をするときの倍率はどうなるでしょうか。%で答えましょう。

10 (1) A3 → A5

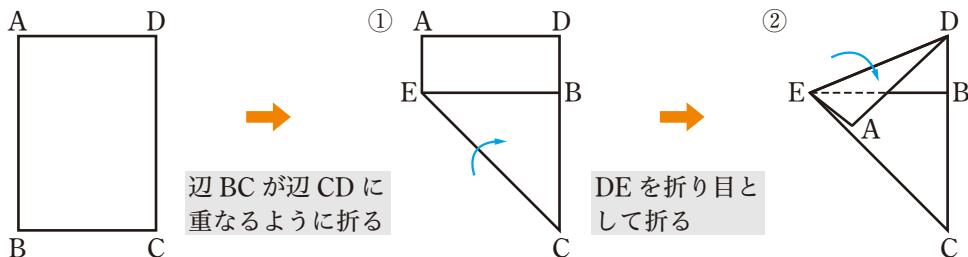
(2) B4 → B5

(3) A5 → B5

## ◆ コピー用紙の性質

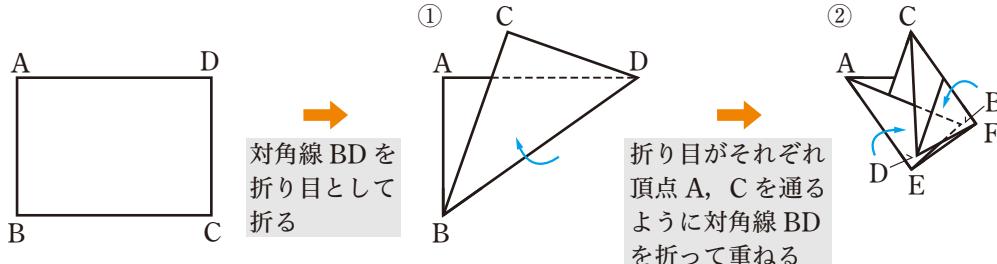
コピー用紙には、折ったり、重ねたりして見つけることができるおもしろい性質があります。

- 5 コピー用紙を、下の図のように折ります。



- (1)  $\triangle CDE$ はどんな三角形になるでしょうか。  
(2) ②のように折ったとき、頂点AがCE上にくるのはなぜでしょうか。

- 6 コピー用紙を、下の図のように折ります。



- 20 このように折ったとき、②の折り目の線と対角線BDの交点E, Fは、対角線BDを3等分する点となります。  
なぜでしょうか。

